

「第3次深谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画」

策定のためのアンケート調査報告書

平成31年3月

深谷市・深谷市社会福祉協議会

目次

I 調査の実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II 調査結果の概要	2
III 市民アンケート結果.....	11
1. あなたご自身についておたずねします。	11
2. 地域福祉や福祉課題に関する意識や行動についておたずねします。	17
3. 「地域活動・ボランティア活動」についておたずねします。	43
4. 「社会福祉協議会」及び「民生委員」についておたずねします。	51
5. 今後の方向性についておたずねします。	61
IV 団体・事業者アンケート結果	87
1. 貴団体・事業者のことについて（問1）	87
2. 貴団体・事業者の活動について	89
3. 活動を通して見える地域の状況について	97
4. 今後の活動について	101

Ⅰ 調査の実施概要

1. 調査の目的

本調査は、「第3次深谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたり、市民及び市内団体・事業者に対し、福祉に関する意識や実態、要望等の情報を整理・分析し、課題を明らかにするとともに、計画の方向性等の検討に向けた策定の基礎資料とするため実施しました。

2. 調査概要

①市民アンケート

調査対象者	20歳以上の市民 2,000人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査期間	平成31年1月28日(月)～2月12日(火)
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	配布数 2,000件、回収数 1,086件、回収率 54.3%

②団体・事業者アンケート

調査対象者 (調査方法)	・市内ボランティア団体・市民活動団体 20件(郵送配布・郵送回収) ・民生委員・児童委員協議会会長 10件(手渡し・郵送回収) ・自治会支会長 12件(手渡し・郵送回収) ・社会福祉法人等事業者 14件(郵送配布・郵送回収)
抽出方法	活動エリアおよび活動内容・分野により抽出
調査期間	平成31年1月15日(火)～2月12日(火)
回収結果	配布数 56件、回収数 43件、回収率 76.8%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の選択肢の文言は、一部省略している場合があります。
- 表のなかで数値に色が付けられているものは、横軸に見て最も高い数値を示しています。
- 本文中に「前回」とあるものは、深谷市が平成26年に実施した「『第2次深谷市地域福祉計画』及び『第2次深谷市地域福祉活動計画』策定のための市民アンケート」（配布2,000件、回収1,079件、回収率54.0%）及び「『第2次深谷市地域福祉計画』及び『第2次深谷市地域福祉活動計画』策定のための団体アンケート」（配布36件、回収29件、回収率80.6%）の結果を示しています。

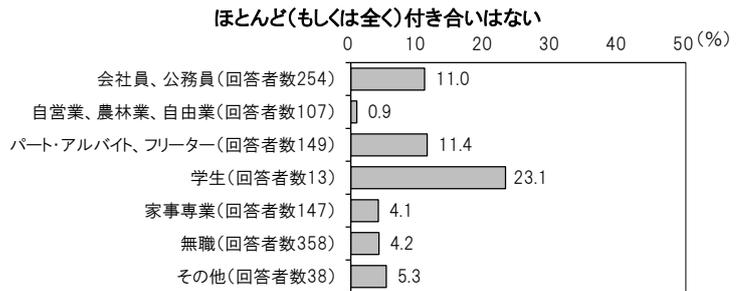
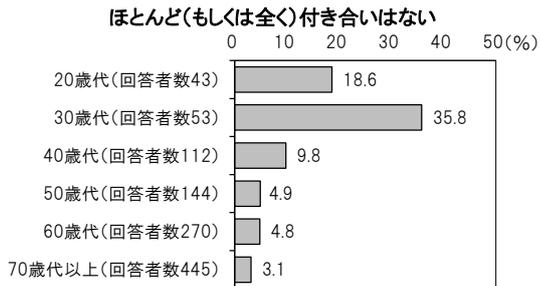
II 調査結果の概要

地域福祉や福祉課題に関する意識や行動について

ふだんの地域の人との付き合いの程度については、30歳代で「ほとんど（もしくは全く）付き合いはない」が3割と他の年代に比べて高く、職業別にみると会社員、公務員やパート・アルバイト、フリーター、学生で付き合いの程度が低くなる傾向にあり、働き盛り・子育て世代における地域の人との付き合いが、他の年代に比べて希薄であることがうかがえます（市民：問6）。

■市民：問6/年代別

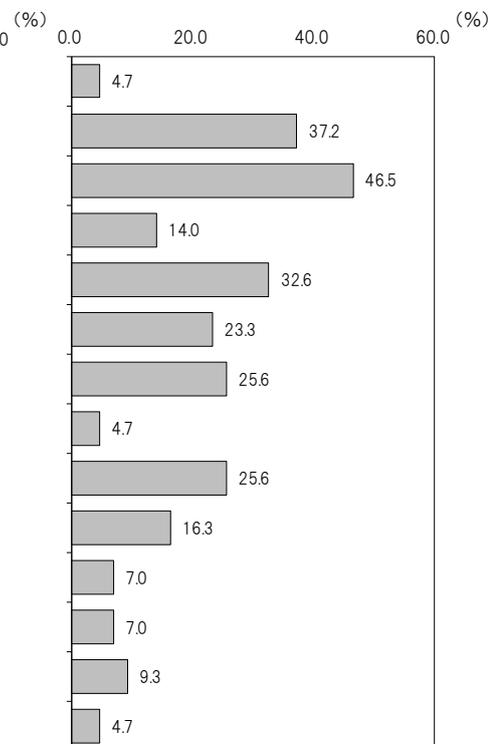
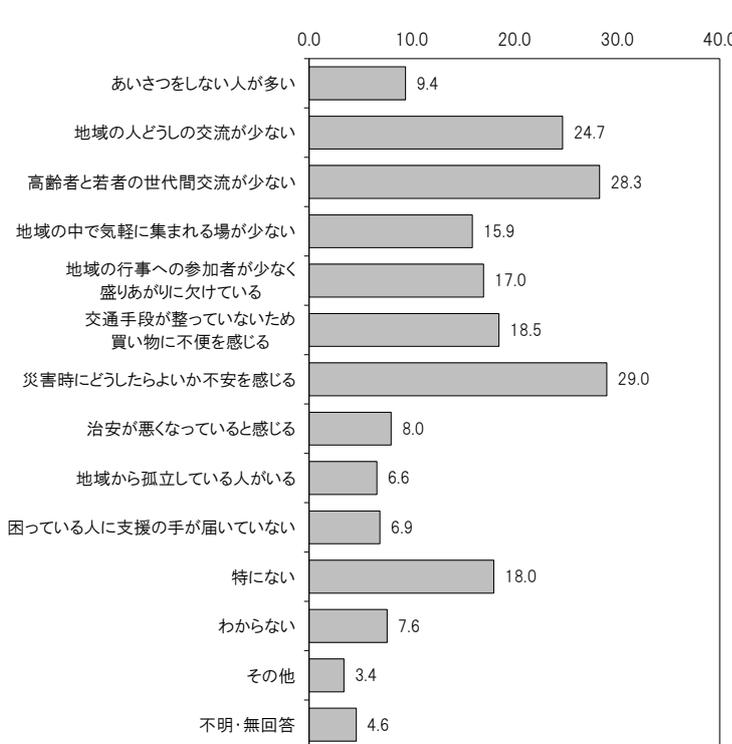
■市民：問6/職業別



地域の中で課題に感じることとして、災害時への不安が最も高く、次いで交流に関する問題意識が高くなっており（市民：問7）、交流については団体・事業者アンケートにおいても同様の結果となっています（団体：問6）。

■市民：問7(回答者 1,086)

■団体：問6(回答者 43)



災害時については、地域の人から頼まれた場合、自分からしてあげられることとして小規模災害時の手助けが20歳代から40歳代で最も高くなっており、地域の人との付き合いの程度が低い世代でも小規模災害時の手助けはできていることがうかがえます（市民：問8）。

地域の人にしてほしいと思うことについても、小規模・大規模災害時の手助けが高くなっている一方で、「してほしいことはない」がいずれの年代でも2割半ばから3割となっています。平常時、緊急時を問わず、必要な時に地域の人に助けてもらう、手伝ってもらうという意識が低くなっている市民が一定数いることがうかがえます（市民：問9）。

■市民：問8, 9/年代別

(単位：%)	安否確認の声かけ	話し相手	短時間の子どもの預かり	外出（買い物や通院など）の手伝い	庭の手入れや掃除の手伝い	郵便物・宅配物の一時預かり	冠婚葬祭の手伝い	小規模災害時の手助け（近所の雪かきなど）	大規模災害時の手助け（避難時の誘導など）	してほしいことはない／できないことはない	その他	不明・無回答
--------	----------	------	-------------	------------------	--------------	---------------	----------	----------------------	----------------------	----------------------	-----	--------

できること

20歳代(回答者数43)	32.6	34.9	4.7	11.6	11.6	20.9	16.3	44.2	20.9	14.0	0.0	0.0
30歳代(回答者数53)	37.7	35.8	5.7	11.3	15.1	24.5	15.1	50.9	24.5	18.9	1.9	1.9
40歳代(回答者数112)	46.4	31.3	8.9	15.2	9.8	20.5	28.6	58.9	21.4	8.0	4.5	1.8
50歳代(回答者数144)	62.5	29.9	12.5	18.1	11.1	33.3	37.5	52.8	20.1	4.2	2.8	2.1
60歳代(回答者数270)	53.7	37.0	9.3	18.1	11.1	27.8	36.7	41.9	12.6	7.0	1.9	2.6
70歳代以上(回答者数445)	41.6	39.8	7.6	12.1	11.7	20.4	22.5	22.5	6.1	17.3	3.1	6.5

してほしいこと

20歳代(回答者数43)	16.3	7.0	2.3	7.0	4.7	7.0	7.0	34.9	37.2	34.9	2.3	2.3
30歳代(回答者数53)	22.6	5.7	9.4	0.0	3.8	3.8	7.5	45.3	45.3	24.5	1.9	0.0
40歳代(回答者数112)	18.8	10.7	1.8	3.6	5.4	4.5	15.2	44.6	31.3	30.4	4.5	2.7
50歳代(回答者数144)	18.8	4.2	1.4	4.2	9.0	7.6	14.6	41.7	30.6	26.4	4.2	4.2
60歳代(回答者数270)	25.6	8.9	1.9	3.3	4.8	7.0	11.1	29.6	22.2	33.3	5.2	5.9
70歳代以上(回答者数445)	23.8	16.4	0.7	6.1	9.2	6.7	7.4	22.0	19.1	25.4	5.2	10.1

見守り等支援が必要な人や、気にかかる人がいるかについて、「いない」、「知らない」を除くとひとり暮らし高齢者が最も高くなっているほか、大寄地区と八基地区で「認知症の人」が1割、大寄地区で「判断能力が不十分な人」が1割と、他の地区に比べて高くなっています（市民：問10）。また、団体・事業者アンケートでは「閉じこもりや引きこもりの人」も高くなっています（団体：問7）。

■市民：問10/地区別、団体：問7

(単位：%)	高齢でひとり暮らしの人	認知症の人	判断能力が不十分な人	精神疾患のある人	閉じこもりや引きこもりの人	虐待が疑われる人	生活に困っている人	刑期を終え社会復帰した人	いない	知らない	その他	不明・無回答
--------	-------------	-------	------------	----------	---------------	----------	-----------	--------------	-----	------	-----	--------

市民アンケート

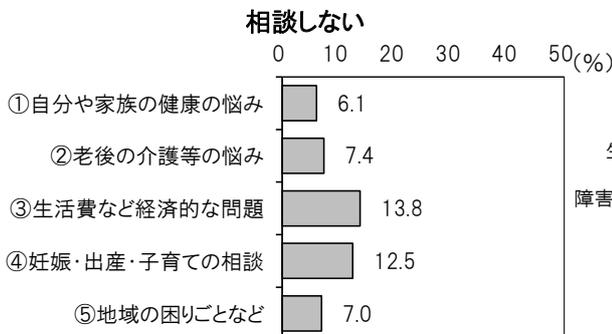
深谷地区(回答者数256)	24.6	5.9	3.9	5.9	5.1	2.3	4.3	0.8	30.1	38.7	2.3	2.3
藤沢地区(回答者数72)	20.8	4.2	4.2	2.8	4.2	0.0	2.8	0.0	31.9	34.7	1.4	11.1
幡羅地区(回答者数123)	26.0	2.4	4.9	3.3	4.9	0.0	0.8	0.0	26.0	40.7	1.6	4.9
明戸地区(回答者数43)	30.2	7.0	7.0	2.3	7.0	2.3	2.3	0.0	25.6	32.6	2.3	7.0
大寄地区(回答者数29)	20.7	10.3	10.3	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	20.7	27.6	3.4	6.9
八基地区(回答者数35)	22.9	17.1	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	17.1	42.9	0.0	11.4
豊里地区(回答者数32)	37.5	9.4	0.0	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	18.8	25.0	3.1	12.5
上柴地区(回答者数116)	29.3	5.2	4.3	5.2	4.3	0.9	2.6	0.0	14.7	41.4	3.4	6.9
南地区(回答者数85)	28.2	3.5	4.7	5.9	2.4	1.2	1.2	0.0	32.9	31.8	1.2	3.5
岡部地区(回答者数131)	26.0	8.4	7.6	3.1	6.1	0.8	4.6	0.0	29.0	26.0	2.3	7.6
川本地区(回答者数92)	31.5	6.5	7.6	1.1	5.4	1.1	3.3	1.1	22.8	31.5	2.2	7.6
花園地区(回答者数56)	28.6	7.1	5.4	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	30.4	32.1	0.0	8.9

団体アンケート

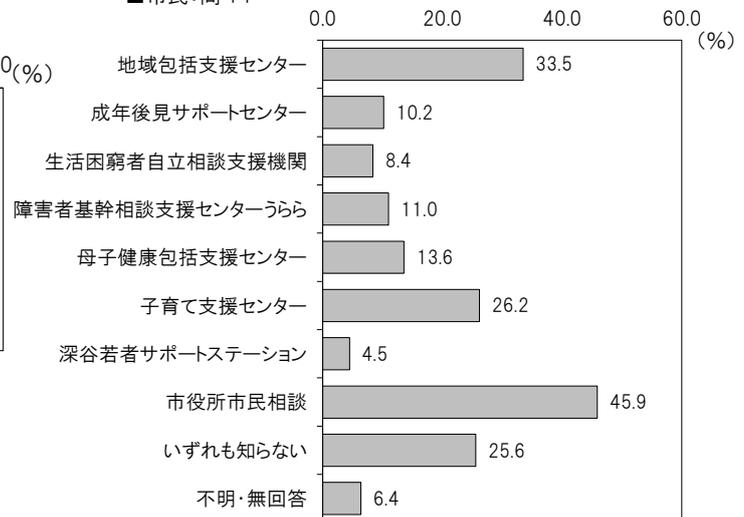
団体(回答者数43)	60.5	32.6	20.9	23.3	27.9	0.0	18.6	2.3	9.3	14.0	7.0	2.3
------------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	-----	------	-----	-----

不安や悩みなどの相談先としては、生活費など経済的な問題、妊娠・出産・子育ての相談において「相談しない」がやや高くなっているほか（市民：問13）、相談支援窓口の認知度は、生活困窮者自立相談支援機関、深谷若者サポートステーションが低くなっています（市民：問14）。

■市民：問13



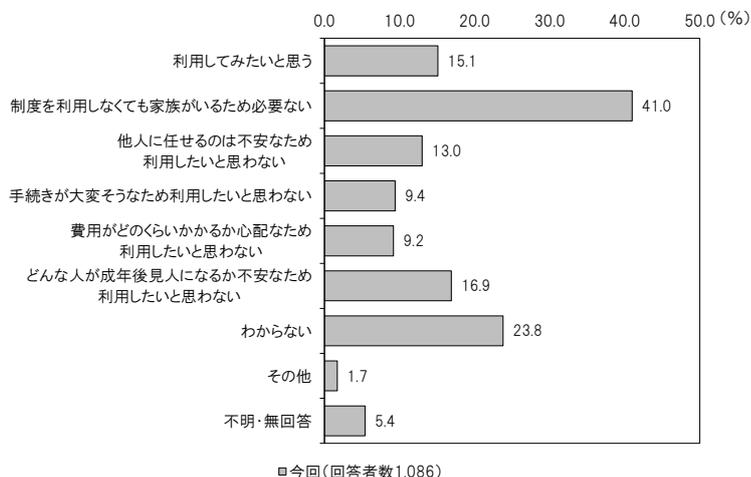
■市民：問14



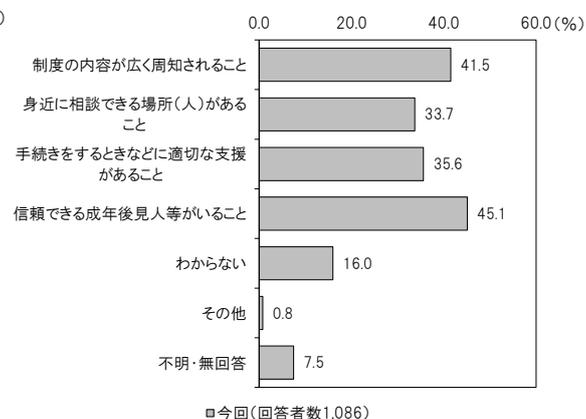
□今回(回答者数1,086)

成年後見制度を「利用してみたいと思う」は1割半ばで、「制度を利用しなくても家族がいるため必要ない」が最も高くなっているほか、後見人に対する不安感が一定数あり（市民：問15）、成年後見制度を安心して利用するために「信頼できる成年後見人等がいること」が重要となっています（市民：問16）。

■市民：問15

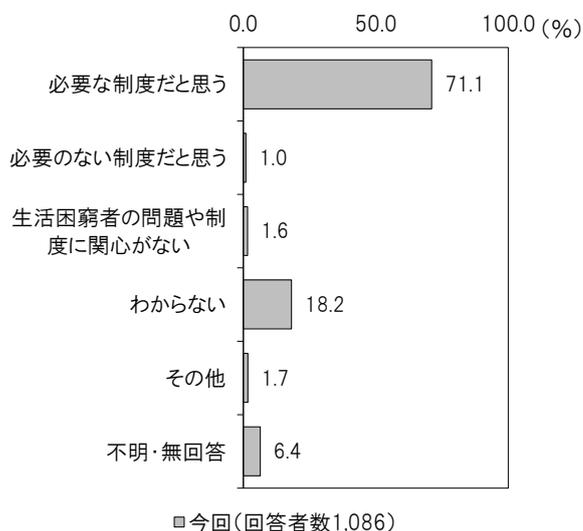


■市民：問16

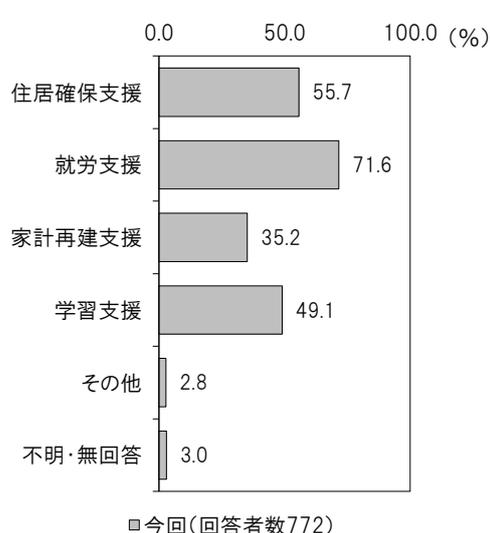


生活困窮者自立支援制度については、必要な制度だとの認識が高く（市民：問17）、またその問題を解決するために必要な支援としては就労支援、住居確保支援、学習支援の順で高くなっています（市民：問18）。

■市民：問17



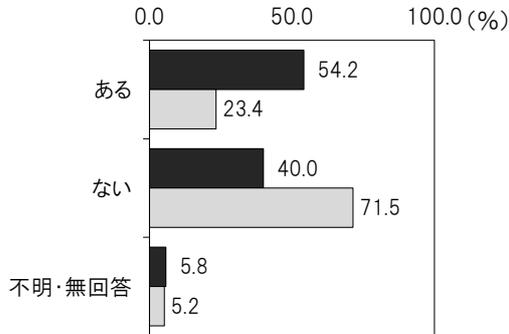
■市民：問18



「地域活動・ボランティア活動」について

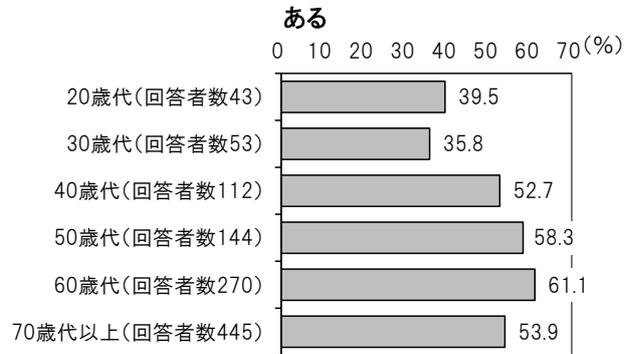
過去5年間の地域活動・ボランティア活動の状況については、参加したことが「ある」割合が前回調査から大幅に増加しており、20歳代から30歳代でも一定数が「ある」と回答しています（市民：問20）。

■市民：問20

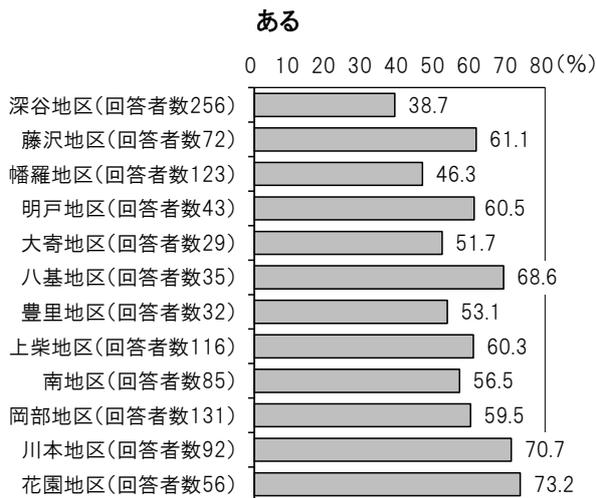


■今回(回答者数1,086) □前回(回答者数1,079)

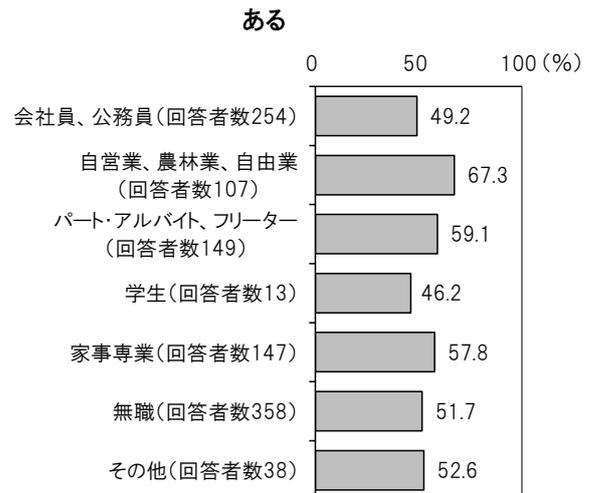
■市民：問20/年代別



■市民：問20/地区別

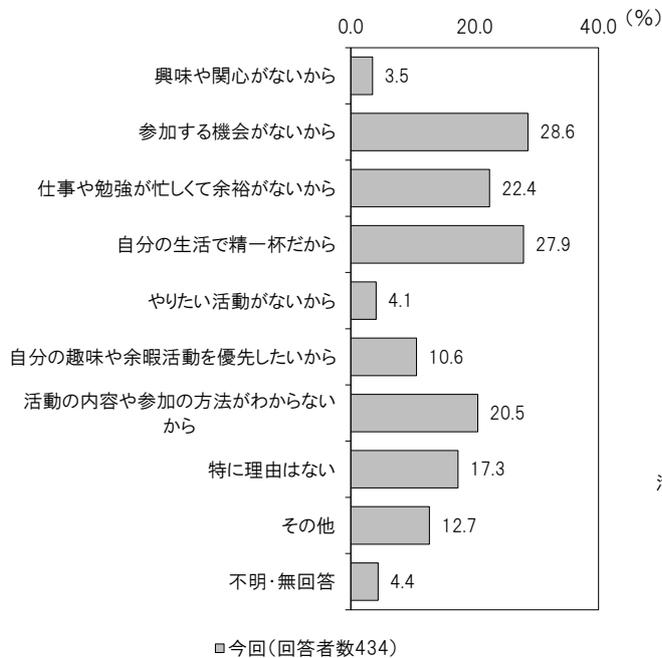


■市民：問20/職業別

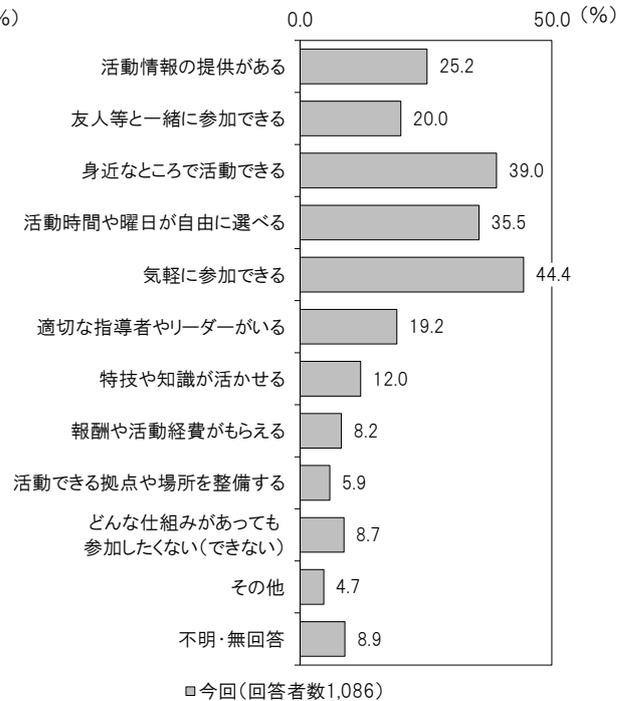


地域活動・ボランティア活動に参加していない（できない）理由として、機会がない、活動内容や参加方法がわからないとの回答が一定数いるほか（市民：問 22）、参加するために必要な仕組みとして「身近なところ」、「気軽さ」が求められており（市民：問 23）、身近に取り組める機会の充実や、活動内容や参加方法の情報提供が重要となっていることがうかがえます。

■市民：問 22



■市民：問 23

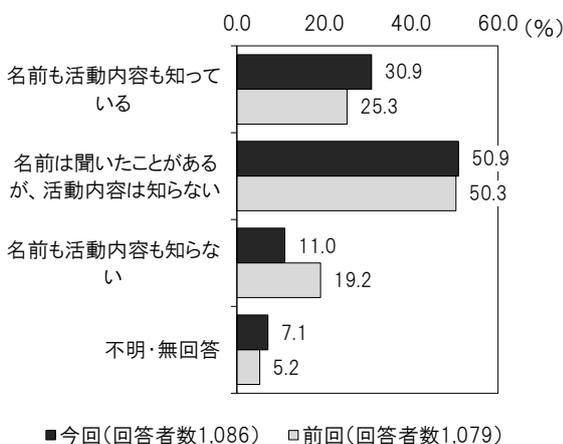


「社会福祉協議会」及び「民生委員」について

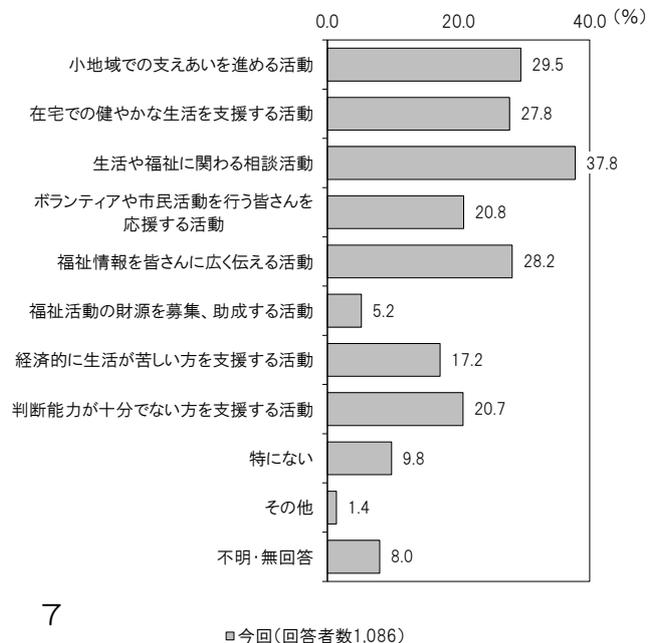
深谷市社会福祉協議会の認知度は前回調査よりやや高くなっていますが、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が高くなっています（市民：問 24）。

深谷市社会福祉協議会に期待する活動として、身近な地域での相談相手、情報提供、支え合いの推進役が求められていることがうかがえます（市民：問 26）。

■市民：問 24



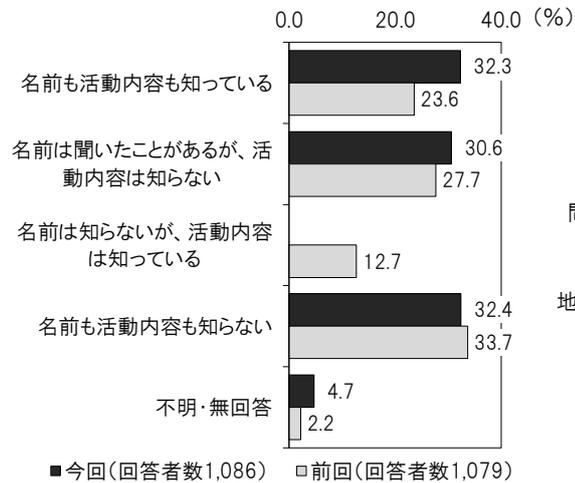
■市民：問 26



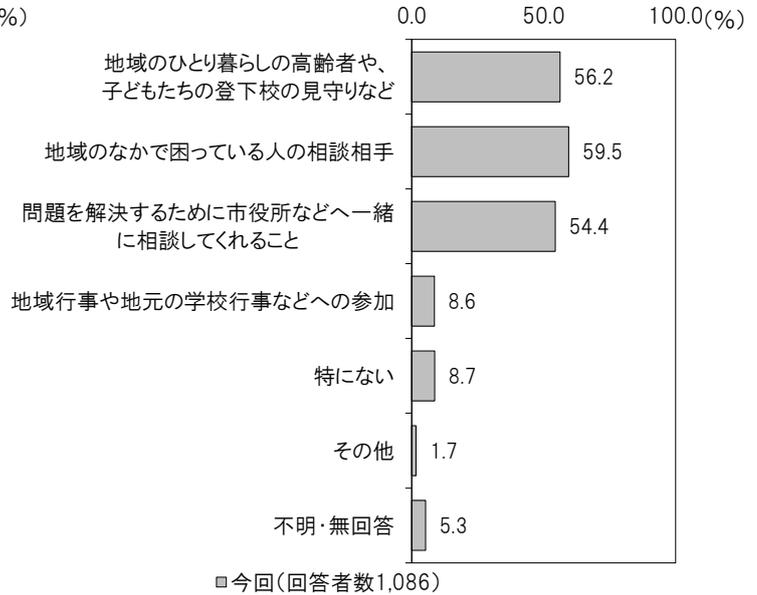
担当の民生委員・児童委員については、概ね年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向にあります。また、深谷地区と幡羅地区と南地区で認知度が低くなっています（市民：問 27）。

民生委員に対して期待する活動や支援については、相談相手や相談機関へのつなぎ役、日常的な見守りが民生委員に求められていることがうかがえます（市民：問 29）。

■市民：問 27



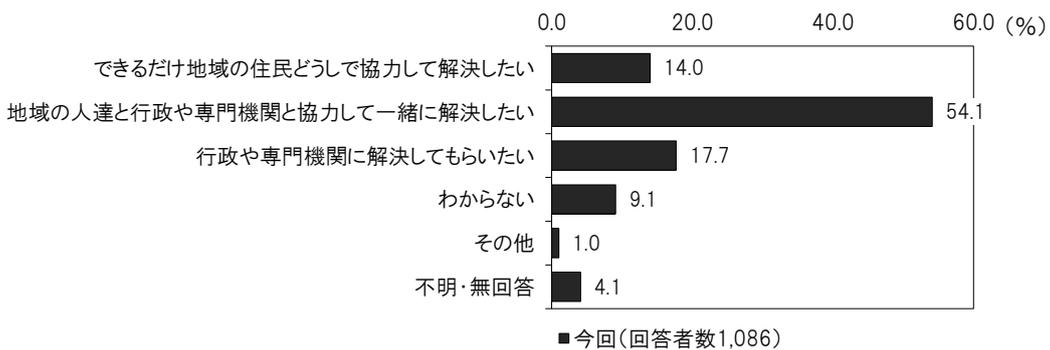
■市民：問 29



今後の方向性について

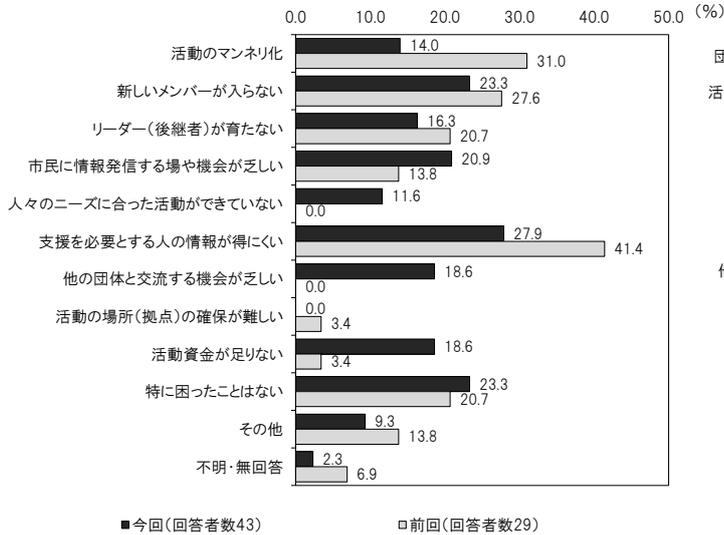
地域の困りごとや心配ごとの解決方法については、様々な立場の人が相互に協力・連携して地域の課題解決に導くという考え方が高くなっています（市民：問 33）。

■市民：問 33

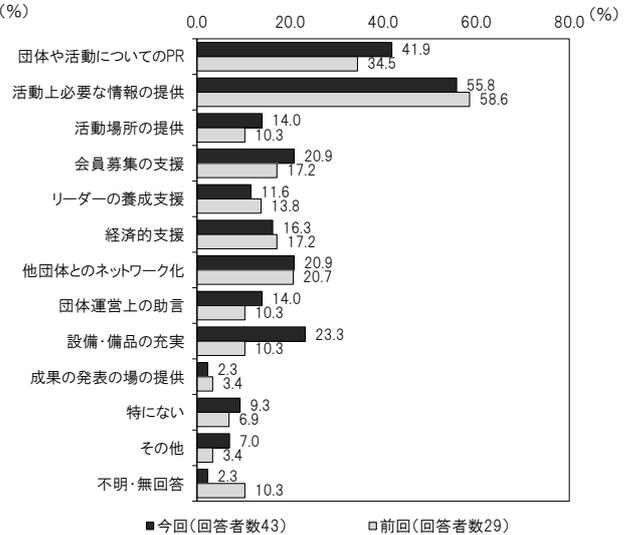


団体・事業者アンケートでは、団体・事業者が地域活動を行う上で困っていること(団体：問4)、活動をしていく上で市や社協に望むこと(団体：問10)を踏まえると、情報提供や情報発信の支援、人材育成や設備の充実が求められていることがうかがえます。

■ 団体：問4

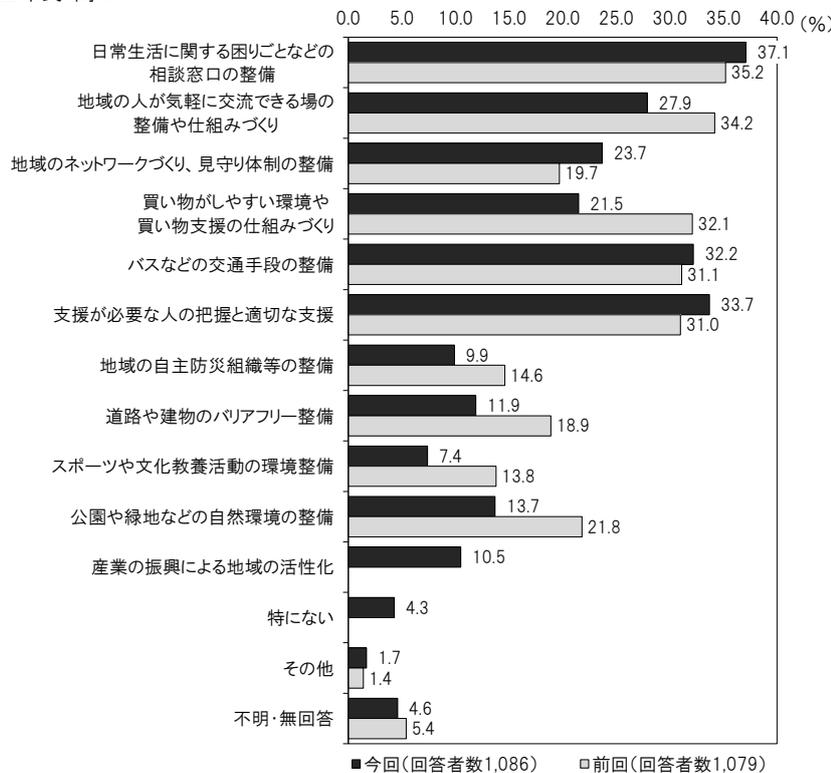


■ 団体：問10

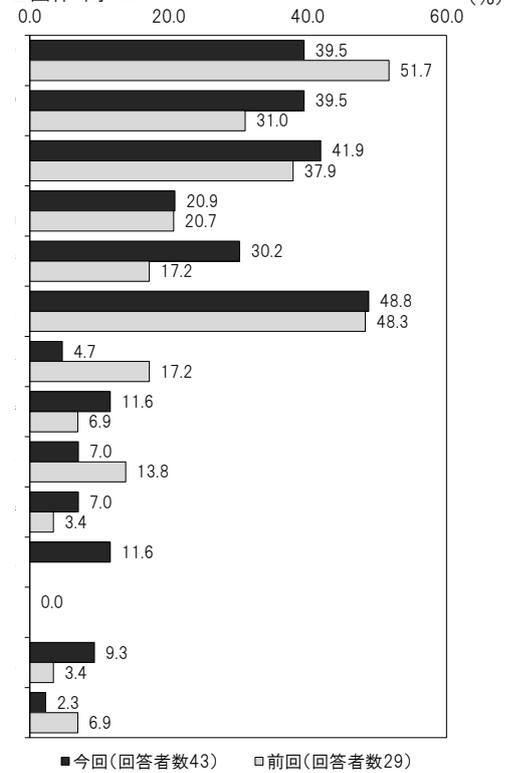


地域での暮らしをより豊かにするために必要なことについては、「日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備」、「支援が必要な人の把握と適切な支援」が、市民アンケート、団体・事業者アンケートともに高くなっています(市民：問30、団体：問12)。

■ 市民：問30

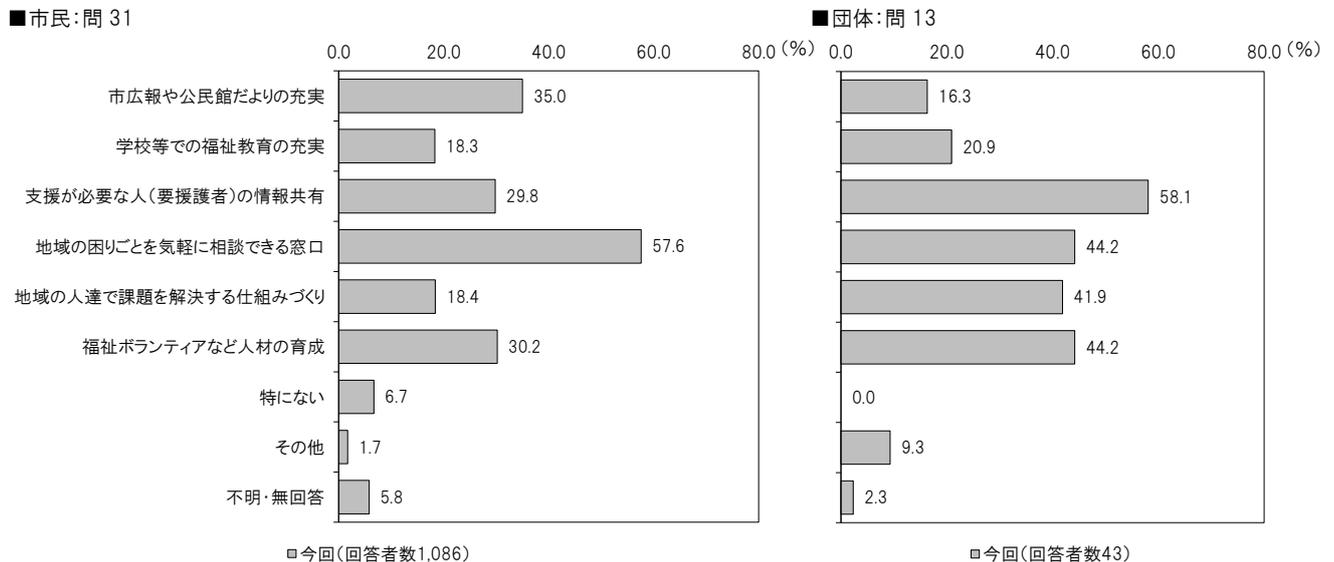


■ 団体：問12



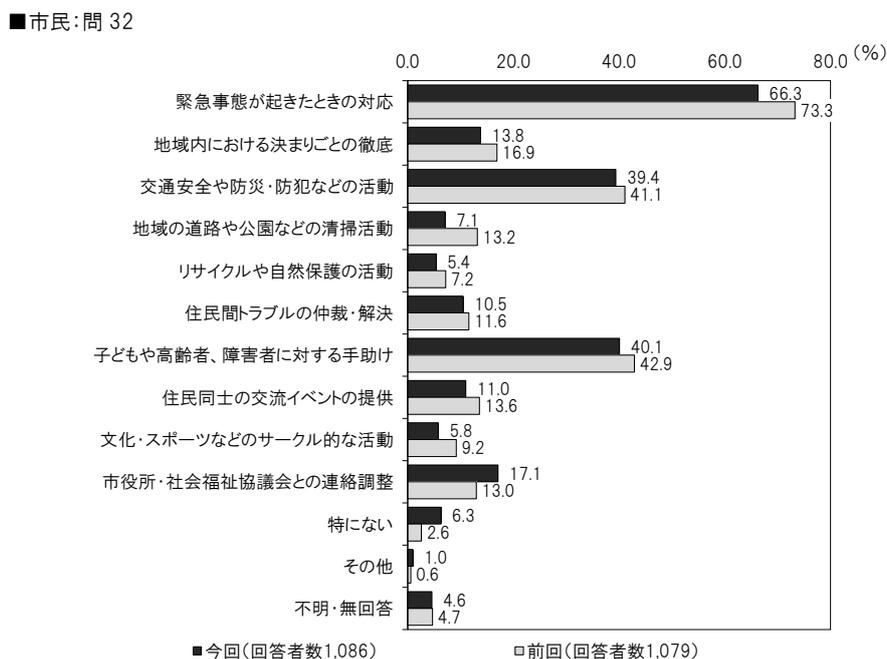
助け合いを活発化するために重要な市・社協の取り組みについては、「地域の困りごとを気軽に相談できる窓口」、「福祉ボランティアなど人材の育成」が市民アンケート、団体・事業者アンケートともに高くなっています（市民：問31、団体：問13）。

これらのことから、市や社協には情報提供や情報発信の支援、人材育成や設備の充実、気軽に相談できる窓口の充実、支援が必要な人へのアウトリーチが求められていることがうかがえます。



団体・事業者として市や社協との協働で取り組めると思うことについては、ボランティア・市民活動団体からは活動の継続的な実施や、農家との連携による福祉農園などの開設が挙げられているほか、事業者からは保育園と高齢者がふれあう機会の提供、自治会及び民生委員・児童委員からは見守りネットワークの構築、情報の相互共有なども挙げられました（団体：問11）。

また市民アンケートにおいても、組織や団体に期待する活動として、緊急時や日常的な防災・防犯活動、支援が必要な人に対する見守りや世代間交流の機会提供等が挙げられており、そのための団体への支援が重要となっていることがうかがえます（市民：問32）。



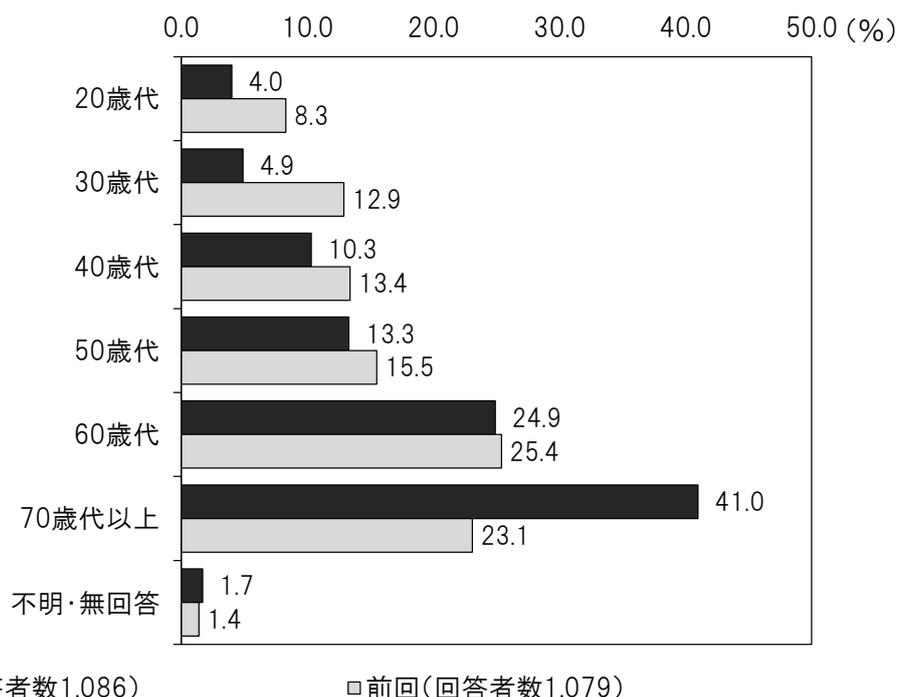
III 市民アンケート結果

1. あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの年代はどれですか。(ひとつだけ○)

年代については、「70歳代以上」が41.0%で最も高く、次いで「60歳代」が24.9%、「50歳代」が13.3%となっています。

前回調査と比較すると、「70歳代以上」が17.9ポイント増加し、「30歳代」が8.0ポイント減少しています。



【地区別】

地区別にみると、八基地区で「60歳代」が最も高くなっています。

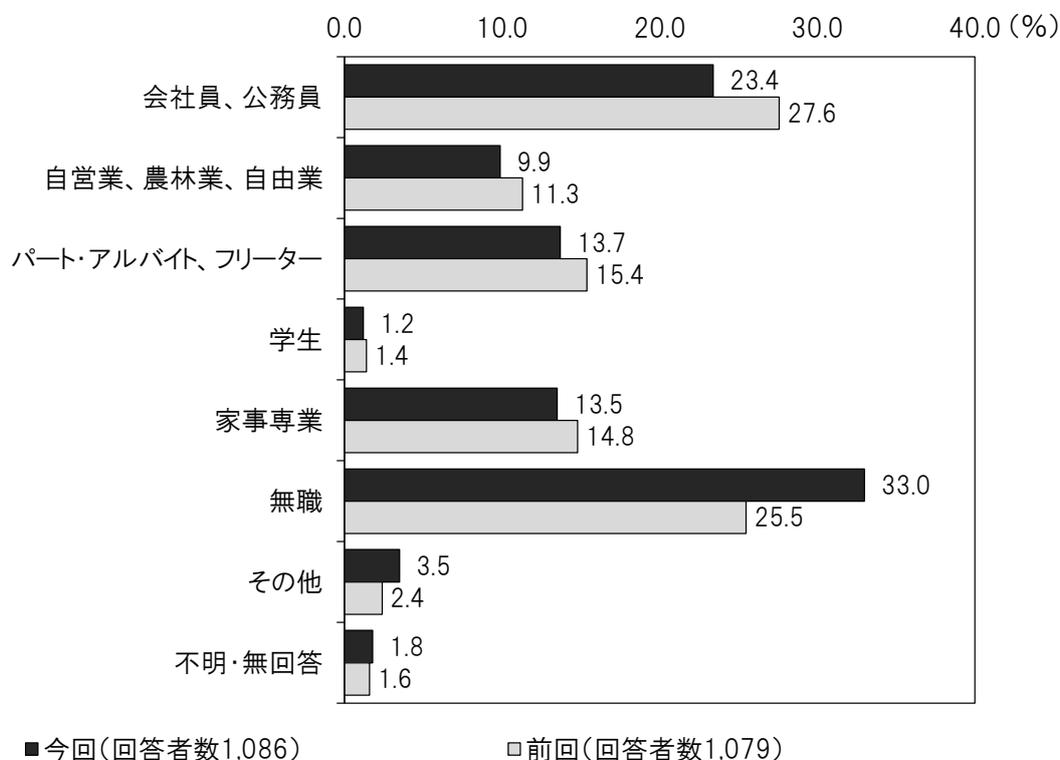
また八基地区と豊里地区で「50歳代」が2割と、他の地区に比べて高くなっています。

(単位:%)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明・無回答
深谷地区(回答者数256)	6.6	6.3	9.4	14.5	22.7	39.8	0.8
藤沢地区(回答者数72)	4.2	4.2	11.1	11.1	29.2	38.9	1.4
幡羅地区(回答者数123)	4.1	7.3	13.0	13.0	18.7	43.1	0.8
明戸地区(回答者数43)	4.7	0.0	4.7	9.3	34.9	46.5	0.0
大寄地区(回答者数29)	3.4	6.9	6.9	13.8	31.0	37.9	0.0
八基地区(回答者数35)	2.9	0.0	14.3	20.0	40.0	22.9	0.0
豊里地区(回答者数32)	6.3	3.1	6.3	21.9	21.9	40.6	0.0
上柴地区(回答者数116)	3.4	6.0	12.9	10.3	27.6	39.7	0.0
南地区(回答者数85)	3.5	3.5	10.6	15.3	25.9	41.2	0.0
岡部地区(回答者数131)	2.3	3.1	10.7	14.5	29.0	40.5	0.0
川本地区(回答者数92)	2.2	5.4	9.8	12.0	22.8	47.8	0.0
花園地区(回答者数56)	0.0	5.4	10.7	8.9	17.9	57.1	0.0

問2 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

職業については、「無職」が33.0%で最も高く、次いで「会社員、公務員」が23.4%、「パート・アルバイト、フリーター」が13.7%となっています。

前回調査と比較すると、「無職」が7.5ポイント増加しています。



【年代別】

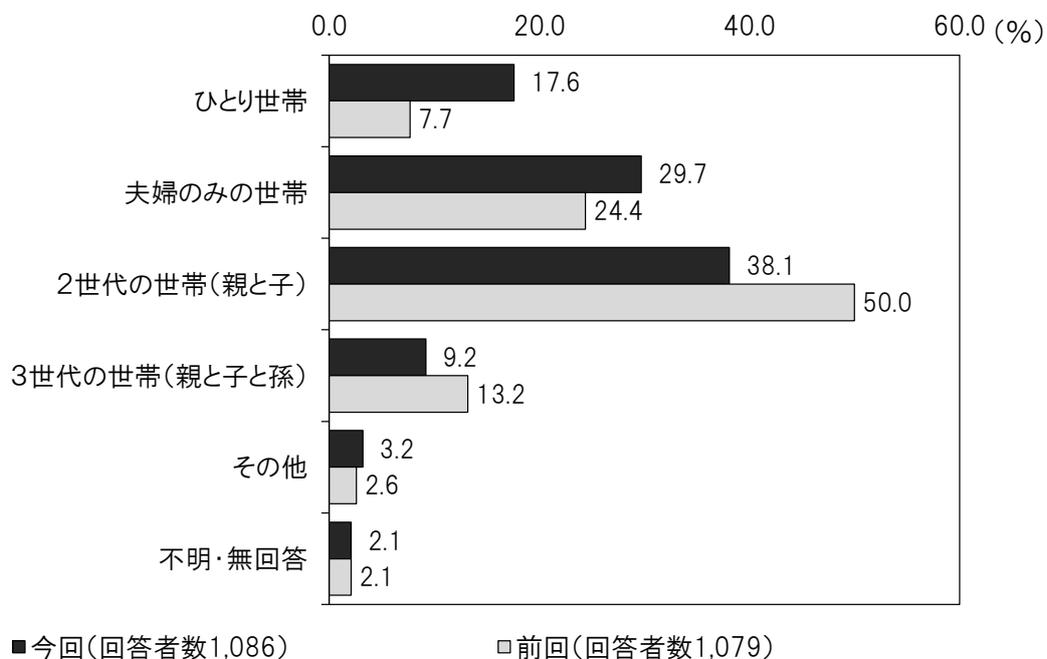
年代別にみると、20歳代から50歳代で「会社員、公務員」が、60歳代以上で「無職」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)	会社員、公務員	自営業、農林業、自由業	パート・アルバイト	学生	家事専業	無職	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	53.5	2.3	9.3	30.2	0.0	2.3	2.3	0.0
30歳代(回答者数53)	64.2	0.0	24.5	0.0	7.5	1.9	1.9	0.0
40歳代(回答者数112)	64.3	6.3	23.2	0.0	1.8	2.7	1.8	0.0
50歳代(回答者数144)	51.4	8.3	20.1	0.0	11.1	6.3	2.8	0.0
60歳代(回答者数270)	17.4	12.6	20.7	0.0	18.1	25.9	4.8	0.4
70歳代以上(回答者数445)	0.9	11.9	4.7	0.0	16.9	61.3	3.8	0.4

問3 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(ひとつだけ○)

家族構成については、「2世代の世帯（親と子）」が38.1%で最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が29.7%、「ひとり世帯」が17.6%となっています。

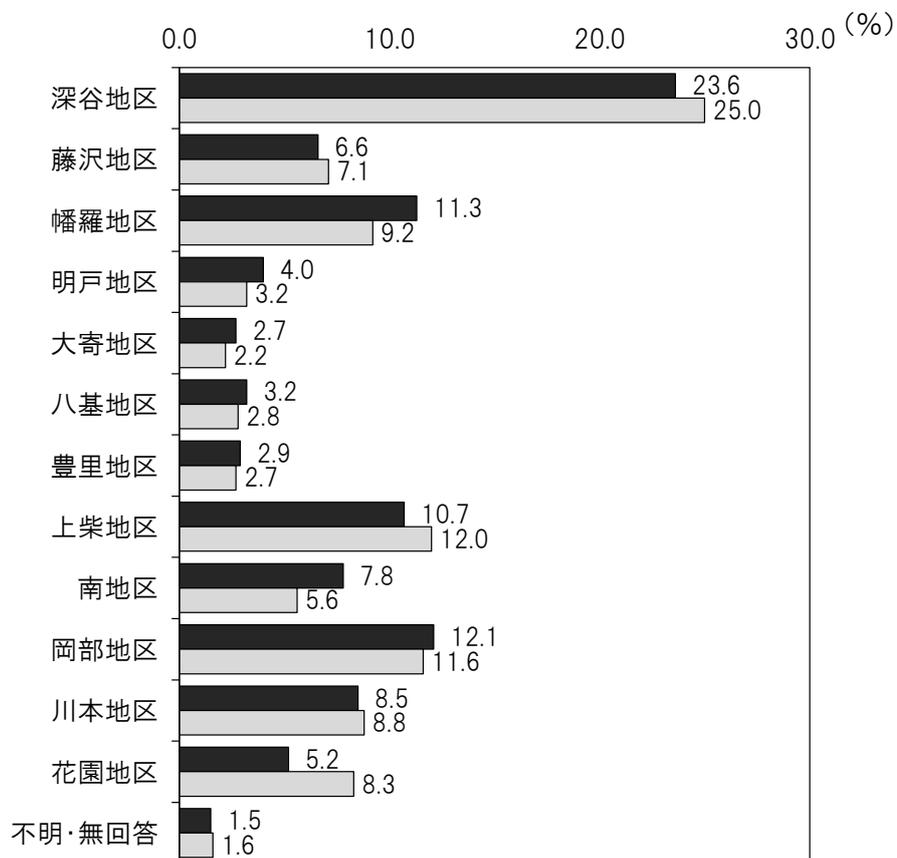
前回調査と比較すると、「2世代の世帯（親と子）」が11.9ポイント減少し、「ひとり世帯」が9.9ポイント、「夫婦のみの世帯」が5.3ポイント増加しています。



問4 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(ひとつだけ○)

居住地区については、「深谷地区」が23.6%で最も高く、次いで「岡部地区」が12.1%、「幡羅地区」が11.3%となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっています。



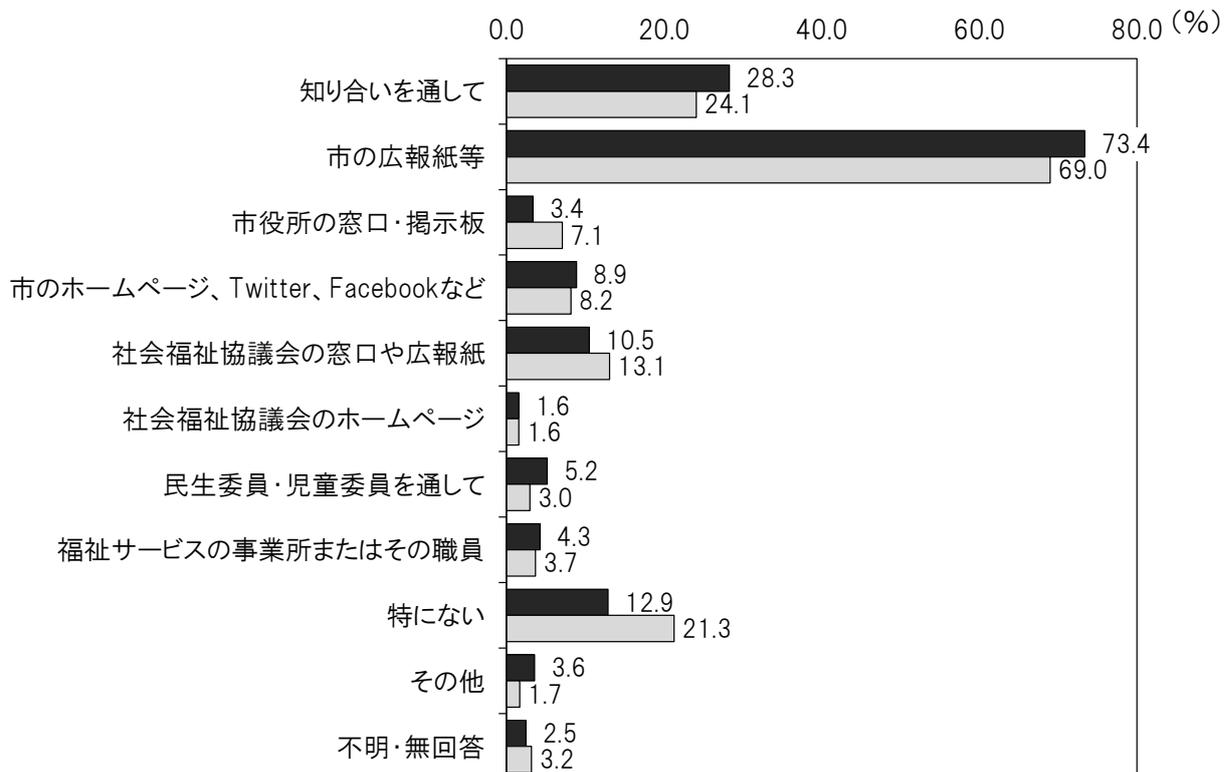
■今回(回答者数1,086)

□前回(回答者数1,079)

問5 あなたは地域の情報や暮らしの情報、ボランティアに関する情報を主にどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

地域の情報や暮らしの情報、ボランティアに関する情報の入手元については、「市の広報紙等」が73.4%で最も高く、次いで「知り合いを通して」が28.3%、「特にない」が12.9%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」が8.4ポイント減少しています。



■今回(回答者数1,086)

□前回(回答者数1,079)

* 前回は「市のホームページ、Twitter、Facebook など」が「市のホームページ」という選択肢になっている。

【年代別】

年代別にみると、20歳代から30歳代で「市のホームページ、Twitter、Facebookなど」、「特
にない」が2割と、他の年代に比べて高くなっています。

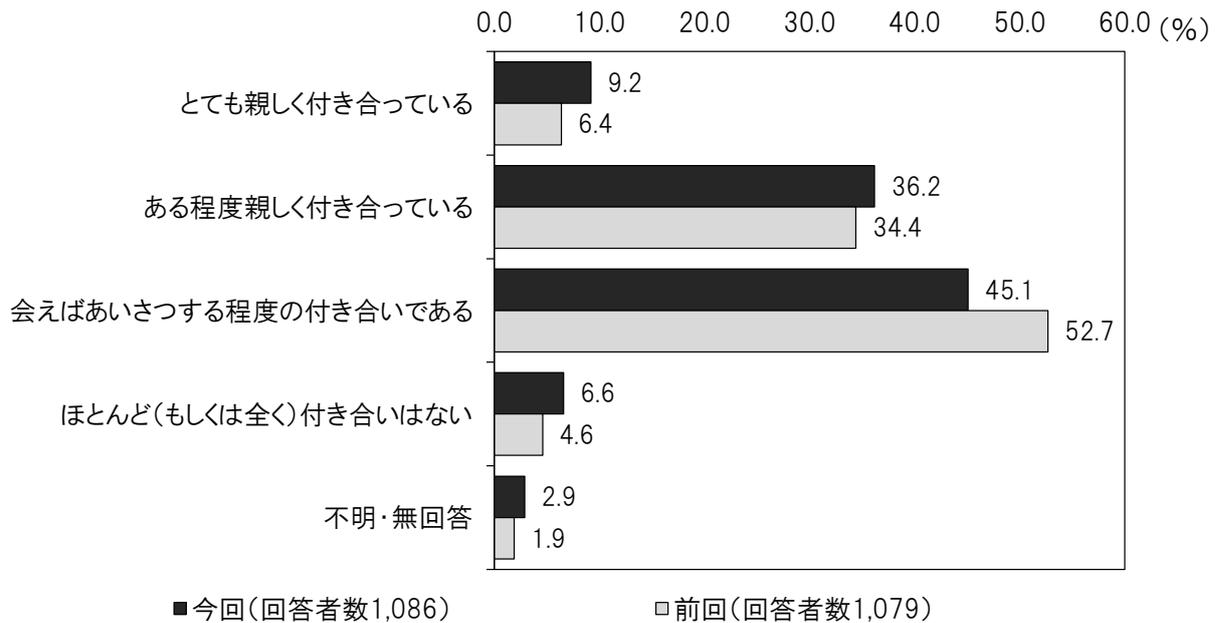
(単位：%)	知り合いを通して	市の広報紙等	市役所の窓口・掲示板	市のホームページ、Facebookなど	Twitter、	社会福祉協議会の窓口や広報紙	社会福祉協議会のホームページ	民生委員・児童委員を通して	福祉サービスの事業所またはその職員	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
20歳代(回答者数43)	34.9	51.2	7.0	20.9	7.0	2.3	0.0	4.7	27.9	2.3	0.0	
30歳代(回答者数53)	24.5	66.0	3.8	28.3	1.9	1.9	0.0	1.9	26.4	3.8	0.0	
40歳代(回答者数112)	23.2	75.0	1.8	15.2	8.0	0.0	1.8	3.6	17.9	2.7	0.0	
50歳代(回答者数144)	20.1	80.6	5.6	12.5	8.3	0.0	0.7	2.1	13.9	3.5	0.7	
60歳代(回答者数270)	33.3	79.3	2.2	7.8	12.2	1.1	3.3	4.1	11.1	3.7	0.4	
70歳代以上(回答者数445)	30.1	72.8	3.6	3.8	12.6	2.7	10.1	5.8	9.7	4.0	2.0	

2. 地域福祉や福祉課題に関する意識や行動についておたずねします。

問6 あなたは、ふだん地域の人と、どの程度の付き合いをされていますか。(ひとつだけ○)

ふだんの地域の人との付き合いの程度については、「会えばあいさつする程度の付き合いである」が45.1%で最も高く、次いで「ある程度親しく付き合っている」が36.2%、「とても親しく付き合っている」が9.2%となっています。

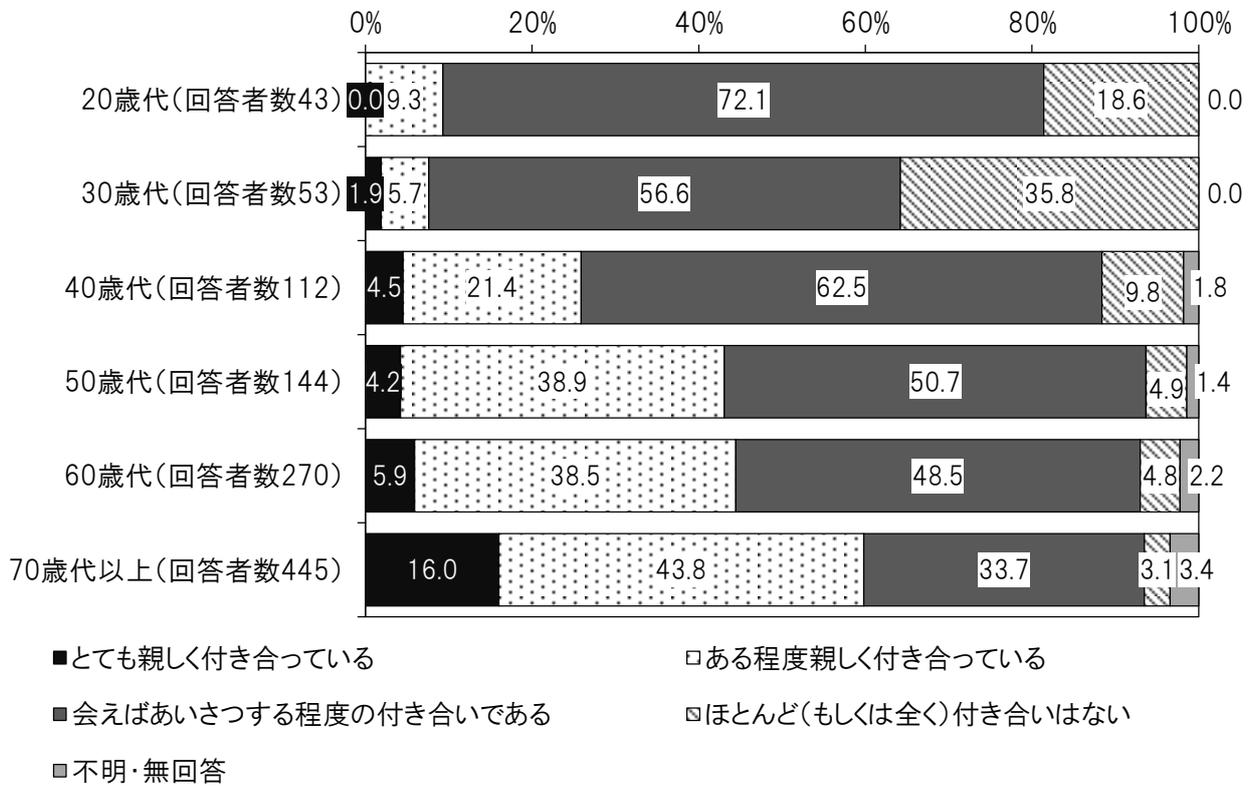
前回調査と比較すると、「会えばあいさつする程度の付き合いである」が7.6ポイント減少しています。



* 前回は「とても親しく付き合っている」が「家族ぐるみでとても親しく付き合っている」という選択肢になっている。

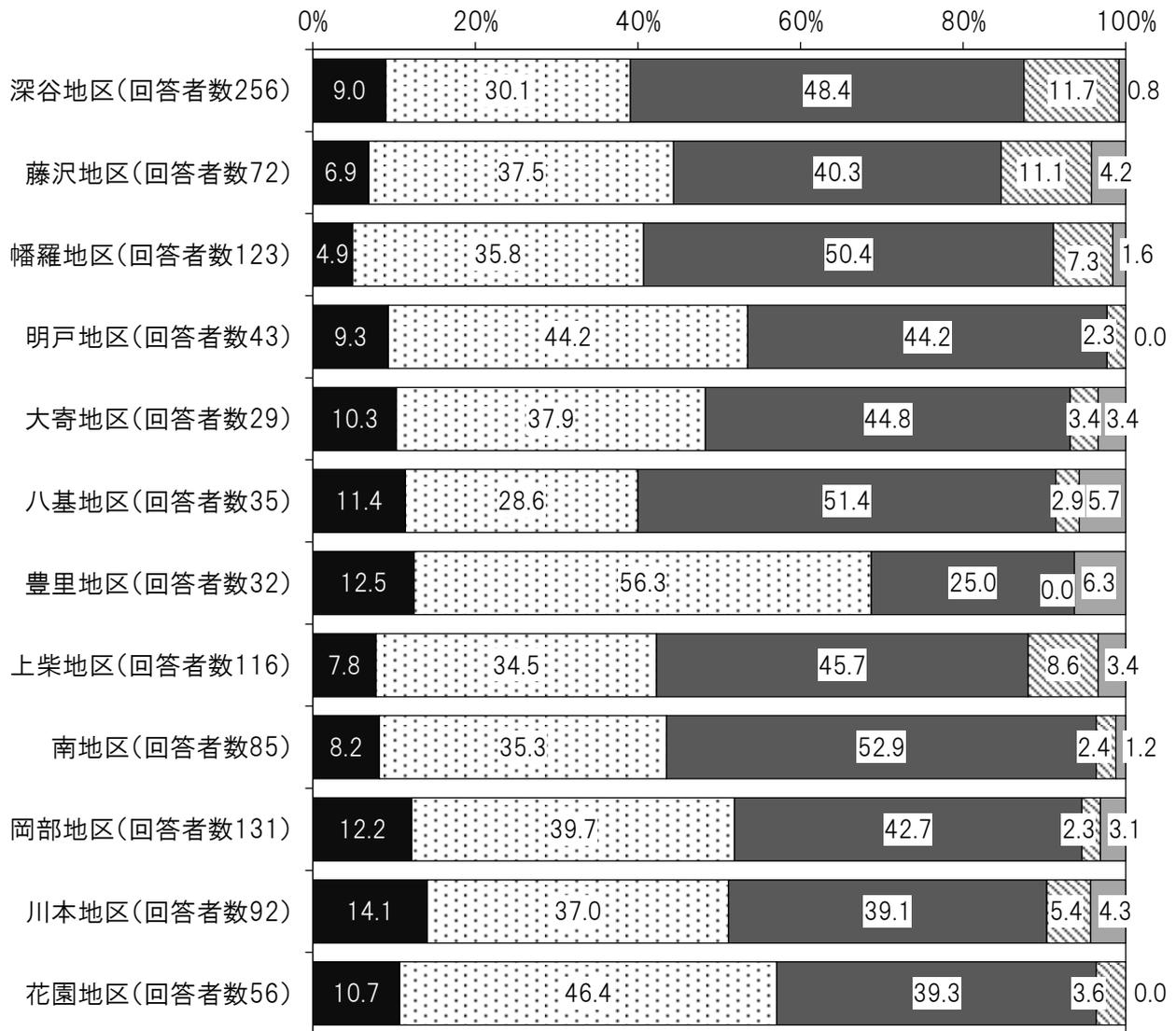
【年代別】

年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて「とても親しく付き合っている」と「ある程度親しく付き合っている」が高くなる傾向にあります。また、「ほとんど（もしくは全く）付き合いはない」が30歳代で3割を超え、他の年代に比べて高くなっています。



【地区別】

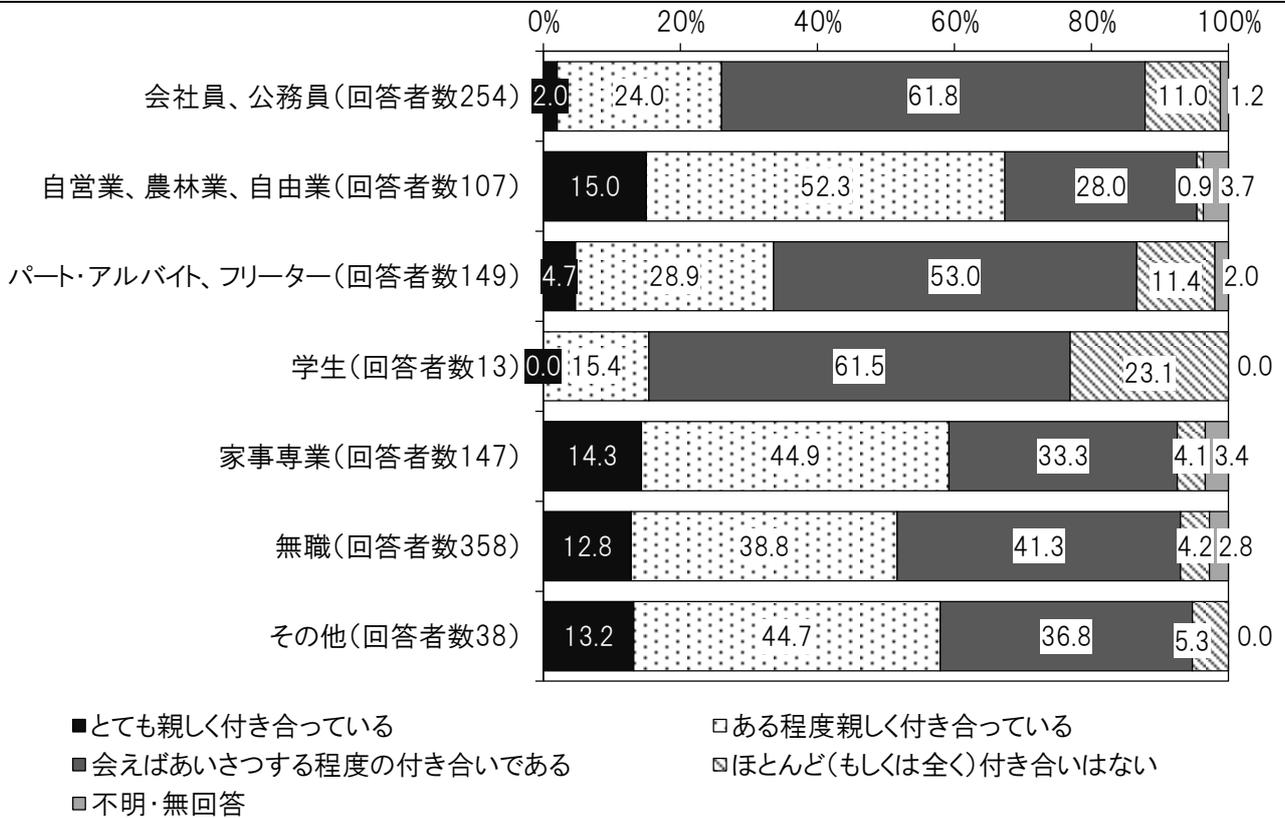
地区別にみると、明戸地区と豊里地区と花園地区で「ある程度親しく付き合っている」が最も高くなっています。また、深谷地区と藤沢地区で「ほとんど（もしくは全く）付き合いはない」が1割台と、他の地区に比べて高くなっています。



- とても親しく付き合っている
- 会えばあいさつする程度の付き合いである
- 不明・無回答
- ある程度親しく付き合っている
- ほとんど（もしくは全く）付き合いはない

【職業別】

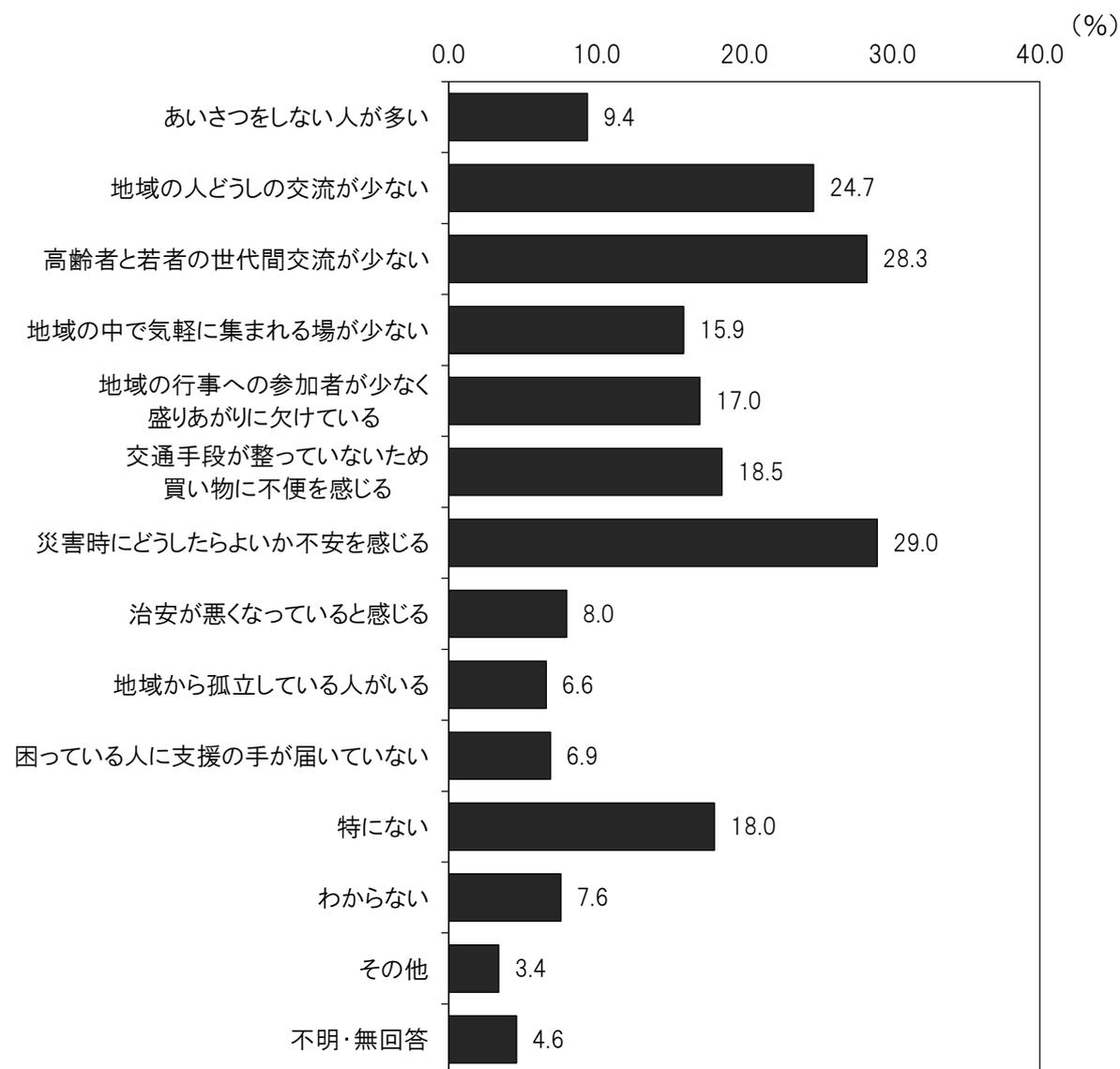
職業別にみると、自営業、農林業、自由業と家事専業とその他で「ある程度親しく付き合っている」が最も高くなっています。また、会社員、公務員とパート・アルバイト、フリーターと学生で「ほとんど（もしくは全く）付き合いはない」が1割から2割と、他の職業に比べて高くなっています。



問7 現在、あなたの住んでいる地域の中で課題に感じることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

住んでいる地域の中で課題に感じることについては、「災害時にどうしたらよいか不安を感じる」が29.0%で最も高く、次いで「高齢者と若者の世代間交流が少ない」が28.3%、「地域の人どうしの交流が少ない」が24.7%となっています。



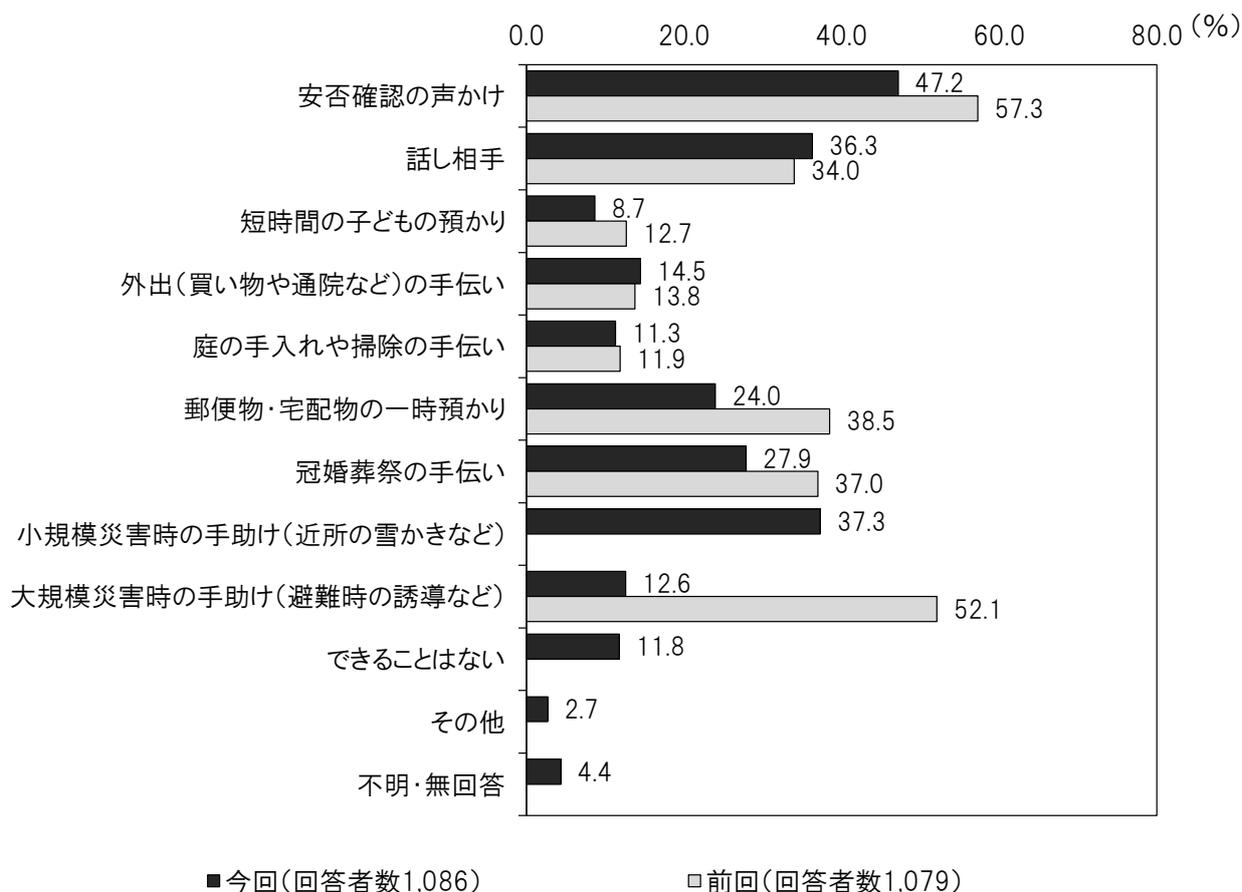
■今回(回答者数1,086)

問8 あなたは、地域の人から頼まれた場合、自分からしてあげられることはありますか。

※いつもではなく、ときどきでもしてあげられることも含む。(あてはまるものすべてに○)

地域の人から頼まれた場合、自分からしてあげられることについては、「安否確認の声かけ」が47.2%で最も高く、次いで「小規模災害時の手助け(近所の雪かきなど)」が37.3%、「話し相手」が36.3%となっています。

前回調査と比較すると、「郵便物・宅配物の一時預かり」が14.5ポイント、「安否確認の声かけ」が10.1ポイント、「冠婚葬祭の手伝い」が9.1ポイント、それぞれ減少しています。



* 前回は項目ごとに「できる」「ときどきできる」「できない」を選択する方式となっている。また前回の項目「災害時の手助け」を「大規模災害時の手助け(避難時の誘導など)」として計上しているほか、前回には選択肢「その他」がない。

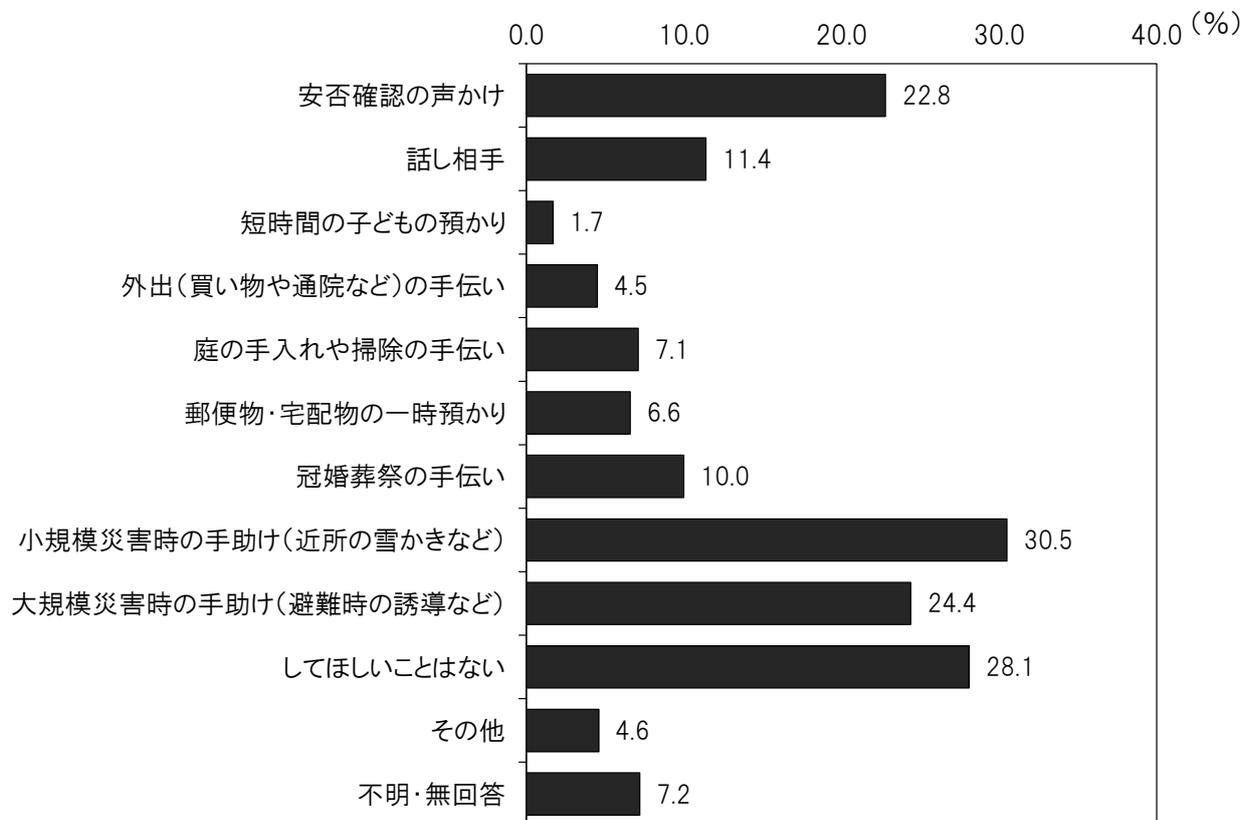
【年代別】

年代別にみると、20歳代から40歳代で「小規模災害時の手助け（近所の雪かきなど）」が最も高くなっています。また、50歳代と60歳代で「冠婚葬祭の手伝い」が3割を超え、他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	安否確認の声かけ	話し相手	短時間の子ども預かり	外出（買い物や通院など）の手伝い	庭の手入れや掃除の手伝い	郵便物・宅配物の一時預かり	冠婚葬祭の手伝い	小規模災害時の手助け（近所の雪かきなど）	大規模災害時の手助け（避難時の誘導など）	できることはない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	32.6	34.9	4.7	11.6	11.6	20.9	16.3	44.2	20.9	14.0	0.0	0.0
30歳代(回答者数53)	37.7	35.8	5.7	11.3	15.1	24.5	15.1	50.9	24.5	18.9	1.9	1.9
40歳代(回答者数112)	46.4	31.3	8.9	15.2	9.8	20.5	28.6	58.9	21.4	8.0	4.5	1.8
50歳代(回答者数144)	62.5	29.9	12.5	18.1	11.1	33.3	37.5	52.8	20.1	4.2	2.8	2.1
60歳代(回答者数270)	53.7	37.0	9.3	18.1	11.1	27.8	36.7	41.9	12.6	7.0	1.9	2.6
70歳代以上(回答者数445)	41.6	39.8	7.6	12.1	11.7	20.4	22.5	22.5	6.1	17.3	3.1	6.5

問9 あなたが地域の人にしてほしいと思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域の人にしてほしいと思うことについては、「小規模災害時の手助け（近所の雪かきなど）」が30.5%で最も高く、次いで「してほしいことはない」が28.1%、「大規模災害時の手助け（避難時の誘導など）」が24.4%となっています。



■今回(回答者数1,086)

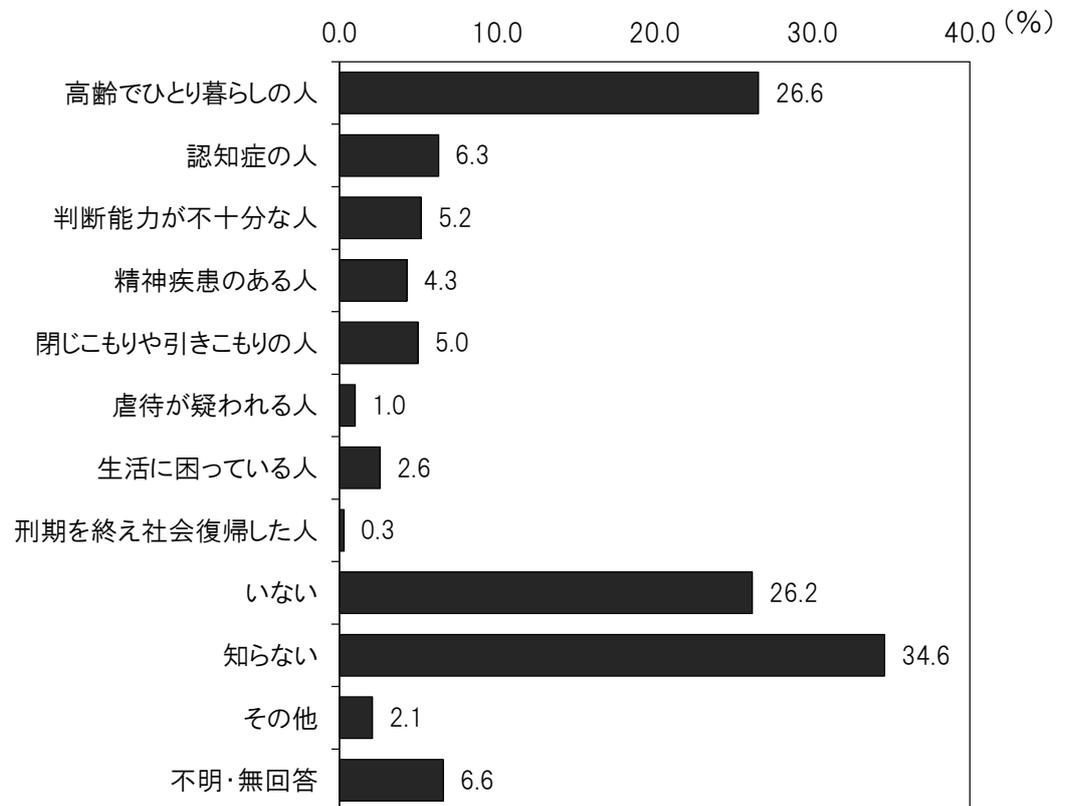
【年代別】

年代別にみると、20歳代と30歳代で「大規模災害時の手助け（避難時の誘導など）」が、60歳代以上で「してほしいことはない」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)	安否確認の声かけ	話し相手	短時間の子ども預かり	外出（買い物や通院など）の手伝い	庭の手入れや掃除の手伝い	郵便物・宅配物の一時預かり	冠婚葬祭の手伝い	小規模災害時の手助け（近所の雪かきなど）	大規模災害時の手助け（避難時の誘導など）	してほしいことはない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	16.3	7.0	2.3	7.0	4.7	7.0	7.0	34.9	37.2	34.9	2.3	2.3
30歳代(回答者数53)	22.6	5.7	9.4	0.0	3.8	3.8	7.5	45.3	45.3	24.5	1.9	0.0
40歳代(回答者数112)	18.8	10.7	1.8	3.6	5.4	4.5	15.2	44.6	31.3	30.4	4.5	2.7
50歳代(回答者数144)	18.8	4.2	1.4	4.2	9.0	7.6	14.6	41.7	30.6	26.4	4.2	4.2
60歳代(回答者数270)	25.6	8.9	1.9	3.3	4.8	7.0	11.1	29.6	22.2	33.3	5.2	5.9
70歳代以上(回答者数445)	23.8	16.4	0.7	6.1	9.2	6.7	7.4	22.0	19.1	25.4	5.2	10.1

問10 あなたがお住まいの地域には、次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(あてはまるものすべてに○)

住んでいる地域の中に見守り等支援が必要な人や、気にかかる人がいるかについては、「知らない」が34.6%で最も高く、次いで「高齢でひとり暮らしの人」が26.6%、「いない」が26.2%となっています。



■今回(回答者数1,086)

【地区別】

地区別にみると、豊里地区と川本地区で「高齢でひとり暮らしの人」が、南地区と岡部地区で「いない」が、それぞれ最も高くなっています。

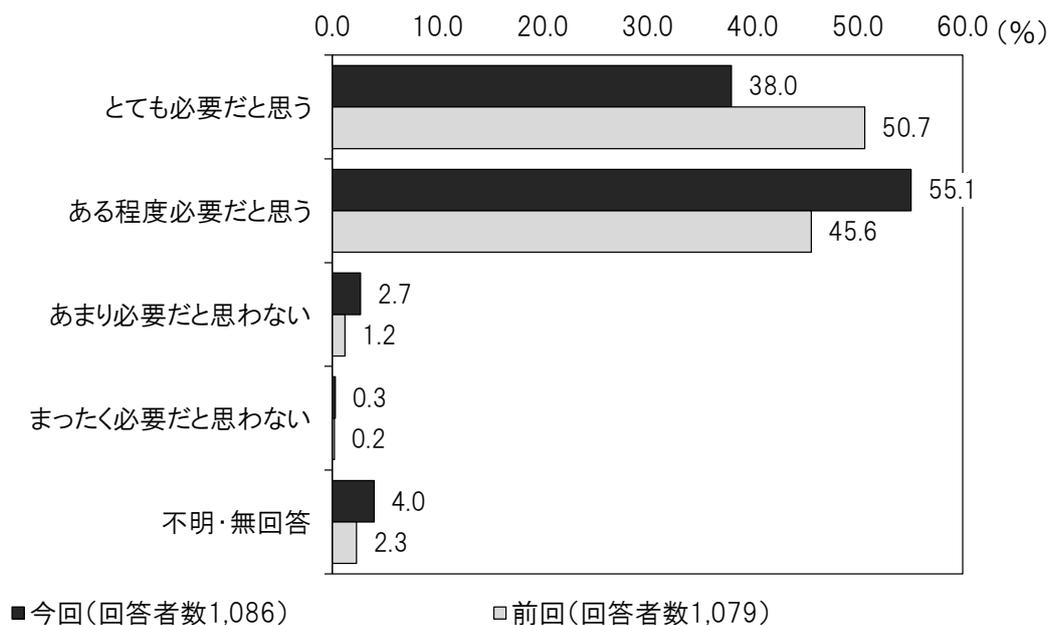
また、大寄地区で「判断能力が不十分な人」と「認知症の人」が1割、八基地区で「認知症の人」が1割と、他の地区に比べて高くなっています。

(単位:%)	高齢でひとり暮らしの人	認知症の人	判断能力が不十分な人	精神疾患のある人	閉じこもりや引きこもりの人	虐待が疑われる人	生活に困っている人	刑期を終え社会復帰した人	いない	知らない	その他	不明・無回答
深谷地区(回答者数256)	24.6	5.9	3.9	5.9	5.1	2.3	4.3	0.8	30.1	38.7	2.3	2.3
藤沢地区(回答者数72)	20.8	4.2	4.2	2.8	4.2	0.0	2.8	0.0	31.9	34.7	1.4	11.1
幡羅地区(回答者数123)	26.0	2.4	4.9	3.3	4.9	0.0	0.8	0.0	26.0	40.7	1.6	4.9
明戸地区(回答者数43)	30.2	7.0	7.0	2.3	7.0	2.3	2.3	0.0	25.6	32.6	2.3	7.0
大寄地区(回答者数29)	20.7	10.3	10.3	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	20.7	27.6	3.4	6.9
八基地区(回答者数35)	22.9	17.1	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	17.1	42.9	0.0	11.4
豊里地区(回答者数32)	37.5	9.4	0.0	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	18.8	25.0	3.1	12.5
上柴地区(回答者数116)	29.3	5.2	4.3	5.2	4.3	0.9	2.6	0.0	14.7	41.4	3.4	6.9
南地区(回答者数85)	28.2	3.5	4.7	5.9	2.4	1.2	1.2	0.0	32.9	31.8	1.2	3.5
岡部地区(回答者数131)	26.0	8.4	7.6	3.1	6.1	0.8	4.6	0.0	29.0	26.0	2.3	7.6
川本地区(回答者数92)	31.5	6.5	7.6	1.1	5.4	1.1	3.3	1.1	22.8	31.5	2.2	7.6
花園地区(回答者数56)	28.6	7.1	5.4	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	30.4	32.1	0.0	8.9

問11 あなたは、地域の福祉課題(ひとり暮らし高齢者の見守り、子どもへの虐待、孤立死など)に対し、地域の人たちの支え合い、助け合いの必要性についてどう思いますか。
(ひとつだけ○)

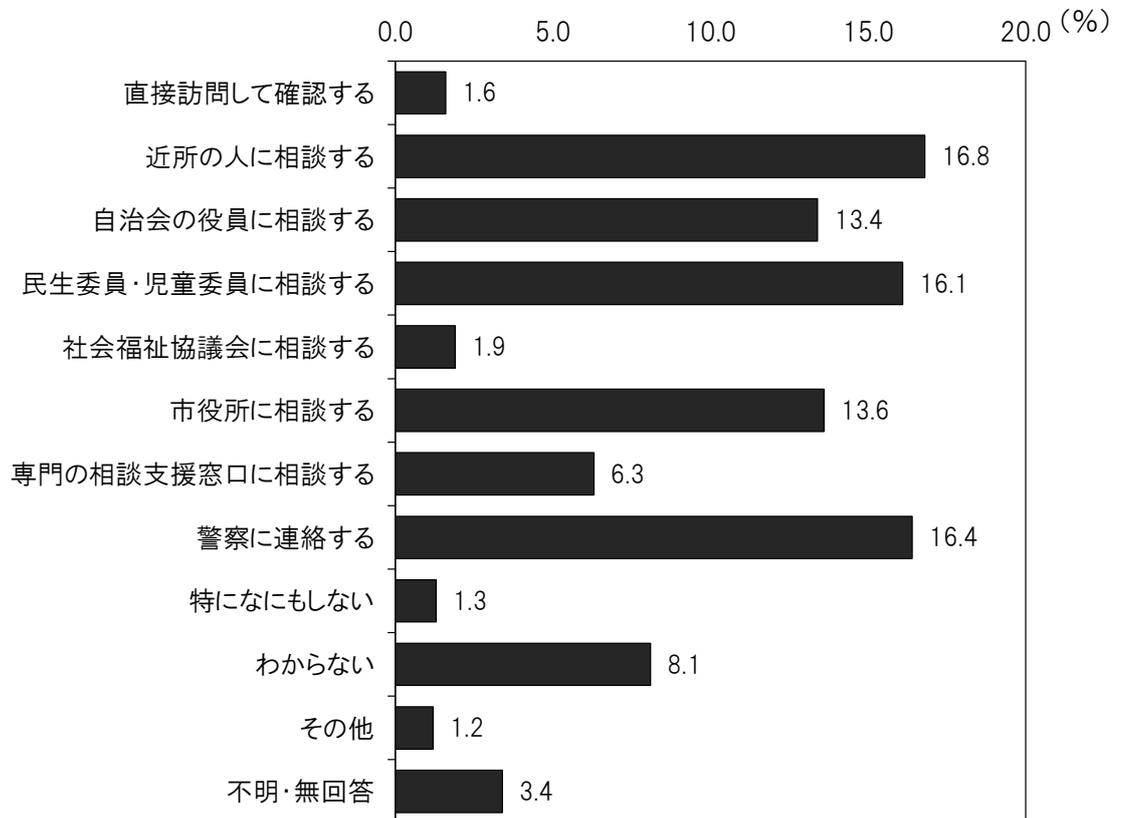
地域の福祉課題に対し、地域の人たちの支え合い、助け合いの必要性を感じるかについては、「ある程度必要だと思う」が55.1%で最も高く、次いで「とても必要だと思う」が38.0%、「あまり必要だと思わない」が2.7%となっています。

前回調査と比較すると、「とても必要だと思う」が12.7ポイント減少し、「ある程度必要だと思う」が9.5ポイント増加しています。



問12 もし、あなたの周辺で児童や高齢者等に対して虐待などが疑われる状況を知ったらあなたは、どのように対応しますか。(ひとつだけ○)

周辺で虐待などが疑われる状況を知ったときの対応については、「近所の人に相談する」が16.8%で最も高く、次いで「警察に連絡する」が16.4%、「民生委員・児童委員に相談する」が16.1%となっています。



■ 今回(回答者数1,086)

【年代別】

年代別にみると、20歳代と30歳代と50歳代で「警察に連絡する」が、40歳代で「市役所に相談する」と「警察に連絡する」が、60歳代で「自治会の役員に相談する」と「民生委員・児童委員に相談する」が、70歳代以上で「民生委員・児童委員に相談する」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)	直接訪問して確認する	近所の人に相談する	自治会の役員に相談する	民生委員・児童委員に相談する	社会福祉協議会に相談する	市役所に相談する	専門の相談支援窓口に相談する	警察に連絡する	特になにもしない	わからない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	4.7	9.3	4.7	2.3	0.0	7.0	16.3	37.2	2.3	16.3	0.0	0.0
30歳代(回答者数53)	0.0	13.2	0.0	3.8	1.9	20.8	17.0	22.6	1.9	15.1	3.8	0.0
40歳代(回答者数112)	1.8	13.4	4.5	4.5	2.7	22.3	9.8	22.3	3.6	12.5	0.9	1.8
50歳代(回答者数144)	1.4	20.1	10.4	5.6	0.7	18.1	9.0	22.9	0.0	6.3	4.2	1.4
60歳代(回答者数270)	1.1	15.9	18.1	18.1	1.5	15.6	4.8	14.1	1.5	6.3	0.7	2.2
70歳代以上(回答者数445)	1.8	18.0	15.5	24.3	2.7	9.2	2.9	12.1	0.9	7.4	0.4	4.7

【地区別】

地区別にみると、深谷地区と南地区で「警察に連絡する」が、藤沢地区で「自治会の役員に相談する」が、幡羅地区と明戸地区と大寄地区と豊里地区と岡部地区と川本地区で「民生委員・児童委員に相談する」が、八基地区と花園地区で「近所の人に相談する」が、上柴地区で「市役所に相談する」が、それぞれ最も高くなっています。

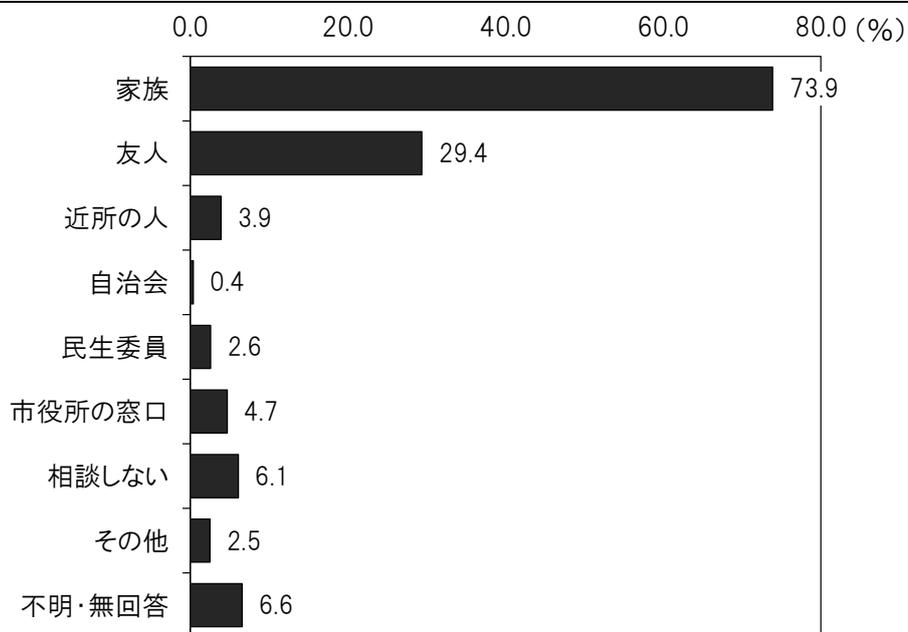
(単位:%)	直接訪問して確認する	近所の人に相談する	自治会の役員に相談する	民生委員・児童委員に相談する	社会福祉協議会に相談する	市役所に相談する	専門の相談支援窓口に相談する	警察に連絡する	特になにもしない	わからない	その他	不明・無回答
深谷地区(回答者数256)	2.3	15.2	10.5	11.3	2.0	14.8	8.6	20.3	1.6	9.8	2.3	1.2
藤沢地区(回答者数72)	0.0	23.6	25.0	5.6	1.4	13.9	5.6	12.5	1.4	6.9	0.0	4.2
幡羅地区(回答者数123)	0.8	14.6	12.2	23.6	2.4	8.9	4.1	17.1	1.6	11.4	0.8	2.4
明戸地区(回答者数43)	0.0	9.3	18.6	25.6	2.3	16.3	4.7	14.0	0.0	2.3	4.7	2.3
大寄地区(回答者数29)	3.4	13.8	13.8	27.6	3.4	10.3	3.4	20.7	0.0	3.4	0.0	0.0
八基地区(回答者数35)	0.0	28.6	17.1	2.9	0.0	11.4	2.9	14.3	5.7	11.4	0.0	5.7
豊里地区(回答者数32)	6.3	12.5	15.6	34.4	0.0	12.5	3.1	6.3	3.1	3.1	0.0	3.1
上柴地区(回答者数116)	0.9	17.2	12.9	13.8	2.6	18.1	9.5	15.5	0.0	5.2	0.0	4.3
南地区(回答者数85)	0.0	12.9	12.9	8.2	3.5	16.5	5.9	25.9	0.0	9.4	1.2	3.5
岡部地区(回答者数131)	2.3	16.8	12.2	20.6	0.8	13.0	4.6	16.0	0.8	8.4	1.5	3.1
川本地区(回答者数92)	3.3	16.3	7.6	21.7	2.2	13.0	8.7	10.9	3.3	9.8	0.0	3.3
花園地区(回答者数56)	0.0	26.8	19.6	17.9	1.8	12.5	0.0	10.7	0.0	5.4	0.0	5.4

問13 あなたは、以下の不安や悩みなどを、どなたに、もしくはどこに相談しますか。

(各項目のあてはまるものすべてに○)

①自分や家族の健康の悩み

自分や家族の健康の悩みの相談先については、「家族」が73.9%で最も高く、次いで「友人」が29.4%、「相談しない」が6.1%となっています。



■今回(回答者数1,086)

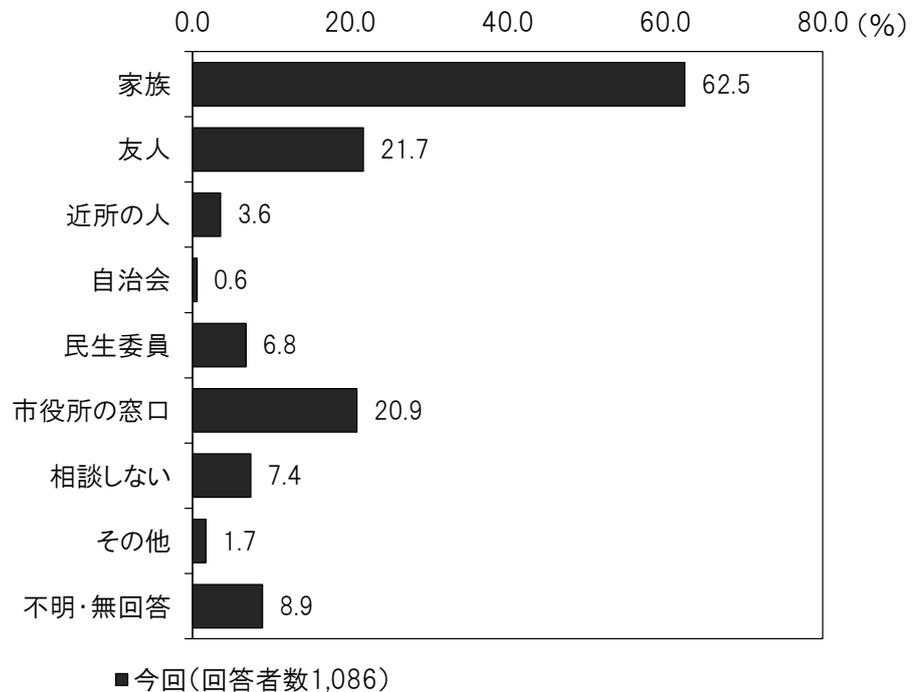
【年代別】

年代別にみると、20歳代と30歳代で「友人」が5割を超え、他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	家族	友人	近所の人	自治会	民生委員	市役所の窓口	相談しない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	86.0	51.2	0.0	0.0	0.0	4.7	7.0	0.0	0.0
30歳代(回答者数53)	84.9	58.5	1.9	0.0	1.9	3.8	5.7	5.7	0.0
40歳代(回答者数112)	69.6	43.8	1.8	0.0	0.9	3.6	8.9	1.8	4.5
50歳代(回答者数144)	79.2	43.1	2.8	0.0	0.0	2.1	6.9	3.5	3.5
60歳代(回答者数270)	74.1	34.1	3.0	0.4	1.9	4.4	8.9	3.7	4.1
70歳代以上(回答者数445)	72.1	12.8	5.8	0.7	4.7	6.3	3.6	1.6	9.4

②老後の介護等の悩み

老後の介護等の悩みの相談先については、「家族」が62.5%で最も高く、次いで「友人」が21.7%、「市役所の窓口」が20.9%となっています。



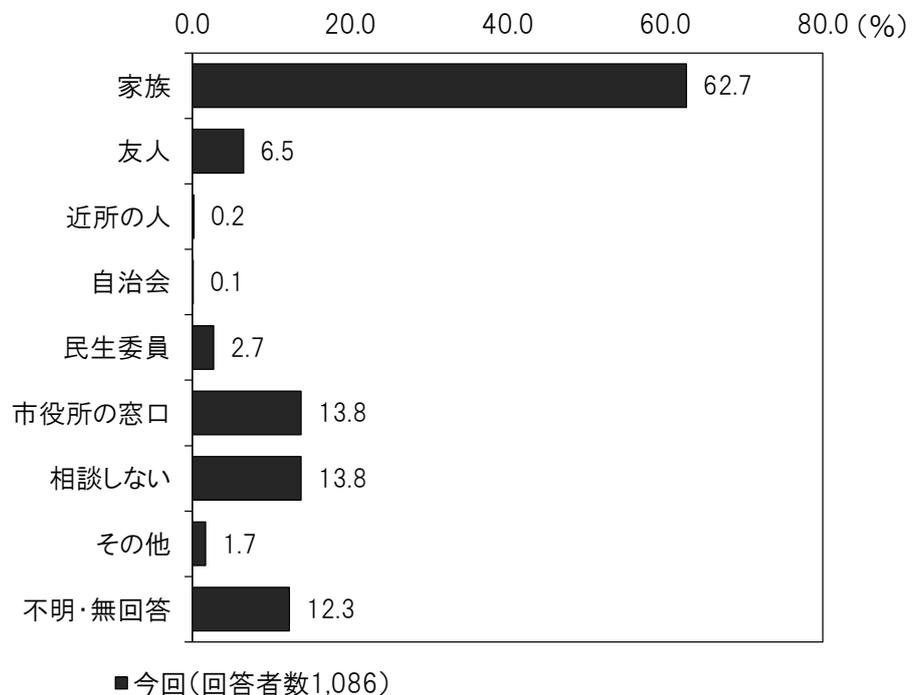
【年代別】

年代別にみると、60歳代で「市役所の窓口」が3割と、他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	家族	友人	近所の人	自治会	民生委員	市役所の窓口	相談しない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	62.8	32.6	4.7	0.0	0.0	14.0	18.6	2.3	4.7
30歳代(回答者数53)	67.9	43.4	1.9	0.0	1.9	15.1	15.1	3.8	1.9
40歳代(回答者数112)	57.1	41.1	2.7	0.0	2.7	19.6	15.2	1.8	4.5
50歳代(回答者数144)	70.1	37.5	6.9	0.0	0.0	21.5	7.6	3.5	4.9
60歳代(回答者数270)	64.1	21.1	2.6	1.1	4.1	30.0	8.1	1.1	6.7
70歳代以上(回答者数445)	61.1	9.0	3.6	0.9	12.8	17.5	2.9	1.3	12.4

③生活費など経済的な問題

生活費など経済的な問題の相談先については、「家族」が62.7%で最も高く、次いで「市役所の窓口」、「相談しない」が13.8%となっています。



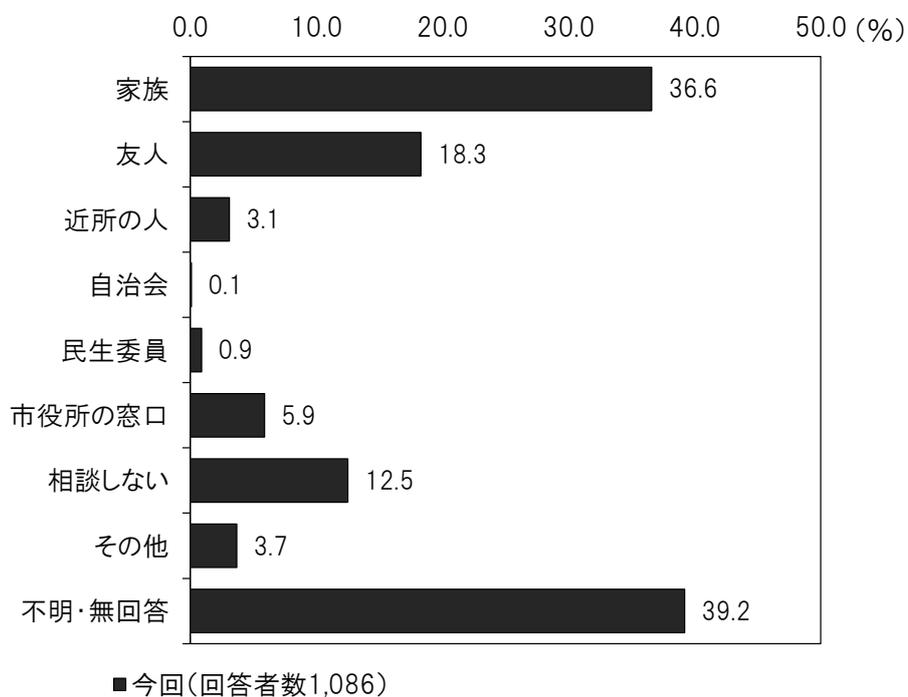
【年代別】

年代別にみると、20歳代と30歳代で「友人」が約3割、40歳代で「相談しない」が2割と、他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	家族	友人	近所の人	自治会	民生委員	市役所の窓口	相談しない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	86.0	30.2	2.3	0.0	0.0	9.3	7.0	0.0	2.3
30歳代(回答者数53)	77.4	28.3	0.0	0.0	0.0	7.5	13.2	1.9	0.0
40歳代(回答者数112)	62.5	8.9	0.0	0.0	0.9	16.1	21.4	1.8	3.6
50歳代(回答者数144)	70.1	11.1	0.0	0.0	0.7	14.6	15.3	3.5	4.2
60歳代(回答者数270)	62.6	4.1	0.4	0.0	1.9	17.4	18.9	1.5	8.5
70歳代以上(回答者数445)	57.8	1.3	0.0	0.2	4.5	12.4	9.4	1.6	20.4

④妊娠・出産・子育ての相談

妊娠・出産・子育ての相談先については、「家族」が36.6%で最も高く、次いで「友人」が18.3%、「相談しない」が12.5%となっています。



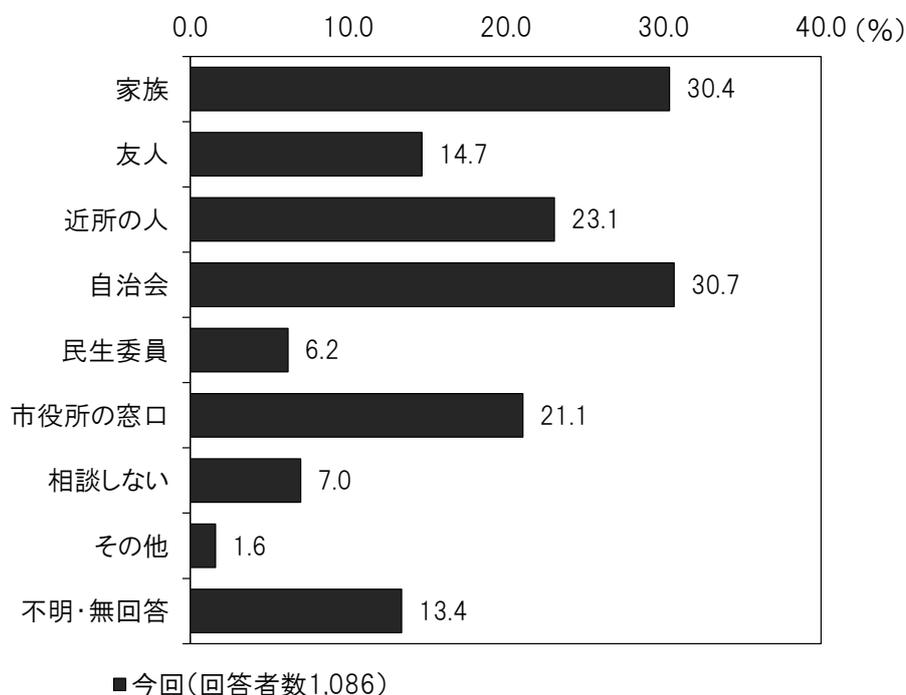
【年代別】

年代別にみると、20歳代から40歳代で「友人」が約5割と、他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	家族	友人	近所の人	自治会	民生委員	市役所の窓口	相談しない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	72.1	48.8	7.0	0.0	2.3	9.3	14.0	0.0	7.0
30歳代(回答者数53)	69.8	52.8	1.9	0.0	0.0	7.5	17.0	3.8	3.8
40歳代(回答者数112)	56.3	49.1	7.1	0.0	1.8	8.9	16.1	1.8	7.1
50歳代(回答者数144)	50.0	31.9	2.8	0.0	0.0	9.0	17.4	4.9	18.1
60歳代(回答者数270)	40.4	11.5	3.3	0.4	0.7	7.0	15.9	3.7	33.3
70歳代以上(回答者数445)	18.2	3.6	2.0	0.0	0.9	2.7	7.6	4.3	64.0

⑤地域の困りごとなど

地域の困りごとなどの相談先については、「自治会」が 30.7%で最も高く、次いで「家族」が 30.4%、「近所の人」が 23.1%となっています。



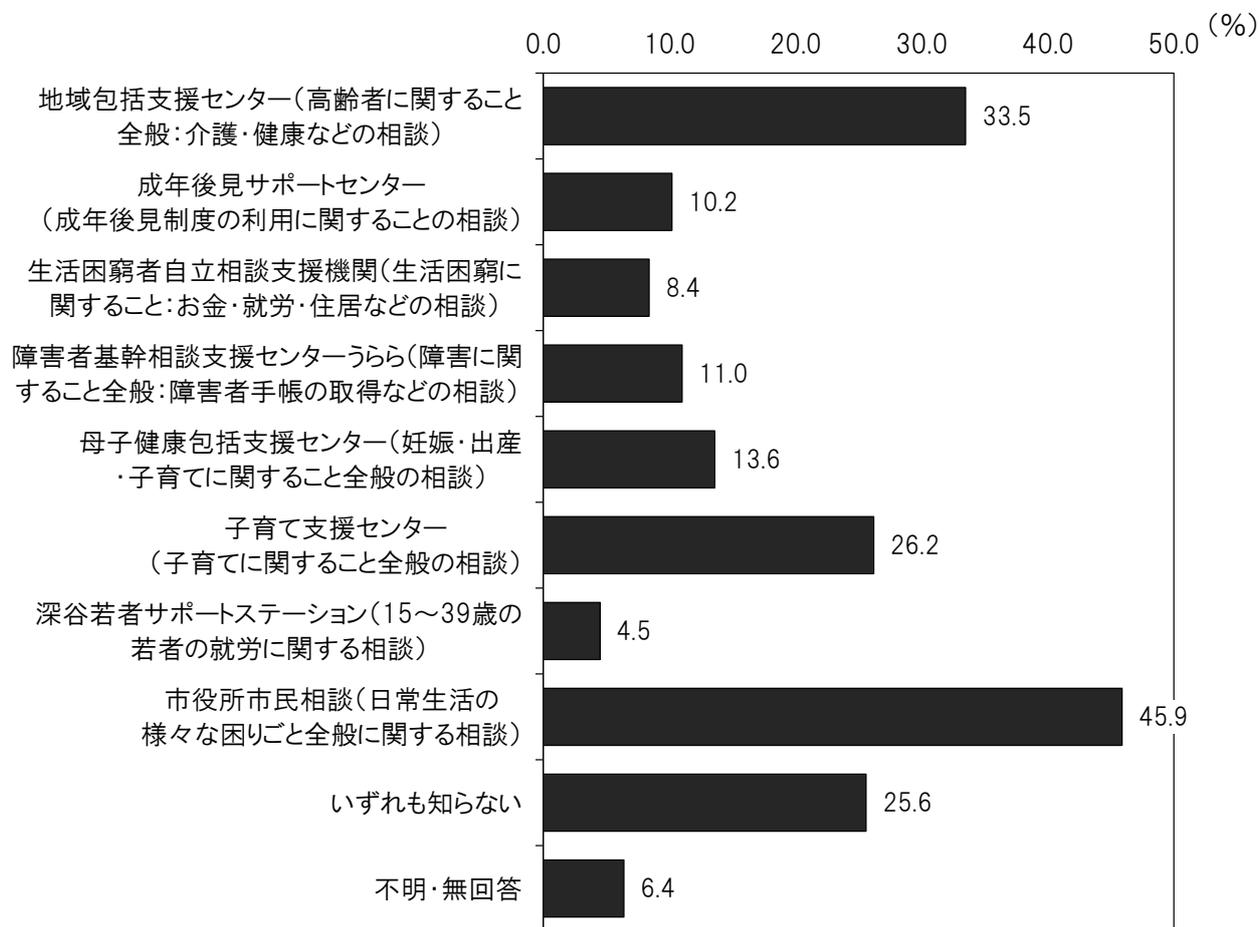
【年代別】

年代別にみると、20歳代から50歳代で「家族」が、60歳代以上で「自治会」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)	家族	友人	近所の人	自治会	民生委員	市役所の窓口	相談しない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	65.1	25.6	18.6	16.3	0.0	14.0	16.3	0.0	2.3
30歳代(回答者数53)	60.4	35.8	13.2	7.5	1.9	24.5	17.0	0.0	1.9
40歳代(回答者数112)	41.1	25.9	26.8	12.5	0.0	28.6	12.5	2.7	4.5
50歳代(回答者数144)	50.7	24.3	31.9	29.9	3.5	22.2	8.3	2.1	4.9
60歳代(回答者数270)	26.7	8.9	28.5	40.7	8.9	27.4	5.6	2.2	7.0
70歳代以上(回答者数445)	17.3	9.0	18.2	33.0	8.1	16.2	3.8	1.1	23.6

問14 あなたは次の相談支援窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

相談支援窓口の認知度については、「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般に関する相談）」が45.9%で最も高く、次いで「地域包括支援センター（高齢者に関すること全般：介護・健康などの相談）」が33.5%、「子育て支援センター（子育てに関すること全般の相談）」が26.2%となっています。



■今回(回答者数1,086)

【年代別】

年代別にみると、20歳代で「いずれも知らない」が、30歳代から40歳代で「子育て支援センター（子育てに関すること全般の相談）」が、50歳代以上で「市役所市民相談（日常生活の様々な困りごと全般に関する相談）」が、それぞれ最も高くなっています。

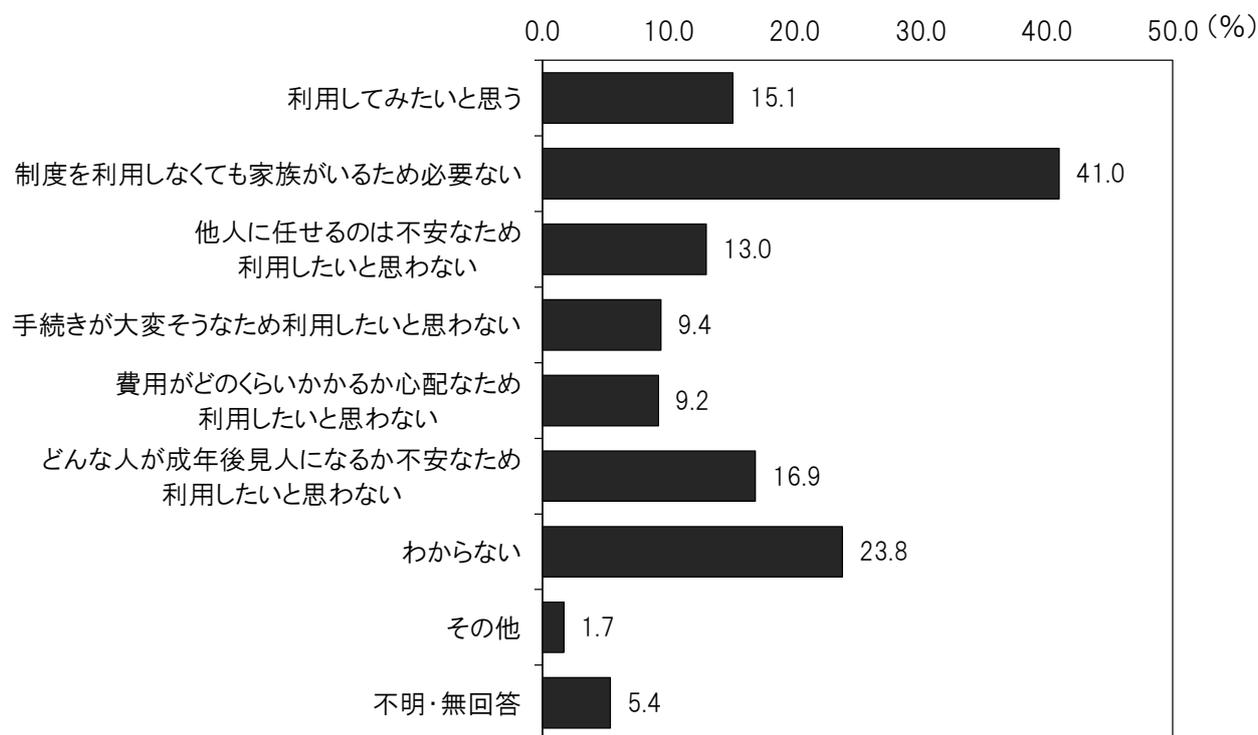
(単位：%)	地域包括支援センター	成年後見サポートセンター	生活困窮者自立相談支援機関	障害者基幹相談支援センターうらら	母子健康包括支援センター	子育て支援センター	深谷若者サポートステーション	市役所市民相談	いずれも知らない	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	14.0	2.3	7.0	4.7	9.3	25.6	7.0	20.9	53.5	2.3
30歳代(回答者数53)	26.4	11.3	9.4	5.7	22.6	47.2	9.4	37.7	22.6	1.9
40歳代(回答者数112)	28.6	7.1	5.4	16.1	21.4	52.7	3.6	40.2	21.4	0.9
50歳代(回答者数144)	29.9	8.3	10.4	9.7	19.4	38.9	6.3	51.4	25.7	3.5
60歳代(回答者数270)	34.4	11.5	7.8	10.4	14.1	27.0	6.7	48.1	28.9	4.8
70歳代以上(回答者数445)	38.9	11.7	9.0	12.1	9.2	13.3	2.2	48.1	22.9	9.0

問15 成年後見制度についておたずねします。自分や親族が判断を十分にできなくなったとき「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○「成年後見制度」とは

認知症・知的障害・精神障害などで判断能力が十分でない方が、福祉サービスの契約をしたり、不動産や預貯金などの財産管理をしたりすることが困難な場合に、本人に不利益が生じないよう支援する人（成年後見人等）を設ける制度です。家庭裁判所に申立てをする必要があります。

「成年後見制度」を利用したいかについては、「制度を利用しなくても家族がいるため必要ない」が41.0%で最も高く、次いで「わからない」が23.8%、「どんな人が成年後見人になるか不安なため利用したいと思わない」が16.9%となっています。

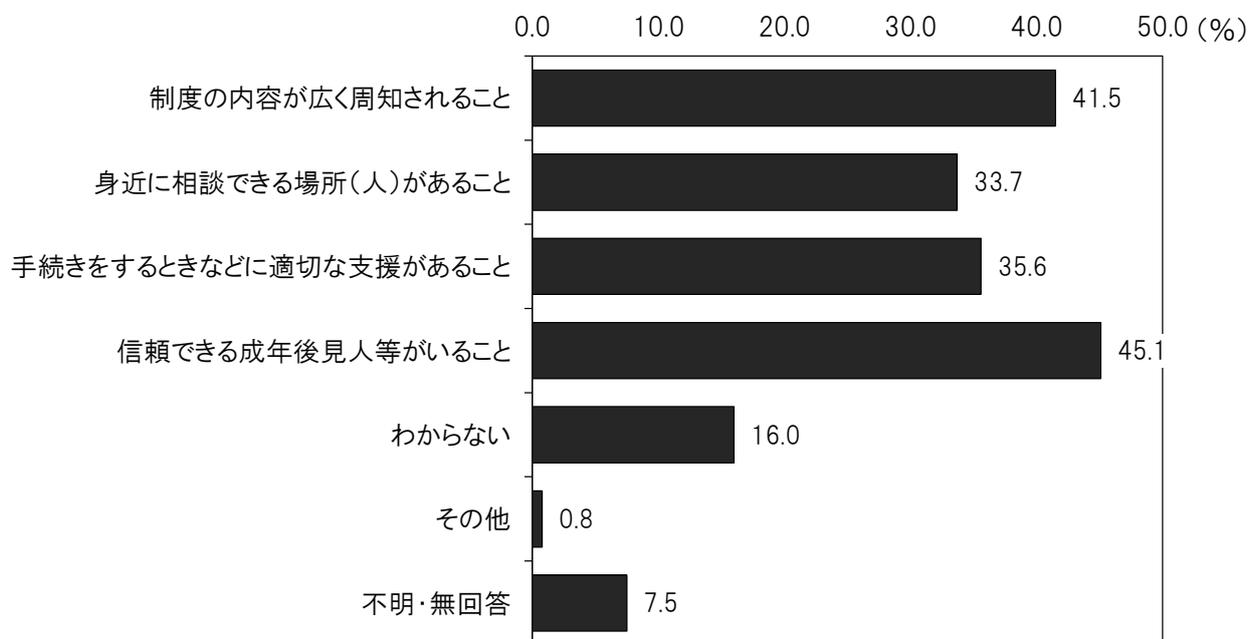


■今回(回答者数1,086)

問16 成年後見制度を安心して利用するために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度を安心して利用するために必要だと思うことについては、「信頼できる成年後見人等がいること」が45.1%で最も高く、次いで「制度の内容が広く周知されること」が41.5%、「手続きをするときなどに適切な支援があること」が35.6%となっています。



■ 今回(回答者数1,086)

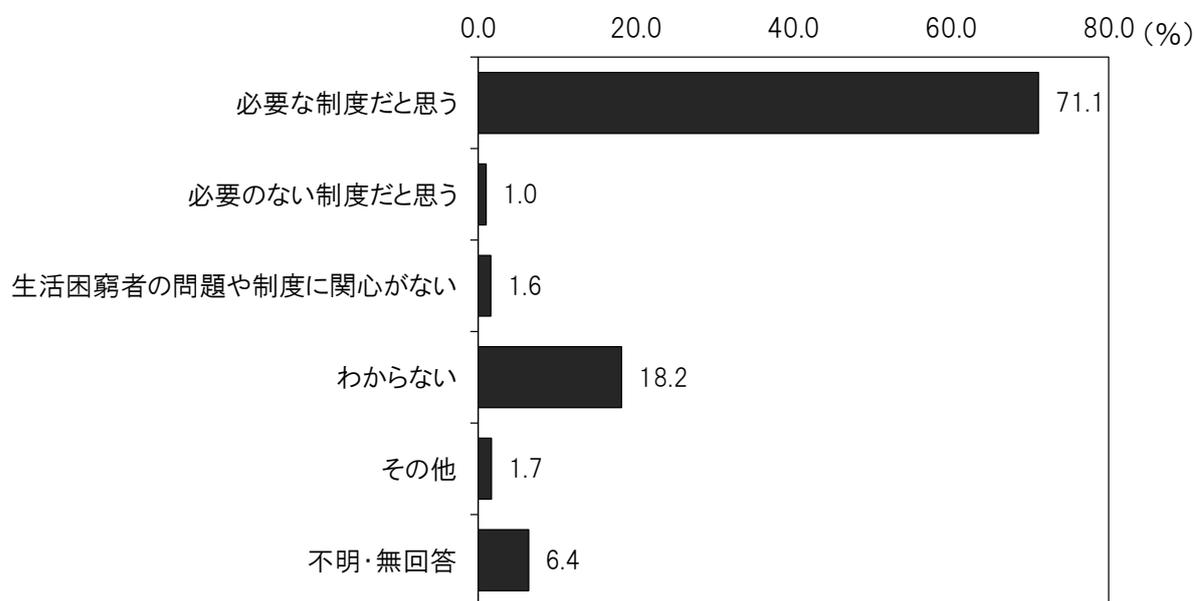
問17 生活困窮者自立支援制度は、さまざまな課題により経済的に困窮している人に対して、住居、仕事、家計、子どもの学習環境など自立に向けた支援を行う制度です。

あなたは生活困窮者の問題や支援制度についてどう思われますか。(ひとつだけ○)

○「生活困窮者自立支援制度」とは

生活に困っている、仕事が見つからない、病気で働けない、家賃が払えない、住むところがない、社会に出るのが怖いなど、生活全般の困りごとの相談に対して専門の支援員が一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作り、関係機関と連携しながら解決に向けた支援を行う制度です。

生活困窮者の問題や支援制度についてどう思うかについては、「必要な制度だと思う」が71.1%で最も高く、次いで「わからない」が18.2%、「生活困窮者の問題や制度に関心がない」が1.6%となっています。

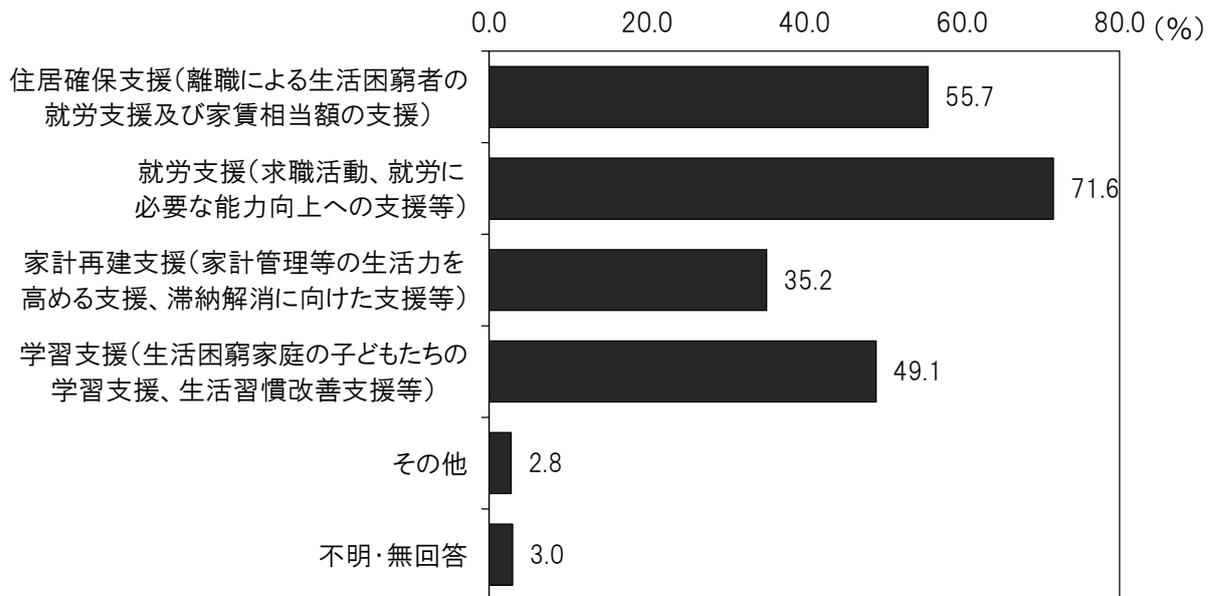


■今回(回答者数1,086)

問18 問 17 で「必要な制度だと思う」を選ばれた方におたずねします。

あなたは、生活困窮者の問題を解決するために具体的にどのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

生活困窮者の問題を解決するために必要だと思う支援については、「就労支援（求職活動、就労に必要な能力向上への支援等）」が71.6%で最も高く、次いで「住居確保支援（離職による生活困窮者の就労支援及び家賃相当額の支援）」が55.7%、「学習支援（生活困窮家庭の子どもたちの学習支援、生活習慣改善支援等）」が49.1%となっています。

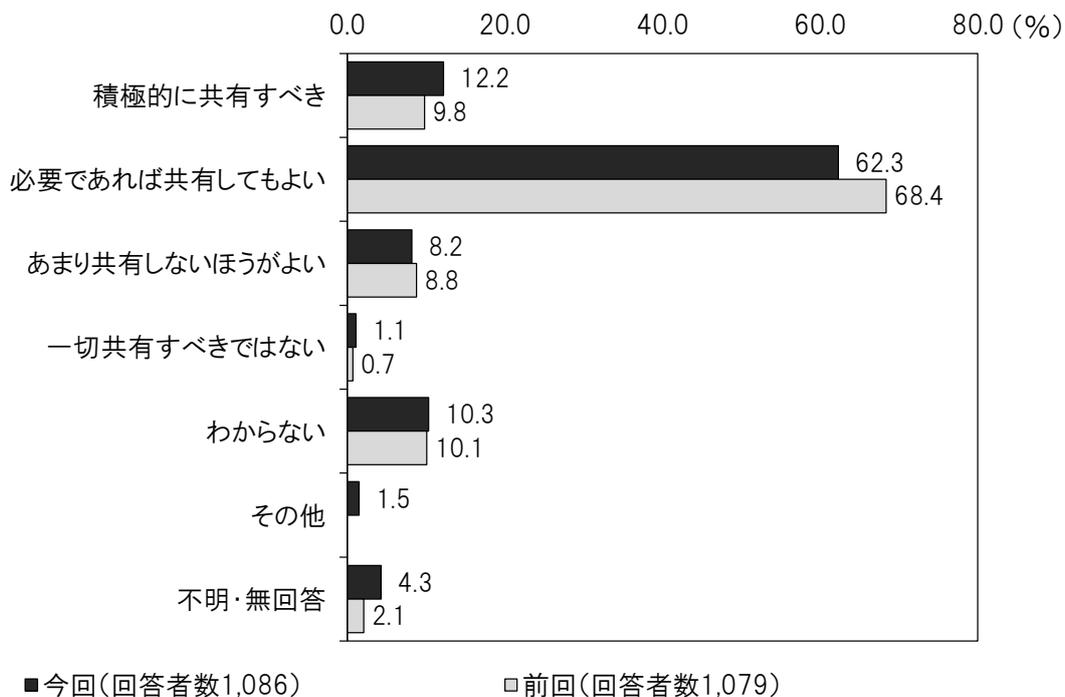


■今回(回答者数772)

問19 あなたは、地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止等のために、自治会役員や民生委員等の支援者が、支援に必要な個人情報(氏名・住所・年齢・世帯構成・要介護度など)を共有することについてどのように思いますか。(ひとつだけ○)

個人情報の共有については、「必要であれば共有してもよい」が62.3%で最も高く、次いで「積極的に共有すべき」が12.2%、「わからない」が10.3%となっています。

「必要であれば共有してもよい」が6.1ポイント減少しています。



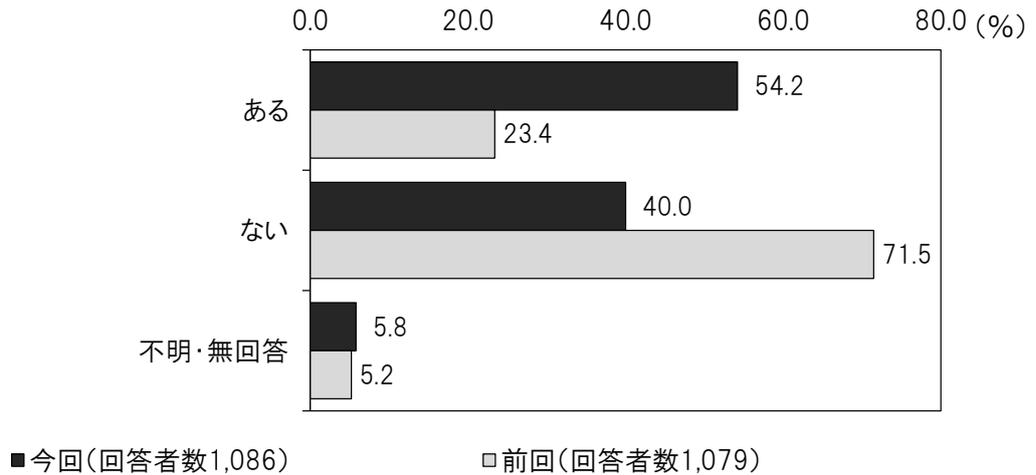
* 前回では選択肢「あまり共有しないほうがよい」が「あまり共有したくない」となっている。また前回には選択肢「その他」がない。

3. 「地域活動・ボランティア活動」についておたずねします。

問20 あなたは、ここ5年間に地域活動(ごみゼロ運動・資源回収など)やボランティア活動(学校応援ボランティアなど)をしたことがありますか。(ひとつだけ○)

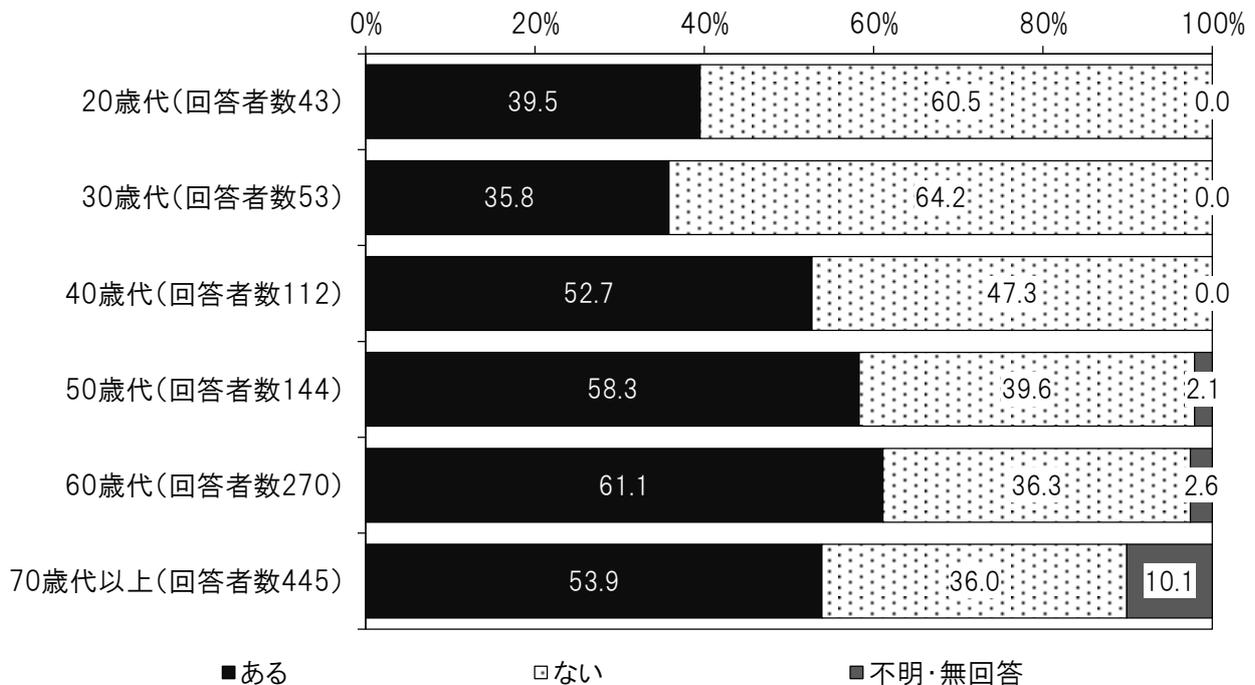
過去5年間に地域活動やボランティア活動をしたことがあるかについては、「ある」が54.2%で、「ない」の40.0%を上回っています。

前回調査と比較すると、「ない」が31.5ポイント減少し、「ある」が30.8ポイント増加しています。



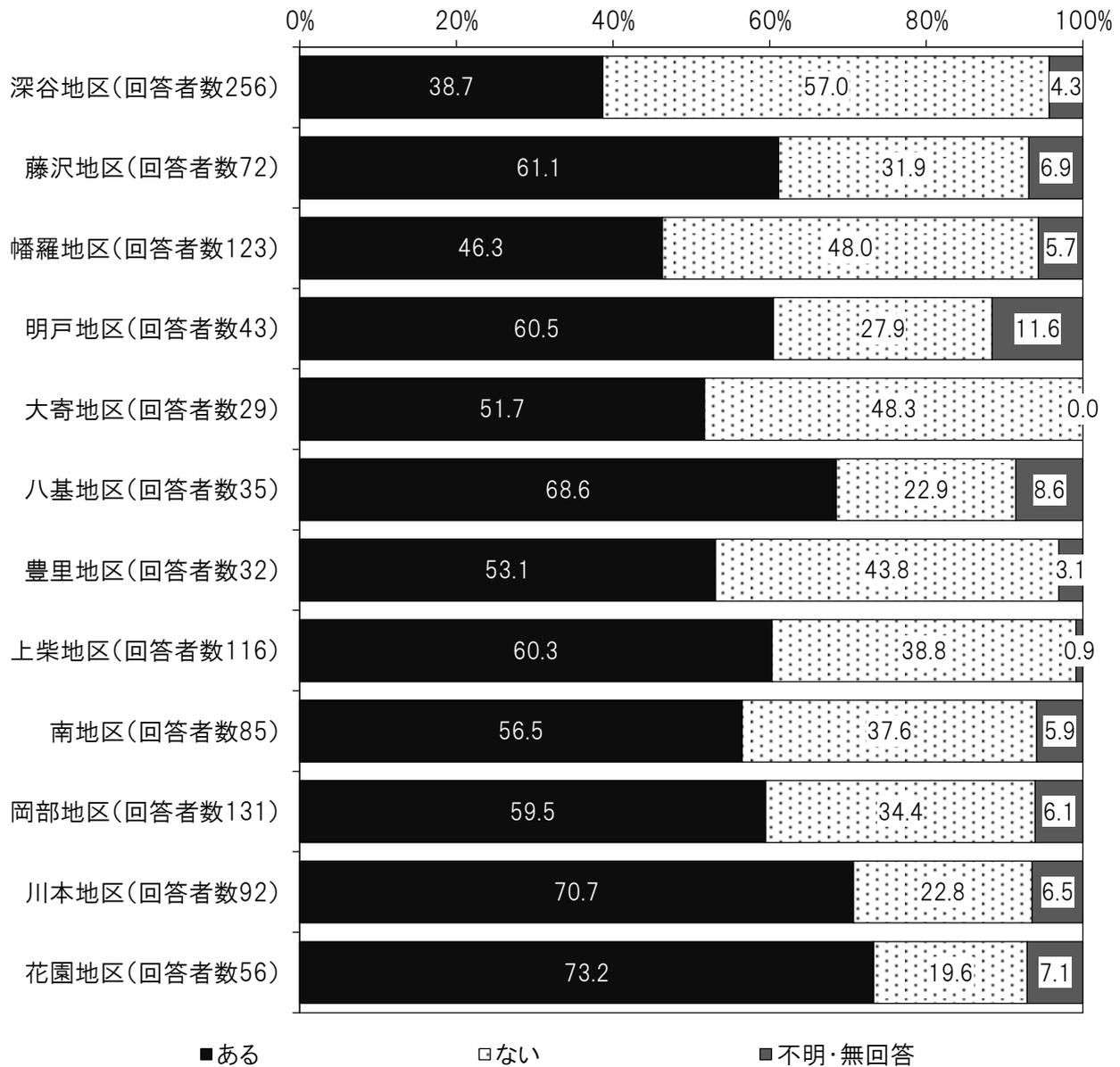
【年代別】

年代別にみると、40歳代以上で「ある」が5割を超えています。



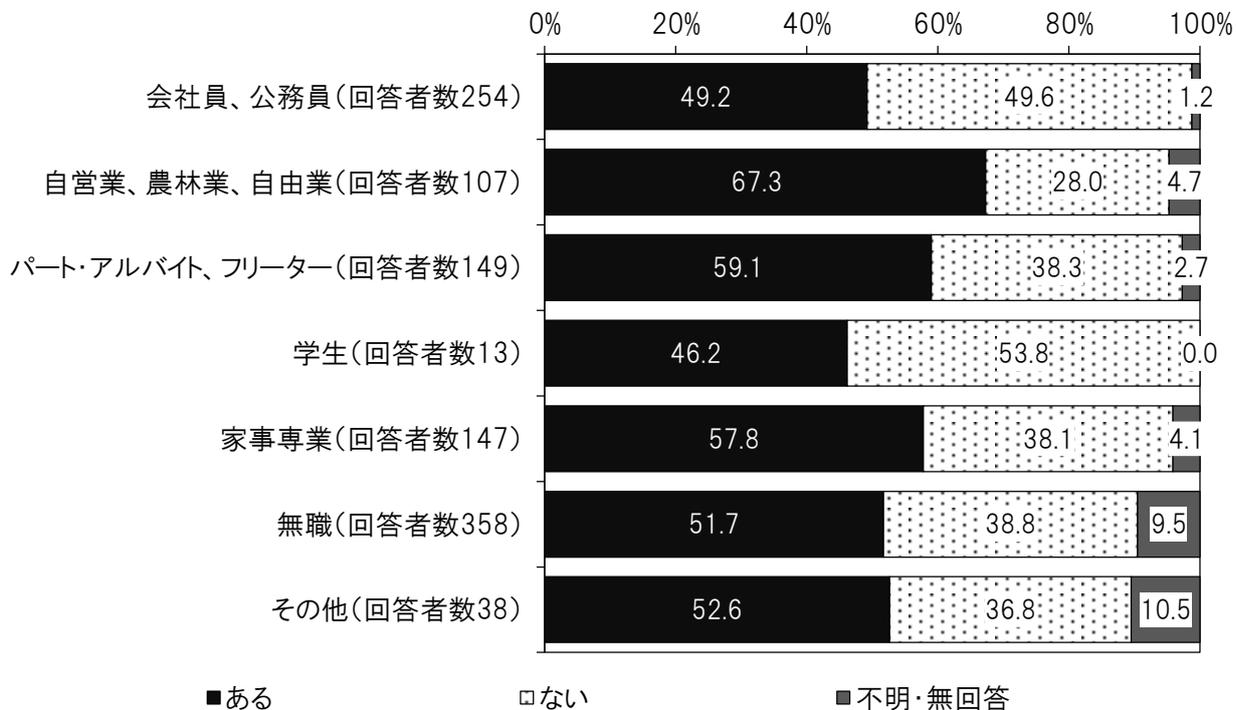
【地区別】

地区別にみると、深谷地区と幡羅地区で「ない」が「ある」を上回っています。



【職業別】

職業別にみると、自営業、農林業、自由業とパート・アルバイト、フリーターと家事専業で「ある」が5割半ばから6割半ばと、他の職業に比べて高くなっています。

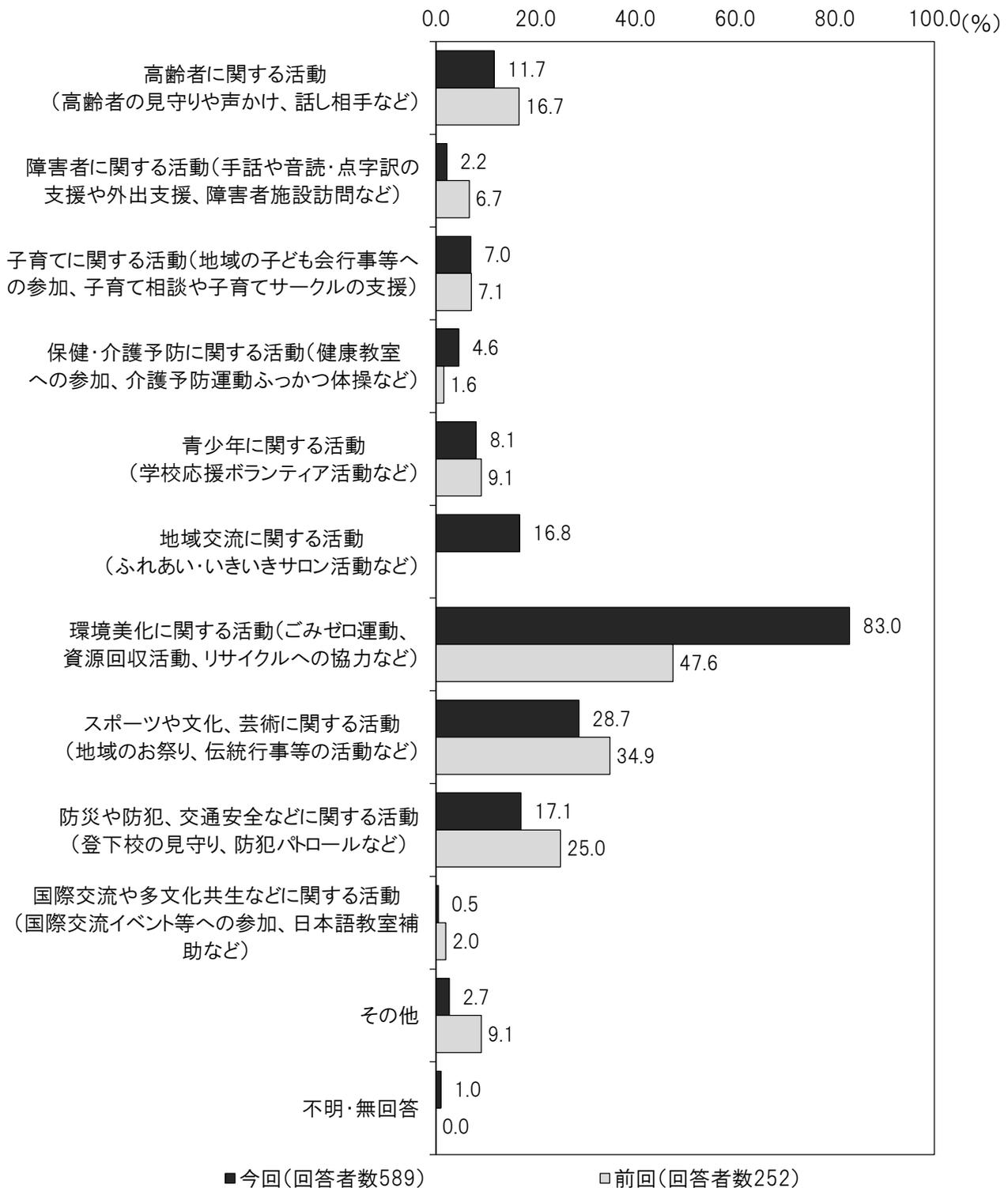


問21 問 20 で「ある」を選ばれた方におたずねします。

主にどのような活動をされました(しています)か。(〇は3つまで)

地域活動やボランティア活動の内容については、「環境美化に関する活動(ごみゼロ運動、資源回収活動、リサイクルへの協力など)」が83.0%で最も高く、次いで「スポーツや文化、芸術に関する活動(地域のお祭り、伝統行事等の活動など)」が28.7%、「防災や防犯、交通安全などに関する活動(登下校の見守り、防犯パトロールなど)」が17.1%となっています。

前回調査と比較すると、「環境美化に関する活動(ごみゼロ運動、資源回収活動、リサイクルへの協力など)」が35.4ポイント増加し、「防災や防犯、交通安全などに関する活動(登下校の見守り、防犯パトロールなど)」が7.9ポイント、「スポーツや文化、芸術に関する活動(地域のお祭り、伝統行事等の活動など)」が6.2ポイント、「高齢者に関する活動(高齢者の見守りや声かけ、話し相手など)」が5.0ポイント、それぞれ減少しています。

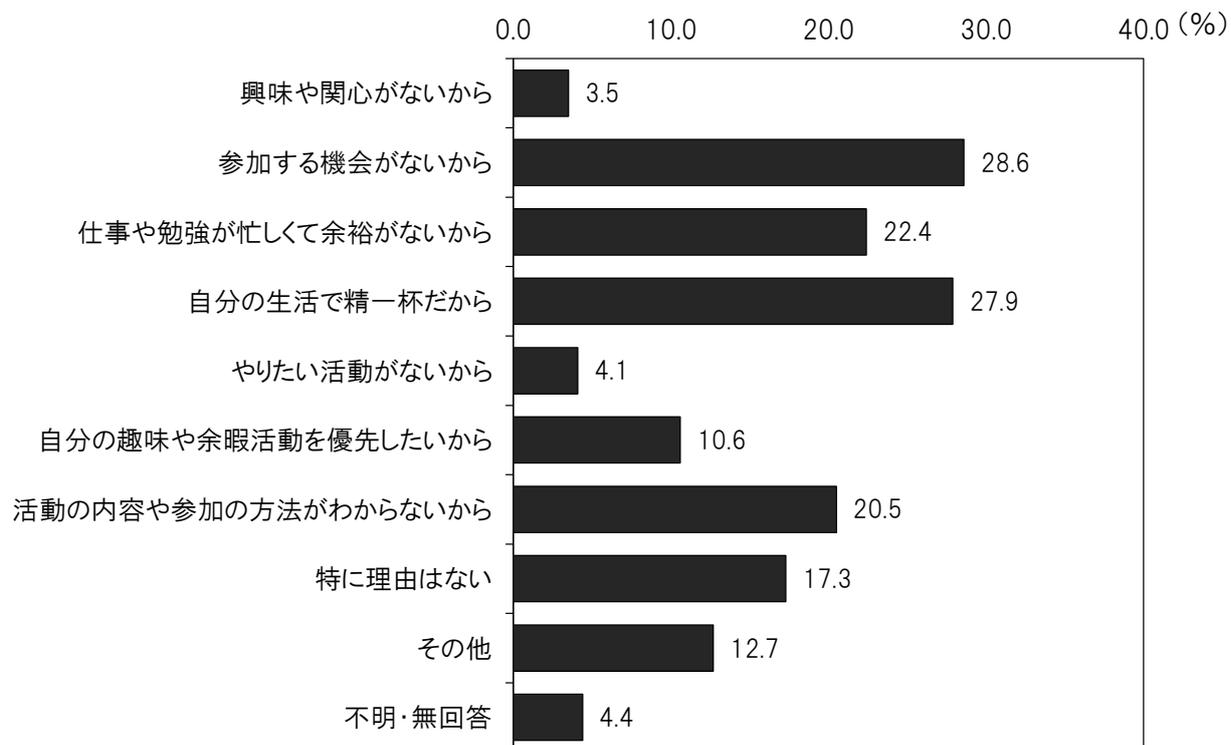


* 前回には選択肢「地域交流に関する活動(ふれあい・いきいきサロン活動など)」がない。

問22 問 20 で「ない」を選ばれた方におたずねします。

**あなたが地域活動やボランティア活動に参加していない(できない)理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)**

地域活動やボランティア活動に参加していない(できない)理由については、「参加する機会がないから」が28.6%で最も高く、次いで「自分の生活で精一杯だから」が27.9%、「仕事や勉強が忙しくて余裕がないから」が22.4%となっています。



■ 今回(回答者数434)

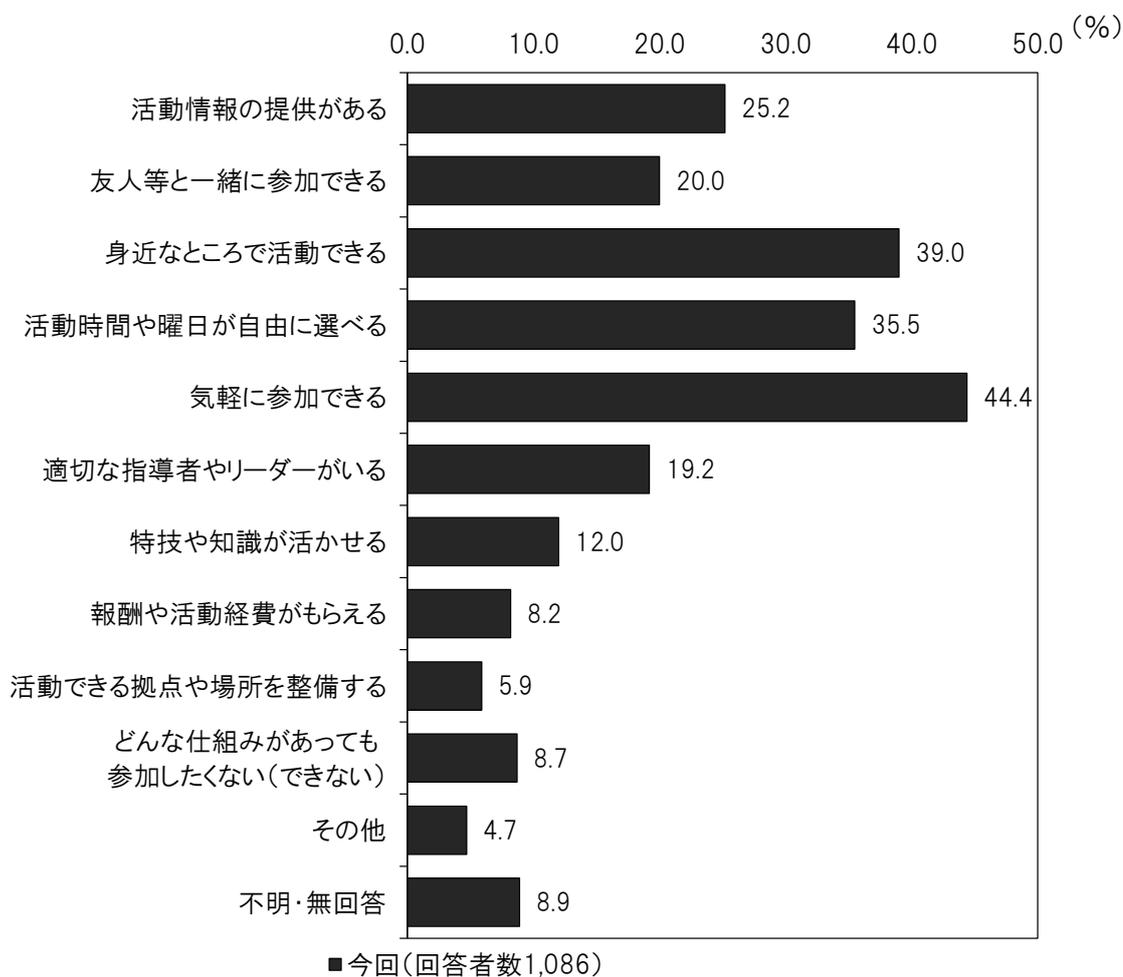
【年代別】

年代別にみると、20歳代と40歳代と50歳代で「仕事や勉強が忙しくて余裕がないから」が、30歳代で「仕事や勉強が忙しくて余裕がないから」と「自分の生活で精一杯だから」が、60歳代で「参加する機会がないから」が、70歳代以上で「自分の生活で精一杯だから」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位：%)	興味や関心がないから	参加する機会がないから	余裕がないから勉強が忙しくて	自分の生活で精一杯だから	やりたい活動がないから	自分の趣味や余暇活動を優先したいから	活動の内容や参加の方法がわからないから	特に理由はない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数26)	11.5	23.1	34.6	26.9	11.5	19.2	19.2	7.7	11.5	0.0
30歳代(回答者数34)	11.8	32.4	38.2	38.2	5.9	17.6	29.4	2.9	11.8	0.0
40歳代(回答者数53)	1.9	35.8	45.3	22.6	0.0	11.3	24.5	3.8	5.7	3.8
50歳代(回答者数57)	5.3	24.6	42.1	33.3	5.3	17.5	26.3	15.8	7.0	0.0
60歳代(回答者数98)	1.0	36.7	19.4	28.6	4.1	7.1	18.4	22.4	7.1	2.0
70歳代以上(回答者数160)	1.9	22.5	5.0	26.3	3.8	7.5	16.9	23.8	20.6	8.1

問23 あなたは、どんな仕組みがあれば、地域活動やボランティア活動に参加しますか。
(あてはまるものすべてに○)

どんな仕組みがあれば地域活動やボランティア活動に参加できるかについては、「気軽に参加できる」が44.4%で最も高く、次いで「身近なところで活動できる」が39.0%、「活動時間や曜日が自由に選べる」が35.5%となっています。



【年代別】

年代別にみると、70歳代以上で「身近なところで活動できる」が最も高くなっています。

また、30歳代で「報酬や活動経費がもらえる」が3割、30歳代から60歳代で「活動時間や曜日が自由に選べる」が4割から5割、60歳代で「身近なところで活動できる」が約5割と、それぞれ他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	活動情報の提供がある	友人等と一緒に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日が自由に選べる	気軽に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や知識が活かせる	報酬や活動経費がもらえる	活動できる拠点や場所を整備する	(できない)	どんな仕組みがあっても参加したくない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	32.6	30.2	25.6	32.6	34.9	16.3	14.0	20.9	14.0	11.6	2.3	4.7	
30歳代(回答者数53)	34.0	20.8	32.1	41.5	45.3	15.1	11.3	30.2	5.7	13.2	1.9	0.0	
40歳代(回答者数112)	29.5	27.7	33.9	45.5	50.0	17.9	16.1	17.0	2.7	6.3	7.1	0.9	
50歳代(回答者数144)	31.3	11.8	38.9	51.4	54.9	22.9	19.4	11.8	5.6	6.3	3.5	2.1	
60歳代(回答者数270)	30.7	17.8	48.5	43.7	55.6	22.2	11.9	7.4	6.3	4.4	2.6	5.6	
70歳代以上(回答者数445)	17.8	21.3	37.8	23.4	34.4	18.0	8.8	1.8	5.8	12.1	6.5	14.6	

【職業別】

職業別にみると、自営業、農林業、自由業で「身近なところで活動できる」が、パート・アルバイト、フリーターで「活動時間や曜日が自由に選べる」が、学生で「活動情報の提供がある」と「気軽に参加できる」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位:%)	活動情報の提供がある	友人等と一緒に参加できる	身近なところで活動できる	活動時間や曜日が自由に選べる	気軽に参加できる	適切な指導者やリーダーがいる	特技や知識が活かせる	報酬や活動経費がもらえる	活動できる拠点や場所を整備する	(できない)	どんな仕組みがあっても参加したくない	その他	不明・無回答
会社員、公務員(回答者数254)	35.4	18.5	37.0	44.1	50.0	21.7	16.5	16.9	6.3	5.9	3.5	2.4	
自営業、農林業、自由業(回答者数107)	21.5	23.4	46.7	35.5	45.8	17.8	16.8	6.5	7.5	6.5	1.9	10.3	
パート・アルバイト、フリーター(回答者数149)	26.8	18.1	42.3	47.0	45.6	17.4	14.1	11.4	2.7	6.0	4.7	5.4	
学生(回答者数13)	38.5	30.8	30.8	23.1	38.5	23.1	15.4	23.1	15.4	7.7	0.0	7.7	
家事専業(回答者数147)	23.8	24.5	45.6	40.1	49.0	18.4	8.2	2.7	4.1	8.2	4.1	8.8	
無職(回答者数358)	19.6	19.0	36.9	23.2	38.5	19.8	8.1	3.6	7.3	13.4	7.0	12.0	
その他(回答者数38)	23.7	18.4	23.7	44.7	42.1	18.4	10.5	5.3	2.6	5.3	5.3	15.8	

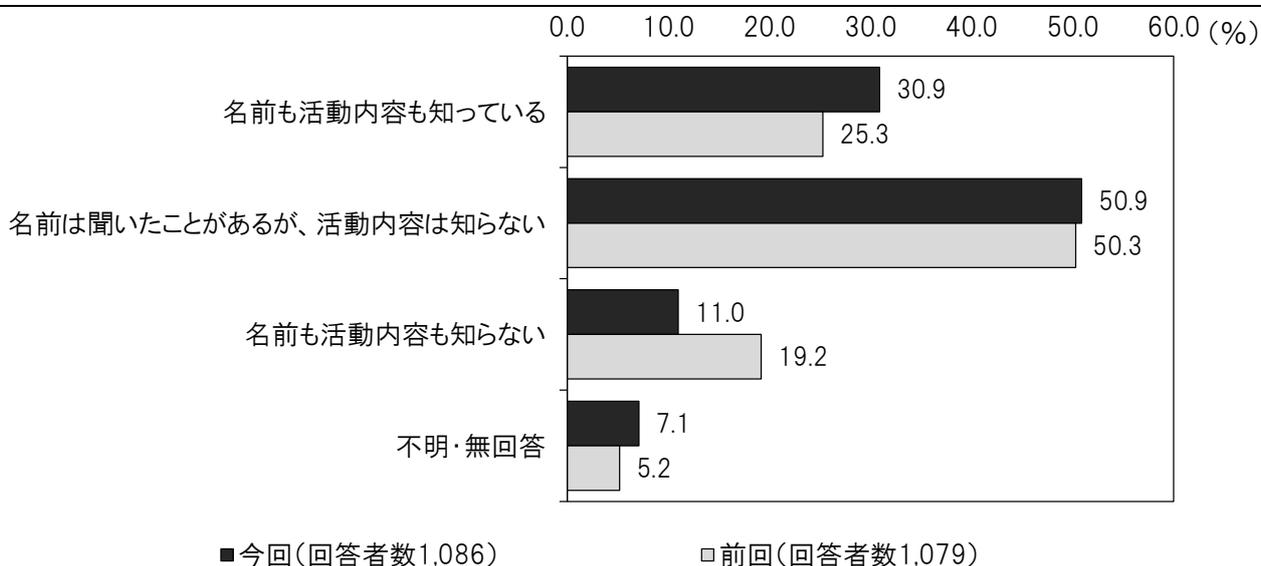
4. 「社会福祉協議会」及び「民生委員」についておたずねします。

問24 あなたは、深谷市社会福祉協議会を知っていますか。(ひとつだけ○)

社会福祉協議会とは…地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを地域住民、ボランティア、社会福祉施設・団体、民生委員・児童委員、行政等の関係者と連携しながら推進する民間の非営利団体です。

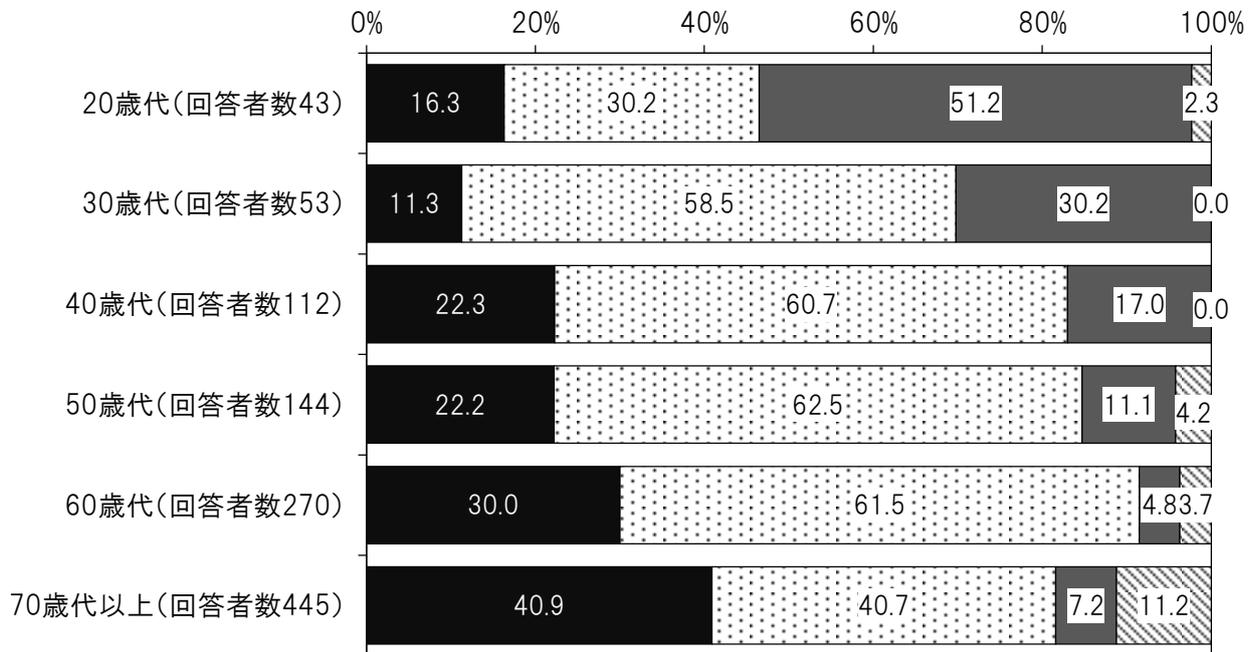
深谷市社会福祉協議会の認知度については、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が50.9%で最も高く、次いで「名前も活動内容も知っている」が30.9%、「名前も活動内容も知らない」が11.0%となっています。

前回調査と比較すると、「名前も活動内容も知らない」が8.2ポイント減少し、「名前も活動内容も知っている」が5.6ポイント増加しています。



【年代別】

年代別にみると、20歳代で「名前も活動内容も知らない」が、70歳代以上で「名前も活動内容も知っている」が、それぞれ最も高くなっています。概ね年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向にあります。



■ 名前も活動内容も知っている

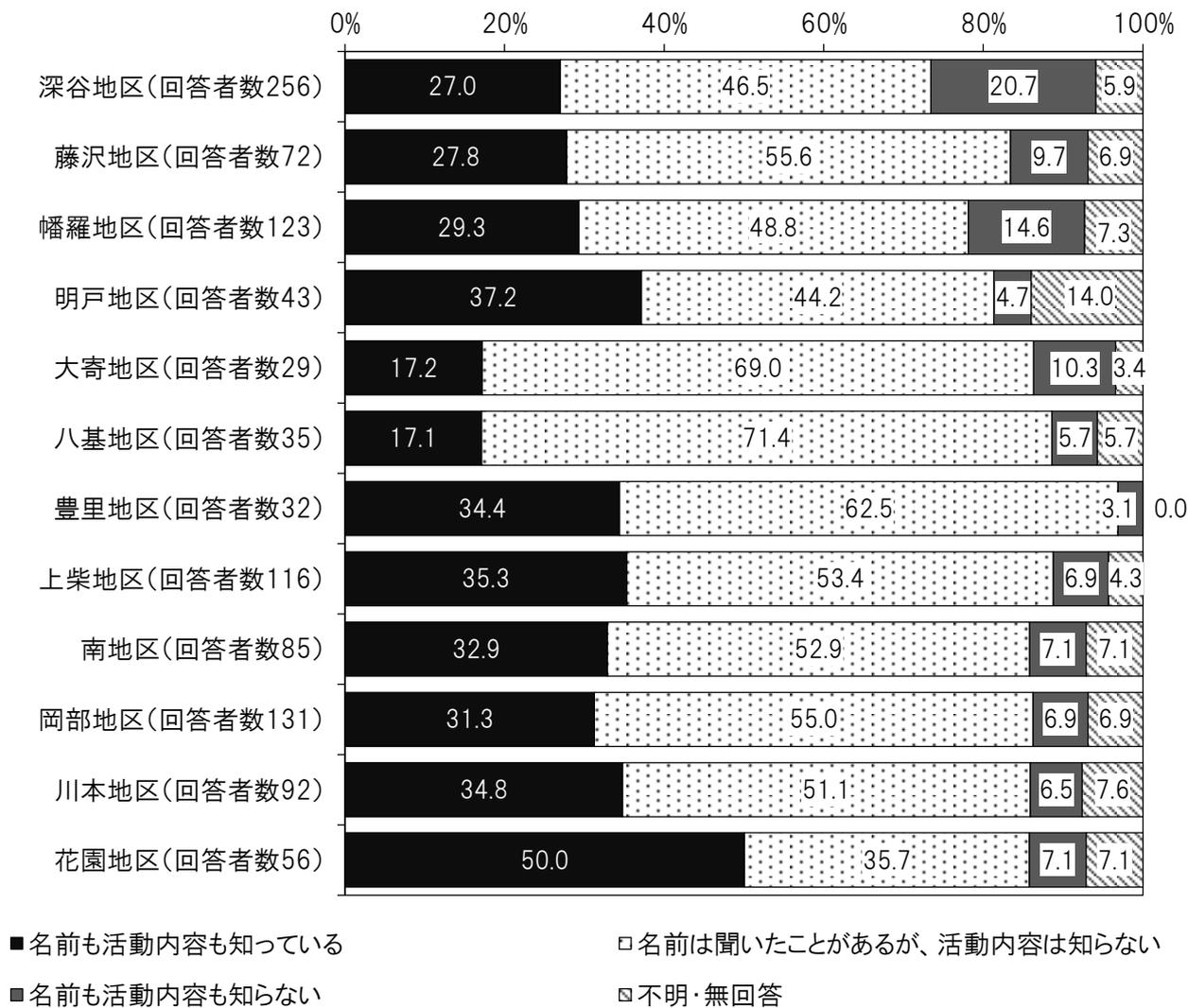
□ 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない

■ 名前も活動内容も知らない

▨ 不明・無回答

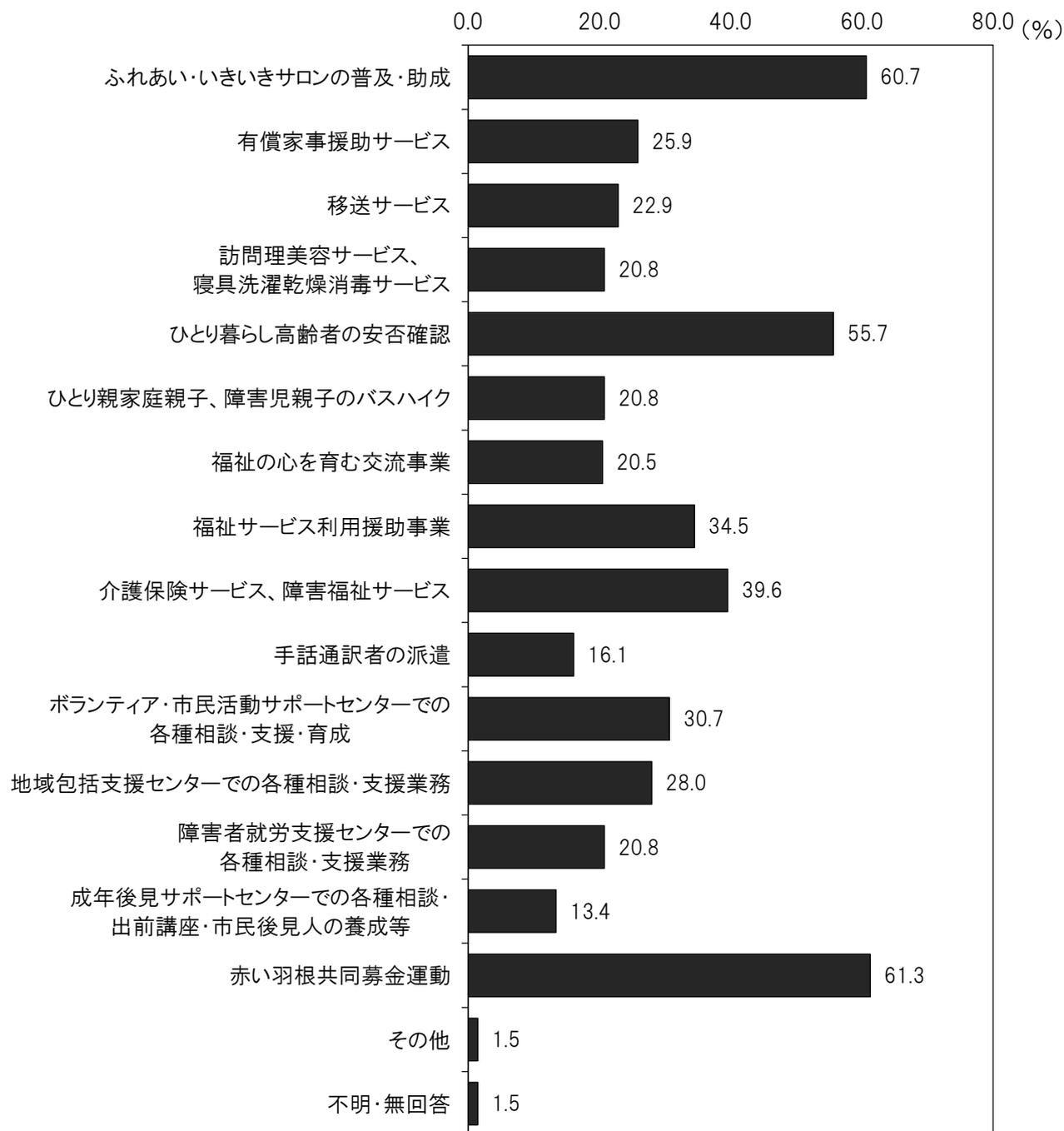
【地区別】

地区別にみると、花園地区で「名前も活動内容も知っている」が最も高くなっています。また、深谷地区で「名前も活動内容も知らない」が2割台と、他の地区に比べて高くなっています。



問25 問 24 で「名前も活動内容も知っている」を選ばれた方におたずねします。
あなたの知っている深谷市社会福祉協議会の活動は次のどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

知っている深谷市社会福祉協議会の活動については、「赤い羽根共同募金運動」が61.3%で最も高く、次いで「ふれあい・いきいきサロンの普及・助成」が60.7%、「ひとり暮らし高齢者の安否確認」が55.7%となっています。

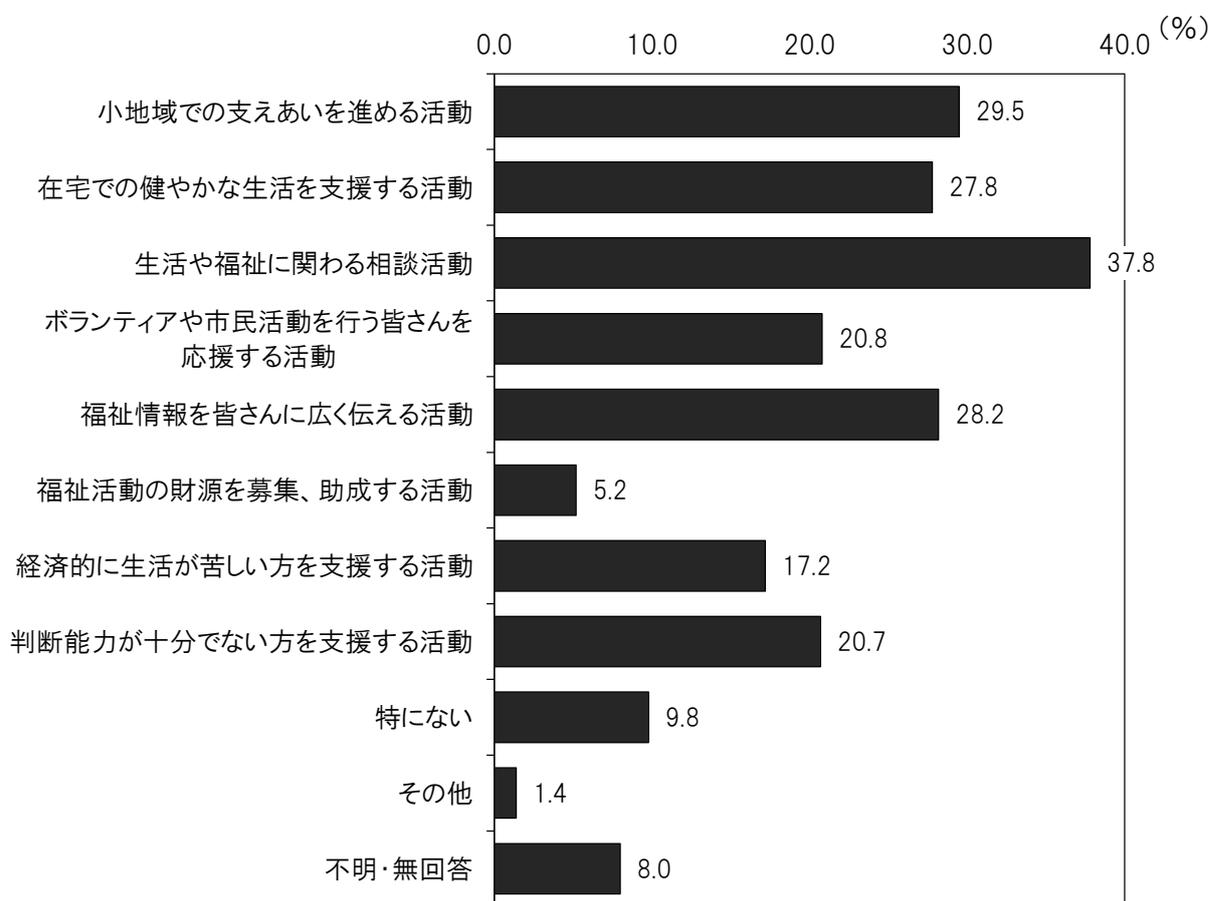


■ 今回(回答者数336)

問26 あなたは、深谷市社会福祉協議会に対してどのような活動を期待しますか。

(〇は3つまで)

深谷市社会福祉協議会に期待する活動については、「生活や福祉に関わる相談活動」が37.8%で最も高く、次いで「小地域での支えあいを進める活動」が29.5%、「福祉情報を皆さんに広く伝える活動」が28.2%となっています。

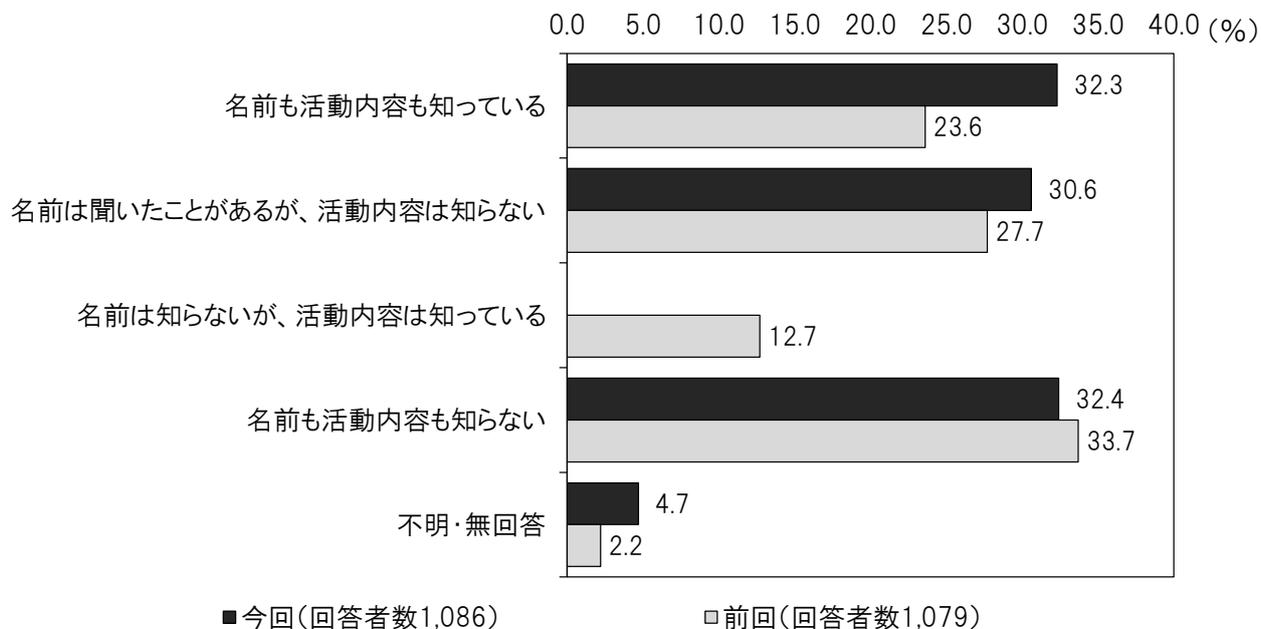


■今回(回答者数1,086)

**問27 あなたは、あなたが住んでいる地区を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。
(ひとつだけ○)**

担当の民生委員・児童委員を知っているかについては、「名前も活動内容も知らない」が32.4%で最も高く、次いで「名前も活動内容も知っている」が32.3%、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が30.6%となっています。

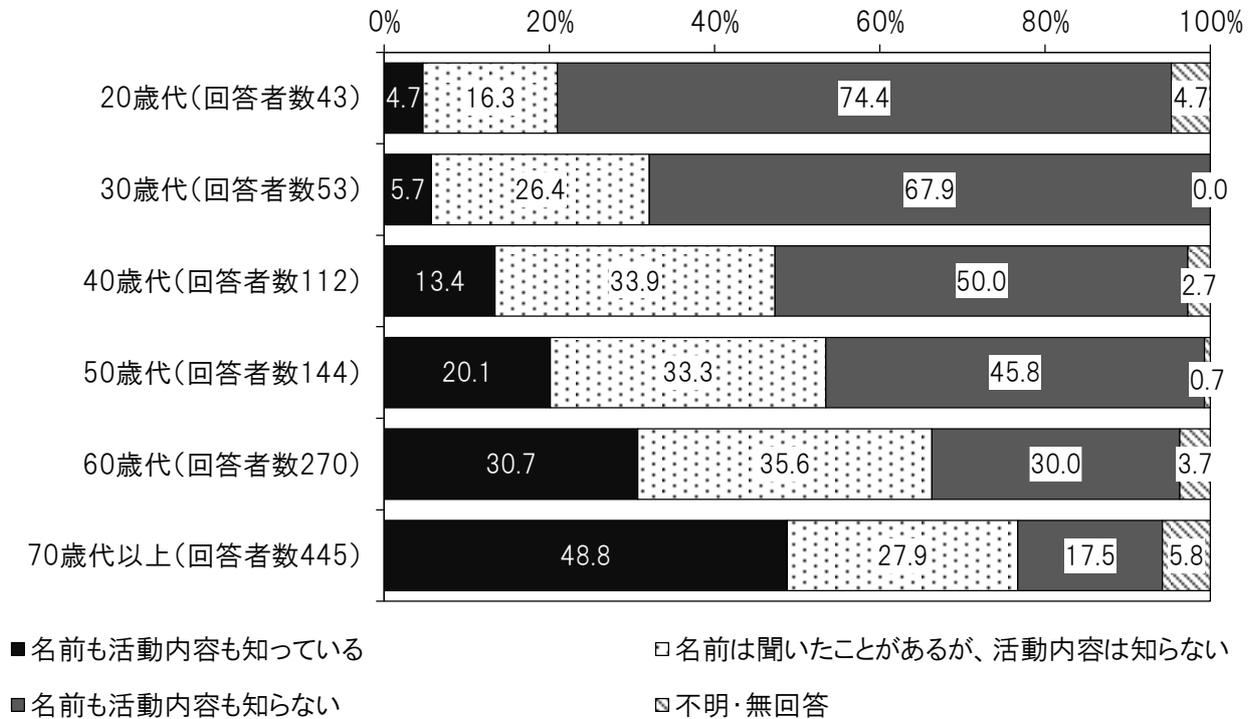
前回調査と比較すると、「名前も活動内容も知っている」が8.7ポイント増加しています。



* 今回には選択肢「名前は知らないが、活動内容は知っている」がない。

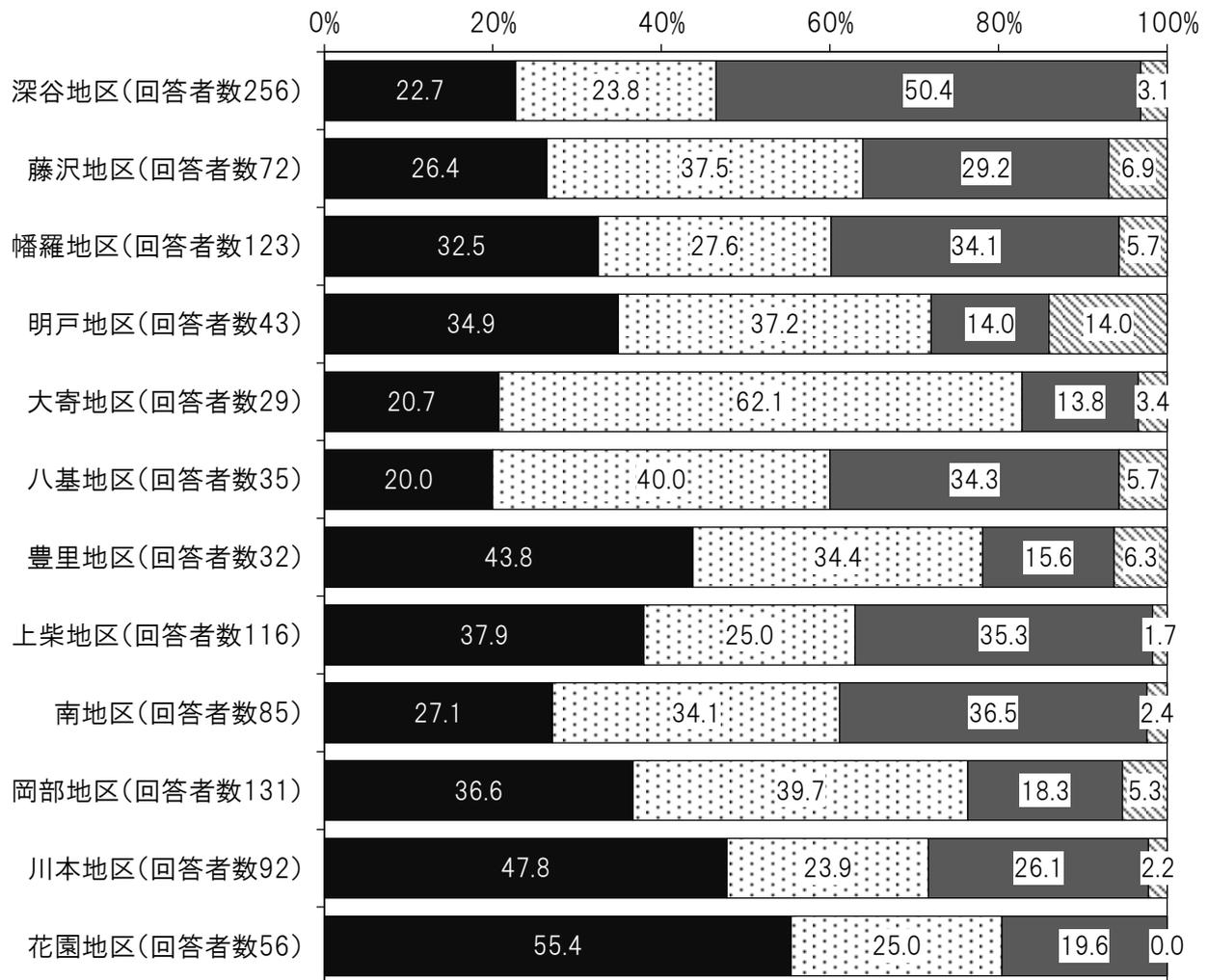
【年代別】

年代別にみると、60歳代で「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が、70歳代以上で「名前も活動内容も知っている」が、それぞれ最も高くなっています。概ね年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向にあります。



【地区別】

地区別にみると、深谷地区と幡羅地区と南地区で「名前も活動内容も知らない」が、藤沢地区と明戸地区と大寄地区と八基地区と岡部地区で「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が、豊里地区と上柴地区と川本地区と花園地区で「名前も活動内容も知っている」が、それぞれ最も高くなっています。

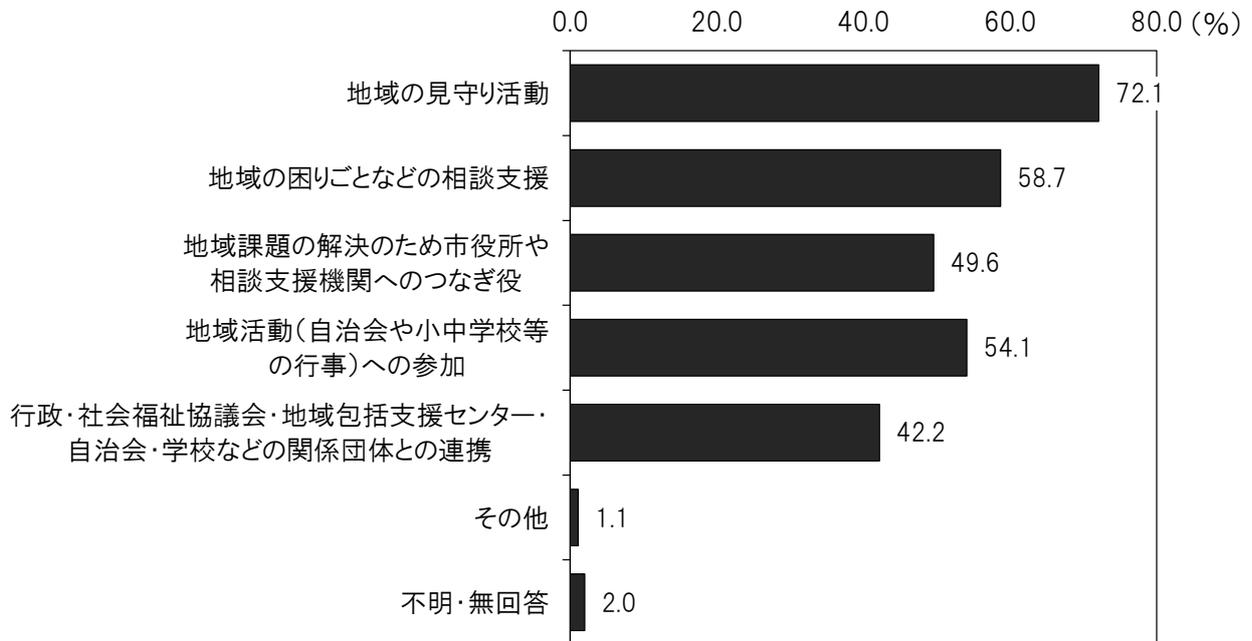


- 名前も活動内容も知っている
- 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 名前も活動内容も知らない
- ▨ 不明・無回答

問28 問 27 で「名前も活動内容も知っている」を選ばれた方におたずねします。

あなたの知っている民生委員の活動は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

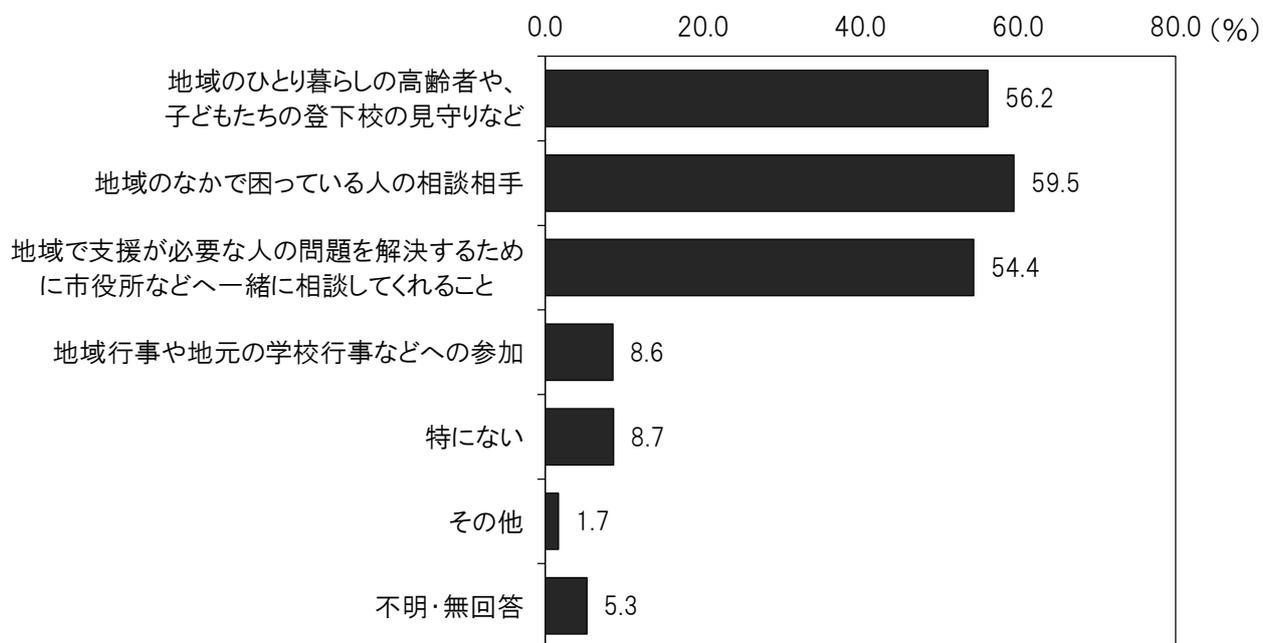
知っている民生委員の活動については、「地域の見守り活動」が72.1%で最も高く、次いで「地域の困りごとなどの相談支援」が58.7%、「地域活動（自治会や小中学校等の行事）への参加」が54.1%となっています。



■今回(回答者数351)

問29 あなたは、民生委員に対してどのような活動や支援を期待しますか。(〇は3つまで)

民生委員に対して期待する活動や支援については、「地域のなかで困っている人の相談相手」が59.5%で最も高く、次いで「地域のひとり暮らしの高齢者や、子どもたちの登下校の見守りなど」が56.2%、「地域で支援が必要な人の問題を解決するために市役所などへ一緒に相談してくれること」が54.4%となっています。



■今回(回答者数1,086)

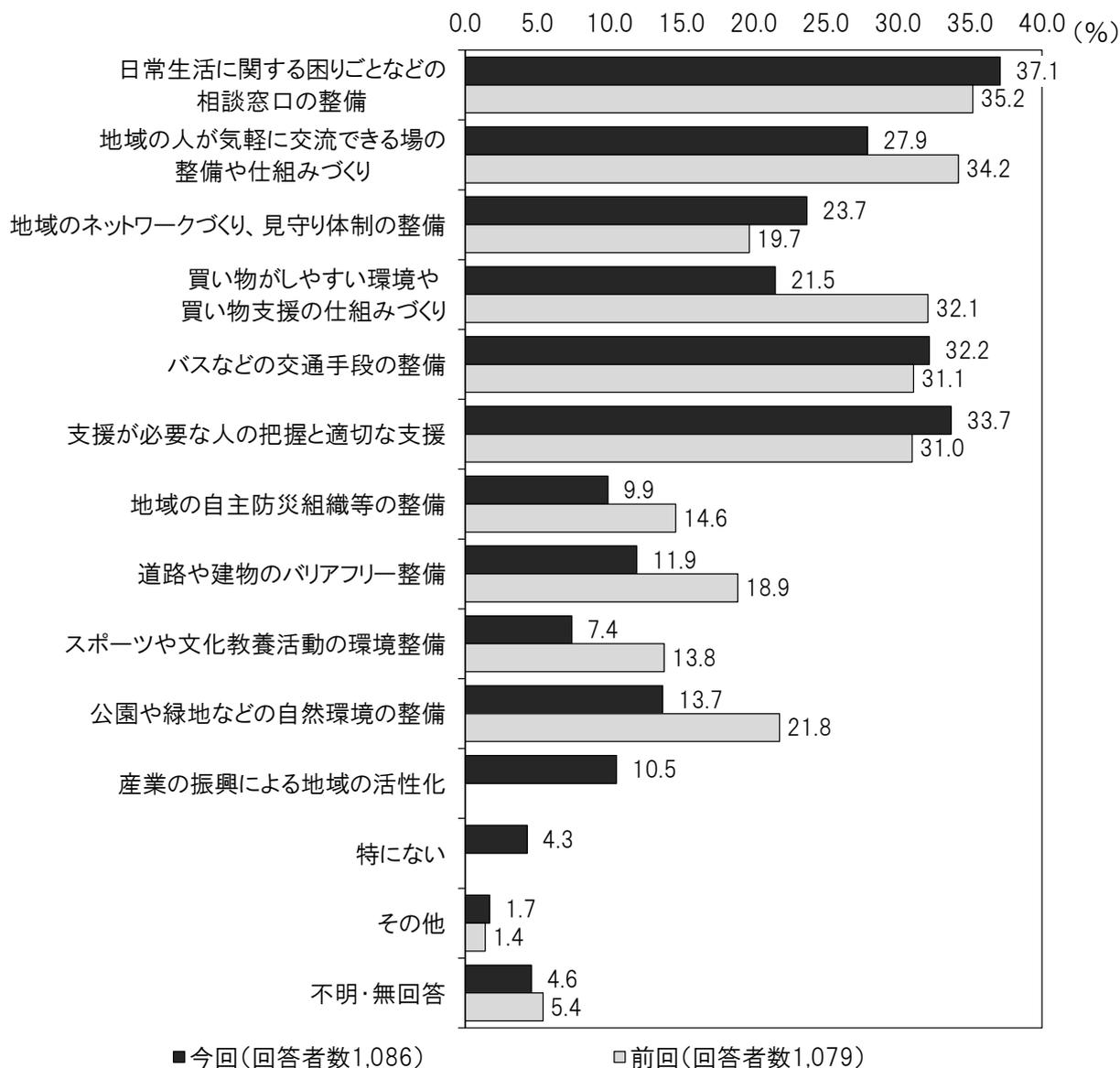
5. 今後の方向性についておたずねします。

問30 地域での暮らしをより豊かにするためには、どのようなことが必要だと考えますか。

(〇は3つまで)

地域での暮らしをより豊かにするために必要なことについては、「日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備」が37.1%で最も高く、次いで「支援が必要な人の把握と適切な支援」が33.7%、「バスなどの交通手段の整備」が32.2%となっています。

前回調査と比較すると、「買い物がしやすい環境や買い物支援の仕組みづくり」が10.6ポイント、「公園や緑地などの自然環境の整備」が8.1ポイント、「道路や建物のバリアフリー整備」が7.0ポイント、それぞれ減少しています。



* 前回には選択肢「産業の振興による地域の活性化」「特にない」がない。

【年代別】

年代別にみると、20歳代と60歳代で「支援が必要な人の把握と適切な支援」が、30歳代で「バスなどの交通手段の整備」と「支援が必要な人の把握と適切な支援」が、50歳代で「日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備」と「支援が必要な人の把握と適切な支援」が、それぞれ最も高くなっています。

(単位：%)	日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備	地域の人が気軽に交流でき	地域のネットワークの整備	買い物支援の仕組みづくり	バスなどの交通手段の整備	支援が必要な人の把握と適切な支援	地域の自主防災組織等の整備	道路や建物のバリアフリー	環境整備	スポーツや文化教養活動の整備	公園や緑地などの自然環境	産業の振興による地域の活性化	特にな	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	30.2	14.0	23.3	23.3	23.3	32.6	9.3	16.3	18.6	18.6	11.6	7.0	2.3	4.7	
30歳代(回答者数53)	30.2	22.6	26.4	22.6	37.7	37.7	9.4	22.6	9.4	20.8	24.5	1.9	1.9	0.0	
40歳代(回答者数112)	35.7	16.1	25.9	18.8	30.4	31.3	14.3	13.4	4.5	19.6	15.2	4.5	0.0	3.6	
50歳代(回答者数144)	40.3	22.2	25.0	20.1	32.6	40.3	11.1	16.7	9.7	14.6	8.3	2.1	4.9	0.7	
60歳代(回答者数270)	37.4	27.0	25.9	20.0	33.7	38.1	9.6	10.4	8.1	14.8	11.1	3.7	2.6	3.0	
70歳代以上(回答者数445)	37.8	35.7	21.6	23.8	32.8	29.7	8.3	9.7	5.4	10.1	8.3	5.6	0.4	6.1	

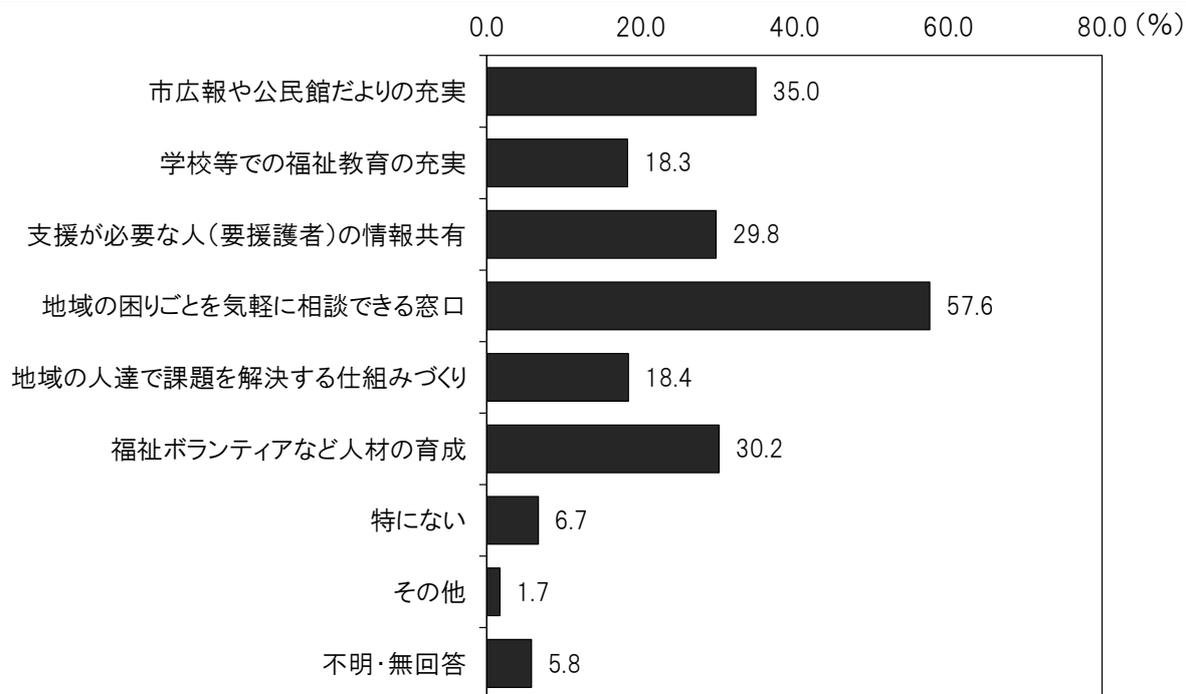
【地区別】

地区別にみると、明戸地区と八基地区と豊里地区と南地区と川本地区で「バスなどの交通手段の整備」が、上柴地区と岡部地区で「支援が必要な人の把握と適切な支援」が、それぞれ最も高くなっています。また、明戸地区で「買い物支援の仕組みづくり」が4割台と、他の地区に比べて高くなっています。

(単位：%)	日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備	地域の人が気軽に交流でき	地域のネットワークの整備	買い物支援の仕組みづくり	バスなどの交通手段の整備	支援が必要な人の把握と適切な支援	地域の自主防災組織等の整備	道路や建物のバリアフリー	環境整備	スポーツや文化教養活動の整備	公園や緑地などの自然環境	産業の振興による地域の活性化	特にな	その他	不明・無回答
深谷地区(回答者数256)	39.1	27.7	28.1	19.1	27.0	32.8	7.0	14.1	5.9	14.1	10.5	5.9	2.7	3.1	
藤沢地区(回答者数72)	36.1	27.8	13.9	27.8	26.4	30.6	8.3	13.9	6.9	13.9	13.9	4.2	1.4	6.9	
幡羅地区(回答者数123)	39.0	22.0	26.0	17.9	27.6	35.8	10.6	12.2	12.2	12.2	11.4	6.5	1.6	6.5	
明戸地区(回答者数43)	41.9	23.3	16.3	44.2	48.8	34.9	0.0	11.6	2.3	0.0	11.6	0.0	4.7	11.6	
大寄地区(回答者数29)	44.8	27.6	20.7	31.0	37.9	41.4	13.8	6.9	0.0	6.9	6.9	0.0	0.0	3.4	
八基地区(回答者数35)	28.6	22.9	22.9	28.6	40.0	14.3	20.0	8.6	8.6	5.7	20.0	0.0	0.0	5.7	
豊里地区(回答者数32)	21.9	34.4	21.9	28.1	53.1	37.5	12.5	6.3	3.1	21.9	9.4	3.1	0.0	0.0	
上柴地区(回答者数116)	41.4	35.3	27.6	11.2	39.7	41.4	8.6	9.5	8.6	17.2	6.9	2.6	0.9	0.9	
南地区(回答者数85)	31.8	25.9	22.4	22.4	32.9	29.4	15.3	18.8	10.6	21.2	8.2	3.5	1.2	1.2	
岡部地区(回答者数131)	30.5	29.8	24.4	19.1	32.1	36.6	13.0	11.5	7.6	14.5	13.0	3.8	0.8	4.6	
川本地区(回答者数92)	34.8	28.3	20.7	28.3	41.3	35.9	10.9	8.7	6.5	10.9	12.0	2.2	1.1	4.3	
花園地区(回答者数56)	50.0	28.6	19.6	19.6	19.6	25.0	5.4	10.7	5.4	14.3	5.4	12.5	3.6	3.6	

問31 地域における助け合いを活発化するため、市の取り組みとしてどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

地域における助け合いを活発化するために重要だと思う市の取り組みについては、「地域の困りごとを気軽に相談できる窓口」が57.6%で最も高く、次いで「市広報や公民館だよりの充実」が35.0%、「福祉ボランティアなど人材の育成」が30.2%となっています。



■今回(回答者数1,086)

【年代別】

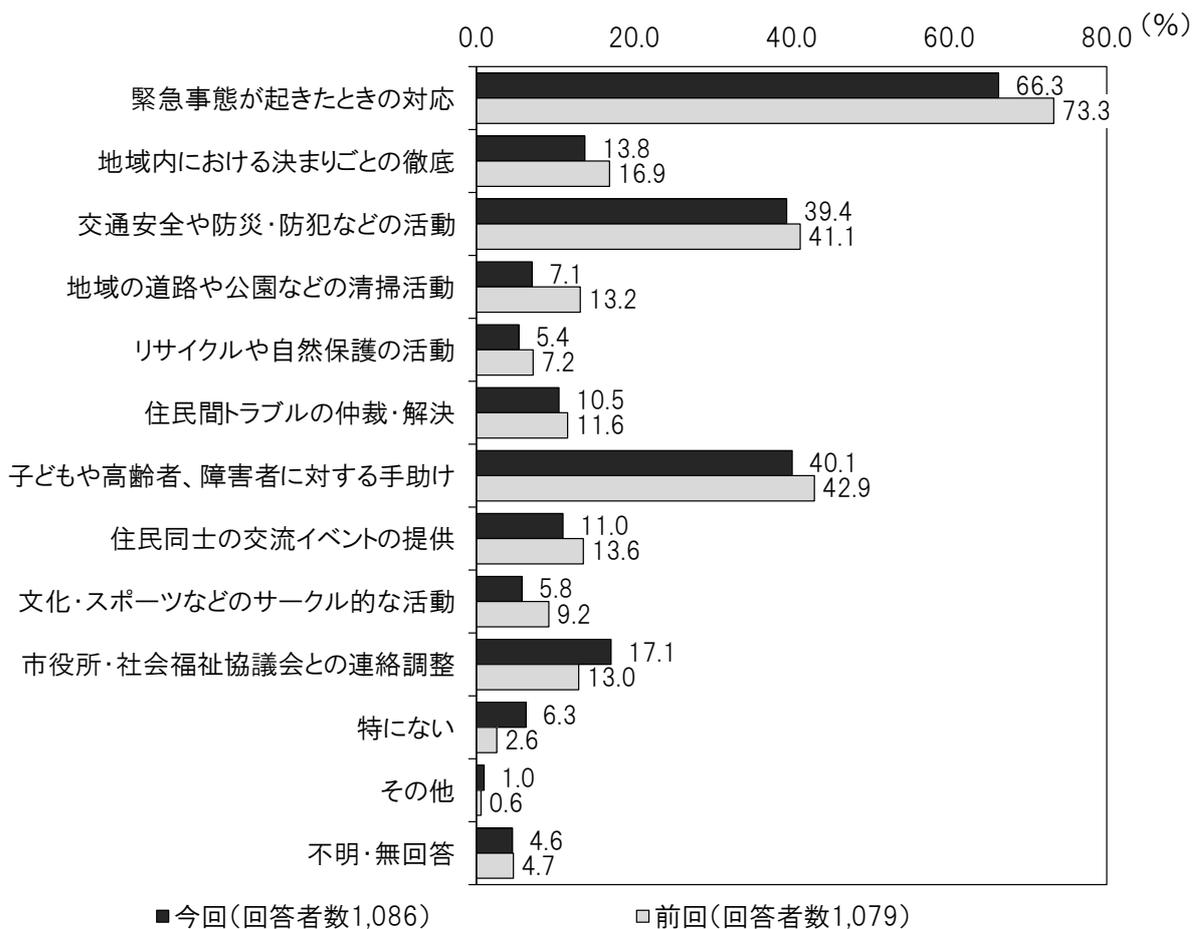
年代別にみると、30歳代で「支援が必要な人(要援護者)の情報共有」が約4割、「地域の人達で課題を解決する仕組みづくり」が3割、20歳代と30歳代で「学校等での福祉教育の充実」が3割、70歳代以上で「市広報や公民館だよりの充実」が4割と、それぞれ他の年代に比べて高くなっています。

(単位:%)	市広報や公民館だよりの充実	学校等での福祉教育の充実	支援が必要な人(要援護者)の情報共有	地域での困りごとを気軽に相談できる窓口	地域のみなさんで課題を解決する仕組みづくり	福祉ボランティアなど人材の育成	特にない	その他	不明・無回答
20歳代(回答者数43)	18.6	32.6	32.6	46.5	20.9	34.9	14.0	0.0	4.7
30歳代(回答者数53)	30.2	34.0	39.6	62.3	32.1	34.0	3.8	1.9	1.9
40歳代(回答者数112)	25.9	27.7	32.1	54.5	15.2	25.0	6.3	1.8	4.5
50歳代(回答者数144)	31.9	25.7	34.0	56.9	18.1	38.9	3.5	3.5	0.0
60歳代(回答者数270)	35.6	12.6	25.9	59.6	18.1	28.9	7.8	1.5	3.0
70歳代以上(回答者数445)	41.1	13.9	28.8	59.3	17.5	29.2	7.2	1.1	8.5

問32 あなたが住んでいる地区のなかで安心して暮らしていくために、地区にある組織や団体に対してどのような活動を期待していますか。(〇は3つまで)

安心して暮らしていくために、組織や団体に期待する活動については、「緊急事態が起きたときの対応」が66.3%で最も高く、次いで「子どもや高齢者、障害者に対する手助け」が40.1%、「交通安全や防災・防犯などの活動」が39.4%となっています。

前回調査と比較すると、「緊急事態が起きたときの対応」が7.0ポイント、「地域の道路や公園などの清掃活動」が6.1ポイント減少しています。



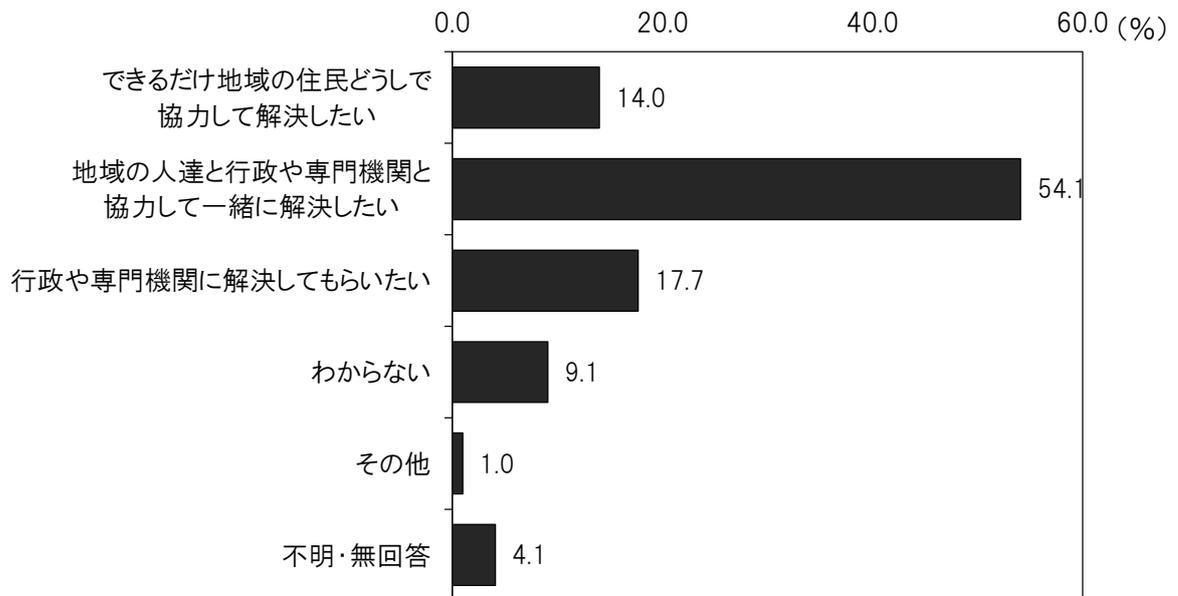
【地区別】

地区別にみると、大寄地区と川本地区で「子どもや高齢者、障害者に対する手助け」が約5割、大寄地区で「市役所・社会福祉協議会との連絡調整」が3割と、他の地区に比べて高くなっています。

(単位:%)	対 応	緊 急 事 態 が 起 き た と き の	地 域 内 に お け る 決 ま り ご と の 徹 底	交 通 活 動 の 活 動	地 域 の 道 路 や 公 園 な ど の 清 掃 活 動	リ サ イ ク ル や 自 然 保 護 の 活 動	住 民 間 ト ラ ブ ル の 仲 裁 ・ 解 決	子 ど も や 高 齢 者 、 障 害 者 に 対 す る 手 助 け	住 民 同 士 の 交 流 イ ベ ン ト の 提 供	文 化 ・ ス ポ ー ツ な ど の サ ー ク ル 的 な 活 動	市 役 所 ・ 社 会 福 祉 協 議 会 と の 連 絡 調 整	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
深谷地区(回答者数256)	68.0	12.9	37.9	5.1	6.6	13.7	41.4	10.2	4.7	18.8	6.6	0.8	3.5	
藤沢地区(回答者数72)	61.1	15.3	31.9	9.7	5.6	4.2	44.4	12.5	8.3	22.2	6.9	0.0	5.6	
幡羅地区(回答者数123)	65.9	8.9	39.0	10.6	4.9	13.8	33.3	6.5	6.5	13.8	12.2	0.8	4.9	
明戸地区(回答者数43)	60.5	16.3	34.9	9.3	4.7	7.0	34.9	14.0	11.6	18.6	7.0	2.3	11.6	
大寄地区(回答者数29)	75.9	13.8	41.4	0.0	0.0	6.9	51.7	3.4	0.0	31.0	0.0	0.0	3.4	
八基地区(回答者数35)	68.6	14.3	42.9	0.0	8.6	14.3	28.6	2.9	2.9	17.1	5.7	0.0	8.6	
豊里地区(回答者数32)	78.1	15.6	46.9	3.1	3.1	9.4	25.0	18.8	6.3	12.5	3.1	3.1	0.0	
上柴地区(回答者数116)	73.3	20.7	41.4	7.8	4.3	6.9	40.5	15.5	6.9	12.9	3.4	0.9	0.9	
南地区(回答者数85)	62.4	16.5	43.5	10.6	9.4	8.2	43.5	10.6	7.1	15.3	5.9	2.4	1.2	
岡部地区(回答者数131)	58.8	13.7	44.3	4.6	5.3	10.7	42.7	10.7	3.8	16.8	6.1	1.5	5.3	
川本地区(回答者数92)	72.8	6.5	38.0	12.0	5.4	9.8	48.9	14.1	5.4	19.6	2.2	0.0	2.2	
花園地区(回答者数56)	66.1	17.9	37.5	7.1	1.8	12.5	28.6	8.9	5.4	17.9	10.7	0.0	7.1	

問33 今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(ひとつだけ○)

地域の中で起こる困りごとや心配なことをどのように解決するのが良いと思うかについては、「地域の人達と行政や専門機関と協力して一緒に解決したい」が54.1%で最も高く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」が17.7%、「できるだけ地域の住民どうして協力して解決したい」が14.0%となっています。



■今回(回答者数1,086)

問34 みんなで助け合い・支え合う地域をつくるために、何かアイデアがあれば教えてください。

あなたができること、地域で取り組むべきことなど、何でも結構です。

いただいた回答を項目ごとに分類しています。なお、複数の項目に回答いただいているものは、再掲になっています。

■生活環境(交通・買い物支援・ごみ出しなど)

年代	居住地区	内容
20 歳代	深谷地区	交通の便が非常に悪い。年配の方が買い物や病院へ行くのに苦労している。くるりんバスがあるが、バス停が遠く、30分以上は徒歩でかかる。バスのダイヤも少ない。改善できるのであれば、バス停を増やす、ダイヤを増やす等、してもらいたい。
20 歳代	岡部地区	人の住んでいない家(空き家)が増えてきた。そこに住みつく野良猫も多くなっている。防災、防犯上不安なので、なんとか地域で改善できないか。
20 歳代	藤沢地区	地域におけるまちづくり、交通・環境問題の解決と施策提案による活性化、ワークショップ等の運営。
30 歳代	岡部地区	高齢者だけで暮らしている人(一人暮らしも、老夫婦も)に対して、地域にある小売業(コンビニや酒屋、日用品・食料品販売をしている店)の方にも、御用聞きサービスを広めるための援助があると良いと思う。具体的に援助の案が出てこないが、行政の福祉サービスだけでは十分に助けられない部分を地域の事業主にも協力してもらい、買い物ができない方、家の中の困りごと(電球の交換等)に対する御用聞きをして、地域の人が地域の人を助けあう流れにできれば良いと思う。御用聞きサービスを広めるための援助は、市から事業主へ御用聞きをする上で発生する問題に対しての助成等のこと(広告宣伝・経済面・人材・配送等)近所のスーパーなどと連携できるような体系も良いと思います。※アンケートの礼状(ハガキ)が届きました。2000 人の方へ出していると思いますが、この費用、礼状に使わないで、もっと福祉サービスや市民の生活のための費用に充ててほしいです。普段の生活の中で市からの恩恵を十分にうけていますので、わざわざ礼状は出さなくても良いと思います。(気持ちは大変嬉しく、受け取りました)
30 歳代	南地区	知人に移動手段が徒歩の人がいます。コミュニティバス・くるりんが出来てからとても助かっています。バス停の名前と場所が一致しない、分からないので公民館などに路線図があると良いと思います。
40 歳代	岡部地区	今、高齢者ドライバーが増えています。私自身もこれから歳を老いていく親のことを考えると運転はやめて欲しいけど、友人と会ったり、買い物したり病院へ行ったりと元気なうちは意欲的にいてほしいと思っています。経済的にはくるりんバスは助かりますが、路線が少なく、うちの周りからはバス停が遠かったりタクシーだと国民年金のみで暮らす両親には負担が大きく感じます。できれば 75 歳以上の高齢者からでも安全のためにも元気に生き生きと行動してもらえる為にも、バスの路線を増やしたり、タクシーなどが気軽に低料金で乗れて、もう自分の運転は止めようとお年寄り本人から思えるような対策をして欲しいです。
40 歳代	上柴地区	無料バスを出してほしい。せめて60才以上とか病院限定でも良いと思います。今、老人が老人を介護している家族が多くなりました。そのほとんどが高齢で車を運転しています。どうしてかと聞いたら、足がない。バスで毎日通うとお金がかかるとの事でした。あぶないと思いました。あと運転できない老人が、病院からバス停まで毎日歩いて通っている姿を見て、とても大変だろうと思った。年金は引かれるものが多いし、病院代は高いし、もう少し老人の事を考えるべきです。若い人は働きざかりなのだから、子供の事よりも、これからは老人のためにもっと何が便利なのか考えてほしい。子供は中学まではそんなにかからない。高校が私立の場合や大学はお金がとてもかかったので、その後の老後の方がとても大変です。学費が終わったと思ったら、今度は親の介護が始まりました。毎日病院通いと親の世話で大変です。
40 歳代	深谷地区	天気に関係なく気軽に遊びに行けるスペースのある場所が欲しいです。介護施設で働いていますが、お年寄りを冬場に連れて行く所がなく困っています。市内の公園などに出向き、散歩に来ている人達と挨拶をしたり、会話をしたりと交流をとれるようにしていますが、室内でちょっとしたスペースにイスやテーブルがある所を増やしてもらえたら、寒い冬場でも出かけられるなと思いました。

年代	居住地区	内容
50 歳代	花園地区	交通の不便をなくすための事。
50 歳代	深谷地区	ゴミ(木・葉)燃やしを畑でして困る。ススが飛んで来て車庫の屋根が黒くなり落ちなくなってしまった。度々市役所の環境課や警察に話しても改善できていない現状。燃やす人は常に同じ人達だ。家の周り北・南・西・東、囲まれている。本当にススやけむりでのが痛い時がある。どうにか燃やすのを禁止して欲しい。
50 歳代	豊里地区	答えとしてはズレてしまいますが…考えれば考える程、不安になります。この地域は何も無さすぎます。商業的な物は NG な地域だとしても、高齢者になり免許返納。近所の家でも子ども達は出ているのが多く、買い物とかはどうすれば…。市議の方って皆町中の住人ですか？この地域だけでなく大きな深谷には同じ様な所が在るとは思います。ネギ頭のふっかちゃんて本当においしい農作物をブランド化するとか、深谷の中でも地域によって、ネギだとしたら太くて甘いのが、棒のように少しかたいのとか…トモロコシやブロッコリーが有名な地域、花、きゅうり…本当に良いものにふっかちゃんご協力ください。支離滅裂ですいません。
50 歳代	幡羅地区	地域で取り組んで欲しい事は、道の狭いところが多いので畑を道の間の生垣の手入れを持ち主の方がきちんとする…という事を徹底する様に呼び掛けてほしいです。地域での困り事を直接言いづらい方の為の意見箱のような物を自治会館などに設置されれば若い方や地域に住みはじめた方など意見を発信しやすいのではと思います。
50 歳代	岡部地区	若い世帯が魅力を持って転入、生活が出来る市制を早急を実施していかなければ、過疎化し、税収入も入らない市となる。市の財政が豊かでなければ、市内巡回バスなどのサービスや、福祉活動は充実していかない。税収の無い農業重視市制ではなく、企業の誘致等を積極的に実施してほしい(群馬県太田市や伊勢崎市の様に!)。まずは、そこから始めて下さい。
60 歳代	岡部地区	1.これからの高齢化に伴い市の葬祭場や共同墓地や樹木葬等の設置を切に希望します。友好姉妹都市である群馬県富岡市では市の葬祭場や墓地の実例があり利用者も多数あると聞いております。民間の葬祭場がありますが、非常に高く皆さんが多額のお金をかけて葬式などをできない事もあると思われしますので、是非市で格安に出来るよう、取り計らいをお願いいたします。2.空き家の調査がすでに実施されておりますが、除草もされず樹木等も伸び放題で近所の方たちが実際に困る事が起きています。空き家調査の時に連絡先調査の上、所有者が責任をもって対処できるように行政から指導してほしいです。
60 歳代	上柴地区	花園プレミアムアウトレットの建設をとっても楽しみにしております。他県からの人の流れを考えると早急に推進を希望します。絶対に街が活性化すると思います。日本一最大のアウトレットとなれば深谷へ深谷へと皆さんが訪れ、深谷も潤います。小島市長のマスコミ利用も素晴らしいと思います。市の活躍に大いに期待しています。市の経済が潤ってくれば地域の皆さんの心も潤うのではないのでしょうか!
60 歳代	南地区	「自助」がやり易い環境づくりが大切だと思います。健康維持がやり易いように歩道や公園の整備など。パティオで健康づくりの方が多くなりました。南公民館よりパティオまでの桜並木通路のアスファルト化で車いすの方も見かける様になりました。道路も車より人優先の整備が大切だと思います。「公助」によるインフラ作りを希望いたします。「自助」が活発化すれば「共助」は自然と行われてくると思います。「共助」「公助」ともに御仕着せにならない様にさせていただいた方が良くと思います。
60 歳代	大寄地区	荒れた畑が何年も放置されている所があります。枯草などから火事になる前に、何とか対応してくれると周りは安心です。自治会などで見回り対応して下さい。
60 歳代	上柴地区	今いろいろと言われている個人情報等の事も考えなければいけない事にぶつかる可能性もあるので、声かけ(困っているみたいだと思って)をする勇気がない事が何回かあった。一人では無理でも地域の方々と協力できれば手助けできる事も沢山あるかと思えます。しかし良いアイデア等はなかなか思いつきません。今、現在TVや新聞等で年齢に関係なく(若い方から高齢の方まで)だまされてしまう事件が多くあるので悲しい事ですが、人を信じる、信じられなくなる事も多くあります。行政等に専門機関があったり、誰もが安心して相談(24 時間)できる場所が多数できると良いと思っていますが、なかなか大変な事だと思っています。

年代	居住地区	内容
60 歳代	深谷地区	高齢者もお金に困っている方が多くいるので何とかしてほしい。
70 歳代 以上	南地区	くるりんのバス停がありますが、これ位歩けるかと思いき歩き出た途中でつかれた所に空っぽのくるりんが通ると頭にくる。高齢者が何かの方法で合図すると、どこでも止まってくれたらどうでしょう。電話をどこかにすると予約ができるそうですが、そういう使用の仕方をもっと詳しく教えてください。公民館たよりにくるりんの南回り、北回りなどわかりやすくみせてください。だれのためのくるりんですか。80 歳で免許証返納を使用と思っていますが、本当に医者に行くのが心配です。
70 歳代 以上	川本地区	本庁まで行かなくても、支所での用事ができることが望ましい。遠い市役所(本庁)の場所も知らない。
70 歳代 以上	藤沢地区	ゴミ置き場が少し狭いです。道路の一時停止の看板が色が変わって目立たない所があります。
70 歳代 以上	幡羅地区	アンケートは書けるけど、ポストが遠く、自転車が乗れば良いけれど大変です。手は動くけれど前の様にはかけない。
70 歳代 以上	花園地区	ひとり暮らし(主に高齢者)で、例えば換気扇の取付け交換、水道の蛇口の交換他等、少しだけ頼みたい時、シルバーに頼む程の事でない場合に、気軽に依頼出来る事業があれば、近所の人や知人に気を遣わずに済むと思います(もちろん有料で良いと思います…高額ではなく)。年金生活者での意見は多いです。何か考えて頂ければ幸いです!
70 歳代 以上	幡羅地区	公園にトイレが入りにくい所があります。全部直しては言わないが、年寄りが和式だと大変な時があります。せめてつかまりやすい様なのをつけてほしい。みんなが休む所があるといいですね。冬は寒いのでどっか空き家などで、トイレ、ジュースを買える所があれば、9:00~5:00 ごろまで、元気な年寄りも多いので、あれば助かります。家にばかりいるとつまらない。
70 歳代 以上	幡羅地区	お願い、1.新しく家を買って入居する時は、市でゴミの問題は厳しく説明してほしい。特に有害ゴミの集積場所は良く知らせて下さい。
70 歳代 以上	深谷地区	中央区整事業により、商店等が少なく、買い物が不便。家も老朽化しているがか換地により移転しなければならず、また移転もいつになるか分からない状況。現家屋も建て替え出来ず、非常に困っている。
70 歳代 以上	川本地区	地域の木の枝を切ってほしい。伸び放題の木を切ってもらいたい。
70 歳代 以上	深谷地区	ボランティア活動の一環として、毎朝 4 時起床し、駅南口ロータリー周辺のゴミ拾いをしています。31 年間毎日、(旅行、病気を除く)続けています。
70 歳代 以上	藤沢地区	地域では希望があるが、専門機関が協力してくれない。(公園の立木)除去、ケヤの木の日陰、落ち葉の除去等。落ち葉の中に害虫の卵が多い。
70 歳代 以上	深谷地区	私は小学校の下校時の旗当番(立合い)をしています。天神町の知形橋(ちかた橋)は車の通行が多く特に文化会館の催し時と子供達の下校時が一緒になり、車が道路を途切れることなく走ります。子供達は非常に道路を渡るのが危険で、この時におまわりさん(警察の方)が立合いあるとか、橋をもう一本作る予定がありそうですが、早く橋を作ってもらいたい。
70 歳代 以上	川本地区	一人家庭が多くなっているの、一番の不都合は買物、病院外来です。これからますます一人家庭が増えてくるので、何か対策が必要です。個人的に車に乗せてあげたいと思っても、事故等のことを考えると考えてしまいます。特に川本は店が少なく、歩いて行ける所ではありません。これからは車の移動、スーパーなどがあると良いですね。医療タクシーがあるといいですね。
70 歳代 以上	岡部地区	車の運転者の事故が多いようですね。高齢者が不安なく病院へ行けるようバスの運行がいつでも利用できるようになるといいのですが…。突然バスを利用したくても、今のやり方だと利用出来ないとよく聞きます。これからは免許証返納の人たちも増えます。ご一考を!

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	深谷地区	くるりんバスは便利でよいのですが、駅へ来た時出発までの時間、バスからおろされてしまいます。寒いのでそこに腰かけていただけられません。エレベーターの所へ椅子を一つ作っていただくわけにいかないでしょうか。駅と話し合ってください。
70 歳代 以上	岡部地区	岡部のほこり(砂ほこり、畑)をなんとかほこりが出ない方法をお願いします。ビニールを引く、網を引く、草をとらないとか、何か良い方法をお願いします。
70 歳代 以上	幡羅地区	1.私は東方に住んでいます。竹林やけやきの多い山林があり、大たかの巣が有り、春から夏にかけて大変にぎやかになります。でもこのけやきの葉が悪さをします。秋から冬になると北風によって葉が屋根に沢山積り、毎年 2~3 回掃き掃除します(75 歳過ぎると 2 階の屋根に上る事は大変ですよ)。このような広い林は市が借り受け、“緑公園”として整備(ボランティア活用)できないでしょうか。2.福川の清流化について、私は毎日福川土手に散歩に行きますが、“どて”“川底”の汚れがひどいです。毎年掃除して桜並木や水仙並木として活用してはいかがでしょうか。桜並木は幡羅生涯学習塾~明戸まで約 2K、将来能谷藤川土手よりも良くなりますよ。問 34 の 1.~2.は全てボランティアを活用、行政は仕組づくりです。
70 歳代 以上	岡部地区	地域でまだまだ使えるのにいらなくなっている物(捨てるのがゴミ)欲しいけど高いので買えなかったりする人達のためのリサイクルできる場があったら良いと日頃考えます。そこに持って行っておけば誰かに使っていただけたらゴミが少なくなる様に思います。私も早く免許を返したいと思いつつながら年が加わる程、様々な体の故障が増し、医者に行くのに不安です。ある場所では(茨城古河)バス(公営)が家のすぐ近くまで来て下さる(十分歩けない人でも利用できる)ので、様々な楽しみや福祉に参加出来る様です。バスは利用したい人は会員になり、年間の会費を払ってさらに利用する時にも小額のお金を支払って行きたい所迄(町内だと思いますが)のせてもらおう様です。そう言うバスがあったら助けになると思います。是非行って視察してきてください。
70 歳代 以上	南地区	地域内にアパートが多く、そのかなりが築年数が古くなり空き家が増えている現状がある。地域で取り組むには限度があるので、大家さんに市の方から指導してほしい(何らかの施策をしないと火事や防犯上心配です)。
70 歳代 以上	深谷地区	隣近所の 5 年~10 年先輩の手助け。買物、病院通院等。まだ私自身何事も対応は ok であるが、数年後の免許証の返納それによる自動車の対応。その後、買物弱者となることは、明らかである。呼べば来てくれる循環バス等の利用の便利度の把握。どこまで自分自身で対応できるのか、限度まで努力必要。
70 歳代 以上	南地区	高齢者の交通手段の確保。主な医療機関(病院、クリニック等)を巡回するコミュニティバス等の運営。スーパーマーケット等を巡回する。交通費は有料(例えば有料パスポート等の発行)。
70 歳代 以上	上柴地区	アウトレットを市は積極推進の様ですが、高齢者が増加する昨今、旧市内の商店が減少し、買い物(車の運転出来ない人)に不自由する様な社会を作らない対策必要と思う。
70 歳代 以上	幡羅地区	交通の便が悪いので、もっと狭い範囲で利用できるものがあれば良いと思う。デマンド等は、なかなか使えない話を聞きます。自治会毎にボランティアを募り、お願いするとか。
70 歳代 以上	川本地区	高齢者の病院通う安心していける事などの手助けが必要だと思います。自動車に乗れない高齢者の一番の悩みだと思います。
70 歳代 以上	上柴地区	高齢になり、車に乗らなくなった時の出かける手段がない。現在のクルリンなどの使い方がわからない。(どのクルリンは、どこからどこまで行く? 時間はどの位かかるのか? 乗り場は? 乗り場は近くにあるのか?)など。交通手段が一番心配。出かけられなくなりそう。市民にわかりやすくするには、どうしたらいいのか?

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	岡部地区	市職員の皆様、道の駅岡部の裏側の福川に仲宿橋が架かっているのをご存知ですか。数年前まで元旦には、他県からも大勢の人が初日の出を觀賞に訪れましたが、今ではほとんど訪れる人がいません。その理由は堤防や川に見苦しい程、ゴミが散乱しているからです。職員の皆様、どうか一度、現況を見にきて下さい。お願いします。昨年、地元市会議員に「ゴミ捨て禁止」の看板を橋周辺に掲げるように要請はしましたが、いまだに実行されていません。早急に掲げるようお願いいたします。

■福祉サービスの充実・提供体制(相談・情報提供)

年代	居住地区	内容
20 歳代	明戸地区	私もそうですが、地域福祉について知らない事が多く感じている人は沢山いると思うので、まずは市民の人に知ってもらうことが必要だと思います。他にも、どの支援センターで何をしているのかが詳しく分からないので、本当に困った時にどこに行けばいいのかが分からないように感じました。チラシなども必要だと思いますが、中学校の授業でやったり、その時に渡された資料を親に渡したりすることが、一番見てもらえるきっかけを作ることができるように思います。
30 歳代	岡部地区	同じような悩みを抱える方々の自助グループでの国体への支援または整備。どのような場合、どこに連絡、相談すれば良いか等、幅広の情報提供の方法、説明会の開催など、社会や地域で問題となる事が多いものは特に。問題解決のための専門家の配備。
30 歳代	大寄地区	地域、近所の方達とは、あいさつ程度だけなので、相談するまで付き合いがありません。相談総合窓口があってそこで聞いてもらって、そこから必要な窓口に分けてもらったら分かりやすいです。メールで相談できる手段もあつたら便利です。
50 歳代	深谷地区	法的アドバイスも出来るハイレベルの相談が出来る人が居ると良いと思う。その際、弁護士は NG。専門知識にかたよりすぎて相談相手にならない。例えば長年、裁判官を務めた人とか、弁護士は金も上げにかたよりすぎる人が多いので、金にならない相談は真面目に対応しない人しか会った事がない。仕方ないと思うが、ボランティアを含む無料相談できる人はレベルが低すぎて相談出来るレベルにあらず。→まあ、これが現実。
50 歳代	深谷地区	困ったことがあることを知らないので市や社会福祉協議会のお知らせをメルマガ等で配信すれば若い人達に周知されるのではないかな。
50 歳代	深谷地区	ここに書くことではないかもしれませんが、パパママ応援や児童手当等は充実していると思います。若い人にいてもらわないと困りますが…。もう少し高齢者の事も考えていただけないでしょうか。寝たきり老人や認知症の人が増えない工夫をしてもらえないでしょうか。ひとり暮らしの高齢者、家族といっても日中は一人という方はたくさんいると思います。市の方で半日方でも 1 日型でも体操をしたり、色々な認知予防のリクリエーション等をしたり。車の運転、自転車等はあぶないので、地区ごとに集めるりんバスみたいなものでまわって連れて行く。お忙しいとは思いますが、検討よろしくをお願いします。
60 歳代	花園地区	気軽に話せる人がいれば助かります。例えば民生委員みたいな方。
60 歳代	南地区	相談する窓口を1つにして、相談しやすくする。
60 歳代	上柴地区	口が堅い事。上からものを言わない事。人前で恥をかかせない事。大きな声で話さない事。とても生活が苦しいのですが、どちらへ相談すればよいのでしょうか。
60 歳代	上柴地区	働く女性(特に母親)が安心して働く事が出来る地域になれば良いなと思います。特に今年はインフルエンザの流行で子供が罹患している場合を除き、学級閉鎖の時は頼りの学童も利用出来ずに見てもらえる者がいない場合、仕事を休まざるをえない状態です。休みに収入減となります。この様な場合、元気な子供を学校内で自主学習などをして過ごせる場所を設ける事が出来ないでしょうか。学校内が無理なら児童館など、簡単な手続きで利用出来る施設があつたら良いなと思います。これからの若い人達をサポートしてほしいです。
70 歳代 以上	深谷地区	不断に情報を分かりやすく、伝えることをしてもらいたい。このようなアンケートは定期的に行うことが大事。

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	深谷地区	市役所内でもっと考える事。
70 歳代 以上	幡羅地区	相談支援窓口があることをここで知りました。その前に市役所に行くともみんな冷たく心から受けてくれる態度ではありません。以前母の事で相談に行ったことがあります(事務的)。今ガンで入退院をしています。年金だけですごく苦しく、心やさしく相談にのってくれる人がいるとどんなにやすらぐかわかりません。生活保護より年金が低いのです。この間、横浜の寿町で簡単に 13 万の年金を手で受取るのを TV で観ました。同じ日本にこんな不平等なのですか？それも年金を手にするのと飲み屋のつけをその日に払っているのです。少ない年金でやりくりしている人が多いことを知って下さい。市役所の窓口も事務的でとても親身になってくれるとは思えないので、行く気になりません。特に女性、ニコリともしません。
70 歳代 以上	川本地区	お陰様で週 3 日間デイサービスのある小さな事業所に勤めさせていただいております…が、私自身後期高齢者ですので、心配している事があります。地域で取り組むべきことの中で、緊急事態が起きた時に、例えばボタン 1 つ押すと直飛んで来て下さる専門の人たちが居るようなそんなシステム…あると良いですね…(いいえ、それに似たこと、今もあるのかも知れませんが…)勉強不足なんでしょうか。アンケート、感謝します。ありがとうございました。
70 歳代 以上	上柴地区	相談支援窓口や民生委員、児童委員の方などの周知を広めていただけても気軽に相談等出来るようになるといい。社会福祉協議会の存続の周知が必要なことではないでしょうか。
70 歳代 以上	上柴地区	より一層の広報”ふかや”の充実を望みます。
70 歳代 以上	川本地区	ひとり暮らしの高齢者の集合施設(元気なうちに楽しむ絶対に必要になる)。

■地域のつながり・交流

年代	居住地区	内容
20 歳代	藤沢地区	地域の人々が気軽に参加できるイベントの開催。地域の人々との会話が生まれ、仲良くなり、きずなが生まれ、自然と助け合うようになる。
20 歳代	藤沢地区	地域におけるまちづくり、交通・環境問題の解決と施策提案による活性化、ワークショップ等の運営。
20 歳代	深谷地区	老若男女が利用できるスポーツジムを作り、交流を深める場所がもっとあってもいいと思いました。ピクチャートルでは狭くて行きづらい。特に、今ジムブームなので交流を深めるいい機会になると思います。
20 歳代	幡羅地区	近隣とのふれ合いの場、清掃活動などをもっと行った方が良いと思う。地域での取り組み活動などをインターネットなどに載せ、皆にアピールすることが大事だと感じます。
20 歳代	深谷地区	両親と暮らしており、ご近所づきあいや地域の行事などほとんど出ていない状況です。これからは、もう少し関心を持ちたいと思います。
30 歳代	深谷地区	深谷は引越してくる方が多いと思うから、今住んでる人と、これから来る人が受け入れられるシンボリックなものがあつた方がいいと思う。同じ物事で話せたり、盛り上げられるような物が必要。企業にも防災や地域の活動に積極的に参加してもらおう。
30 歳代	川本地区	深谷地区だけではなく、他の地区での交流行事も増やしてはいかがでしょうか。
30 歳代	藤沢地区	以前、他の自治体で空き家を活用し、子育てサロンや高齢者のデイサービスなどを行っているのを見ました。実際に行うのは大変かもしれませんが、空き家がそのままになっていると、老朽化による倒壊やゴミ、立木が歩道や道路にせり出したり、治安の面でも心配です。小さな子供を連れてお母さん同士が交流したり、小学生の子供達が遊んだり、地域のお年寄りの方々と交流したり、と幅広い年代の方々が触れ合える場所になっている様子はとても素敵でした。深谷市でもそういった形で空き家が活用されたり、地域交流の場が少しでも増えてくれたら嬉しいです。

年代	居住地区	内容
30 歳代	大寄地区	地域、近所の方達とは、あいさつ程度だけなので、相談するまで付き合いがありません。相談総合窓口があってそこで聞いてもらって、そこから必要な窓口に振り分けてもらったらかかりやすいです。メールで相談できる手段もあつたら便利です。
40 歳代	幡羅地区	相手に対する先入観であいさつ等をしない人をなくすこと。相談したくてもなかなか自分から行けない人、場所的に遠くて行けない人などいると思うので、市の方からそういう人たちに積極的に声を伺いに来ても良いのではないかなと思う。
40 歳代	明戸地区	お年寄りが多くなり、家にずっと一人でいる人もいます。もっとお年寄りが外に出て、人とのつながりが増える場所が必要だと思います。ただ集まるだけでなく、社会の為に活躍する場があればお年寄りの生きがいにもつながりよいと思います。
40 歳代	深谷地区	交流の場、話し合いのできる集まり等の支え合うきっかけ作りを考える。
50 歳代	南地区	1 メッセージにすぎませんが、コミュニティにもある程度電子化があつても良いように思います。顔を合わせるからそのコミュニティと顔を合わせないからこそできるコミュニティがあるように感じます。とくに現在の 50 代より若い世代では電子化を得意とする人も多く、気兼ねの無さが地域に一步踏み込めたり、自身の状況の発信も可能になるように思います。市民の状況の発信は行政ニュースにも繋がる可能性も高く「わが子と、まるごと」の地域づくりにも近づけるツールのひとつかと思えます。未だ漠然としたイメージにすぎませんが、市民がシステムに後れを取ることない、且つ便利で参加の出来るコミュニティがあつたらいいな、と思います。
50 歳代	幡羅地区	お互いに共有できる”何か”があると良いですね。人と人の関係を上手く保つために中立ちとなる何かです。ふっかちゃんに更に活躍してもらえると大人も子供にも喜んで活動(協力)してもらえる筈です。ふっかちゃんが仲を取り持ってくれます。
50 歳代	幡羅地区	公民館事業の充実や児童館など子供達が安心して遊べたり学習できる場所を増やして欲しい。誰でも気軽に立ち寄れるサロンのような場所があつてもいいと思う。
50 歳代	岡部地区	(仕事の都合、個人の考えで難しいと思うが)同年齢層で集まる機会を多くする。(話す機会を多くして、お互いを知る事が大切です。それにより何かあつた時の対応も協力できると思えます。)
50 歳代	大寄地区	大寄地区は小学生がいつも挨拶がしっかりしていて、いつも感心しています。今でも 3 代暮らしが多いのかもしれませんが。あまり余計にしつこく聞きまわるのはどうかと思いますが、そのあたりを鑑みて声掛けは必要だと思います。
50 歳代	上柴地区	自分の経験の意見です(私は 3 人子供、フルタイム社員)。子育て中、登下校のパトロール当番の度に仕事を休む。ゴミ当番の時、次の家へ回覧を渡すのも夜、自分の内が当番と知るのも朝、掃除するのも夜、フレキシブルに対応せず。とにかくワーキングマザーには住みにくい市!
50 歳代	岡部地区	仕事があるのでボランティアの育成会などに参加できませんが気軽に、時間のある時お手伝いできることの告知や募集などが適宜であれば、お手伝いできることもあると思います(なにをしたらいいかかわからないので)。みんな笑顔で地域の人とすごせることが自分の元気にもつながると思います。地域のみなさんと近づきすぎず遠すぎずうまくかわっていける、たのしい行事もたまにはあるといいと思います(行きたいと思える内容)。母が他界し紙オムツの新品が多く残り捨てることもできずいます。どこかでほしい人はいないのか、だれにきいたらいいのかわかりません。色々な物のゆずりたい人ほしい人の掲示板などがあれば、いいなと思います。
60 歳代	南地区	地域の皆様が集う場所があり、話し合えるような事があればと思います(フッカちゃんの出番も)。
60 歳代	幡羅地区	健康のためにもカラオケを地域の皆様と一緒にやってみたいです。自治会ごとにあつまって 1 時間~2 時間ぐらい歌うのもいいと思いますね。声を出す事はいい事だからね。

年代	居住地区	内容
60 歳代	岡部地区	「遠くの親戚より近くの他人」と言う格言のごとく、隣近所をいつも大切に仲良くしていく心掛けが必要と思います。50 才くらいから育児から手が離れたご近所の方々と年 1 回の女子会を開いています。我が家の近所さんは皆同じくらいの年齢で、すぐ話がまとまり今年で 11 年になります。なかなか現役のころは忙しく、食事会ができなかったが、定年や退職の年齢になった 60 代の仲間はこの女子会が楽しみになり、話に華を添えているこの頃です。忙しい事に種をまいた根が今花を咲かせて、ご近所さんの和合があらわれてきました。するとお互いの家庭も解かり助け合いながら良い老後を迎えられると思います。老いてもお茶飲みにお互い声掛けてねとの合言葉を言っています。1 人になってもさみしくない老後にしたいです。生まれ育った所が一番安心と言える様に隣近所を大切に生きています。
60 歳代	南地区	職場が市外のため、地元の人達との関わりが少ない現状であり、深谷市の福祉活動もあまり出来ていません。アンケートに十分な回答ができなくて申し訳なく思います。深谷市の相談支援窓口が 8 つあったことを改めて認識しました。広報の読みが浅い事感じました。
60 歳代	深谷地区	昔と違い、隣近所との付き合いが無くなりつつあり、難しい問題である。自治会、長老会等で話をしても徹底が出来ず、各自治会の問題となっていると思われる。当自治会では「いきいきサロン、歌声サロン、映画鑑賞会、グランドゴルフ、カラオケクラブ、レククラブ、ゴルフクラブ」等の活動を通して参加を呼び掛けており、それぞれ 30～40 名の参加を得ており、今後も継続して参加を呼び掛けていきたい。又、祭り、納涼祭、独自開催の敬老会で参加を呼び掛けていきたい。問題は資金的なものであり、それぞれの会の申請により、いくらでも助成して頂ければと思います。老若男女との交流事業を通して、数多くの参加を呼び掛けるのも良いと思う。(行事、スポーツ、文化等)
60 歳代	南地区	顔と名前が一致する人を多くする。
60 歳代	深谷地区	みんなで挨拶できる街づくり。
60 歳代	豊里地区	近所の人との普段からのあいさつ(声かけ)が大切だと思います。
60 歳代	深谷地区	地域のネットワークづくりの強化が必要。
60 歳代	藤沢地区	近隣の人達とは、日頃からあいさつをしたり、ちょっとした会話をしたりして、お互いを知っておくと良いと思います。
60 歳代	深谷地区	人は、特に女の人にはうわさ話が大好き(特に人の困り事悩み事など人の不幸はみつの味的な事)な人が多すぎて、耳にするのもいやというか悲しくなる。近所とつきあうとそういう話を聞き出したがる人が多い。例えば、おばあさん元気とか、だんなさんは何してるとか、顔を会わせればうわさのねた探しをしていて、ろくな事はないのでつきあいを控えるようにしている。相談は近所の人には決してしてはいけません、なぜか広まるから。もし相談したければ地域と関わりのない人がいいと思います。
70 歳代以上	幡羅地区	自分ができる事、得意なこと(例えばパソコン、大工仕事、家電、テレビなどの設置、家具組立、剪定、話し相手等)を自治会、民生委員の方に登録しておいて、お互いに支え合う社会を作る。
70 歳代以上	幡羅地区	高齢者になると地域の人達との交流をさける傾向があります。出来るだけ交流の機会など(グランドゴルフなど)で、交流可能になる様に行政で働きかけてほしい。
70 歳代以上	花園地区	自治会ごとに防災訓練などして住民同士のコミュニケーション作り。問題を話し合い、困りごと話し合う場所作り。
70 歳代以上	深谷地区	高齢者達が気楽にいつでも集まれるような昔の縁側的な空間が欲しいです。世間話、家族の悩み、老後の不安など垣根を越えてフリー(自由)な感じでお茶飲んだり、ベンチに座りながら皆のリビングのような…そんな場所、みんな求めていると思う。
70 歳代以上	上柴地区	隣近所に交際がなく、連帯感があるとよいと思いながら溶け込めないでいます。おさそいをして頂けるとよいと思っています。地域のお祭りや運動会等ありますが、年寄りが出かけて行ってもと遠慮してしまいます。年配者向けの寄合いがあれば誘って下さるとありがたいです。

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	川本地区	私は卓球選手なので、卓球教室等開いて初心者に頭とからだを使い健康寿命を延ばす様手助けしたい。
70 歳代 以上	上柴地区	デイケアにいけない方も多いため、たとえば2ヶ月に1回くらいに1つの場所で話し(おしゃべり)、何か家にある食べ物持ちよりお茶をすとか、とにかく場所がほしい(ケアセンター以外の所)
70 歳代 以上	南地区	障害者と健常者が集える場所が必要。外套の設置(人気の少ない場所に設置希望)。
70 歳代 以上	花園地区	安全でいつでも気軽に歩ける散歩道の整備。健康維持の場、コミュニケーションの場、となるような!
70 歳代 以上	豊里地区	民生委員の活動が明らかでない。人選については、自分から手をあげて積極的に行動する。システムに変更する。サロンを開催し、地域の交流の場づくりが、何よりも大切である。定期的に会うチャンスがあれば元気を取り戻す。近所の人とのわからない多々あり。1か月に一度で良い。
70 歳代 以上	上柴地区	公民館を立派に作っても、足がなくて利用出来ない人が増えています。地域の中に来やすく、集まれるシステムと場所を作るべきです。
70 歳代 以上	藤沢地区	余っている畑など利用して、話し合いしたり仲間作りしたい。
70 歳代 以上	花園地区	なるべく何方にもあいさつ(気軽に)出来る自分で有りたいと思います。
70 歳代 以上	上柴地区	地域の活性化の第一歩は挨拶だと思う。大人も子供も他人でも会ったら挨拶。これが基本。学校でも自治会でも家庭でも「挨拶運動」いかがでしょう。
70 歳代 以上	上柴地区	私の自治会は、「いきいきサロン」がありましたが、2011年の地震を境に中止になりました。高齢者が集う場所が全然ありません。やはり自治会で立ち上げて下されば出来るだけ協力したいなあと思うのですが…。連日虐待について放送されています。心が痛みます。また、果たして自分の近くで同じ様な事件が起きた場合、個人としては何の対応も出来ないだろうと思いました。やはり公的な所に電話連絡しなければいけないと思います。やはり、適切な処理対応をしていただけるだろうかと心配しています。大切な子供達をみんな一緒に守っていく事が大事だと思いました。
70 歳代 以上	明戸地区	1.通学時の見守り。2.自治会の行事等、地域行事への参加で交流を深める。3.地域の人に合った時は、必ずあいさつをする。
70 歳代 以上	南地区	住んでいる地域の公民館の活動は沢山あるが、自分の要望に合ったサークルがなかなか無く(内容、時間等)、83歳の高齢者ですが、ひきこもりがちです。要支援以上でなければオレンジカフェなどへの参加も不可と聞いています。健康な高齢者が、継続的に参加出来るような事業を市の福祉政策として、実現(どこの地区でも)行っていただければと思います。今実施されている健康教室は、半年単位で終了すればそれきり、では何にもなりません。皆さんと交流し、楽しみながら続けられるとよいと思います。指導者への謝礼など、参加者が負担する方法でもよいのではないのでしょうか。すでにそういうことが実施されているのであれば、周知して下さい。
70 歳代 以上	深谷地区	自治会を中心に高齢者の健康・交流の場所を設けたらと思う。(軽度の要介護者をみる場が欲しいと思う)
-	-	年寄りの遊ぶ場所がほしい。もっと輪投げなどを多くしてほしい。

■見守りが必要な人への関わり方・アウトリーチ

年代	居住地区	内容
20 歳代	幡羅地区	地域で少しでも心配になった事を相談できる場所や人を増やしてもらえたら良いと思う。もう少し身近な民生委員さんと相談しやすいのかな。簡単に言えば幼稚園の先生や、病院の先生など、何か困った事があるか聞いてくれたり、何か手伝う事が出来るかを聞いてくれる人がいてくれたらいい。現実的には難しくても、「一人で悩まないで相談」などのポスターも人目にとまれば利用したり、何かを思いとどまったりすると思う。
30 歳代	南地区	仕事で孤独死の対応を最近しました。(不動産業のため。)老人の一人暮らしが増えているので、見守りの必要性を感じました。近所の人たちで安否確認をする活動があると良いと思います。生活保護から家賃補助をもらうためにダミーで賃貸物件を借りる人がいます。本当に支援が必要な方に税金は使って欲しいです。
40 歳代	藤沢地区	民生委員がどうして選ばれるのかわからない。
40 歳代	上柴地区	情報の共有化の為に、情報インフラの整備。テレビをネットに繋ぐ→市役所とも繋ぐ→安否確認。
40 歳代	岡部地区	近所の民生委員さんは、口が軽いので、すぐに広まってしまう。自分の家の相談は絶対にしたくないです。行政や専門機関に相談しやすいようにしてもらいたいです。近所の人で、1 人暮らしの方がいるのですが、地域の行事など一切参加せず、村八分状態です。大人の世界でそういうことがあるという事は恥ずかしい事であり、無くせるように努力していきたいと思います。無理に誘うと困っているの、それもまた難しいです。
50 歳代	深谷地区	個人情報取り扱いを緩めて必要な情報を共有することが必要。
50 歳代	八基地区	個人情報の保護により地元で支援を必要とされている方が把握できない。民生委員の方や自治役員の方々は把握していると思われませんが、小範囲の地域内であれば、情報を共有できればもっと力になれることいっぱいあると思われれます。
50 歳代	南地区	困っていることの内容がわからないので、回覧板等でその内容を把握できると良いと思う。具体的に困っていることがあったら、その場合はどこに相談したらよいか簡単にわかると思う。人間的に成熟した人に対応してもらいたいです。
50 歳代	幡羅地区	ご近所には老夫婦でお住いの家があり、身体が不自由だったりするので、何かあったら言って下さいとは声をかけています。お買い物やゴミ出し等なら、仕事をしながらでもお手伝いできると思っています。
50 歳代	深谷地区	困っている方々の情報をたくさんの方が共有することが大切なのではないのでしょうか？そうでないと、気にかけてり、手助けしてあげる事も出来ないと思います。
60 歳代	岡部地区	地域の中で困っている人、助けを求めている人の情報がよりよく共有されていないため、具体的な支援方法がわからない。情報の共有の場をつくる方法を検討していただき、民生委員を先頭に具体的な支援計画を策定してはいかがでしょうか。
60 歳代	川本地区	困っている人や困り事があってもなかなか外に発信出来ない事もあったり、何処に相談したらいいかなど、家族で解決出来る場合などは良いが、解決、相談する所など無い人達もいると思います。自治会での会長、班長、民生委員、児童委員のさらなる見守りが大切であると思います。
70 歳代以上	大寄地区	民生委員に厄介になっている者ですが、月 1 どの自宅訪問ではなく 2~3 回と来て、確認してほしいと思います。
70 歳代以上	深谷地区	民生委員とは何ですか。仲間内だけで行動する組織ですか。民生委員は必要ない物なのでは。何も市民の為になっていません。友達、仲間の集まりだけです。情報も相談も何もできません。こんな人を民生委員にしているようでは民生委員を選ぶ基本は何なのですか。疑われますね。
70 歳代以上	藤沢地区	誰にも声をかけてもらえない人を見ると、もう次には出てこなくなると思います。(問 34)には関係ないことですが、戦時中、戦後か忘れたけど、教科書が大きな紙で配られ、自分で切り、ページを揃え、糸で綴じました。ザラ紙なので、ワラゴミを取ったら下の文字が見えなくなる教科書も使いました。

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	川本地区	小学生、中学生が一人もいない(隣組内に)。施設に入居している方(2軒)が、家で一人の生活の人が増えてきた。デイサービス週数回お世話になっている家もある(送迎あり)。家族葬が増えてきた。現在の状況です。自治会行政の担当の方(民生委員?)いろいろ見守って欲しいと思います。
70 歳代 以上	深谷地区	高齢者で一人住まいの方や、老々介護等の家庭に対する取り組みについて、社会福祉協議会、民生委員、町内会長、班長さんと上記介護者家庭の要介護情報の共有化と、その町内の要介護者の見廻り活動訪問者を選出し協力をお願いする。プライバシーの保護や個人情報保護法等、難しい点も有ると思いますが、支援を必要とされる方への活動を取り組み、地域、住民として明るく、健やかな地域住民同士で解決する。地域見守り活動者に年1回程度、粗品を市役所よりお渡しする。
70 歳代 以上	上柴地区	各自治会単位で強力な見守り隊を作る。そして見守り行動計画を作り、実施報告書も作るなど、しっかりした組織で動くようにする。今の情勢では、このような形などを自主的に作り上げるのは難しい気がする。やむを得ないが、市の強力なバックアップは欠かせない。自治会長や民生委員などを中核とした見守り隊として、市からへ補助金と指導は欠かせない。
70 歳代 以上	深谷地区	一人住まいの高齢者が多くなって、家で閉じこもりの人が多いので、声掛け仲間作りをして、常に人の目が行き届き、孤独な老人にならないようにしてほしいと思います。一人住まいの人に定期的に訪問をして、安否を確かめる、話し相手となる人がいたら良いと思います。
70 歳代 以上	上柴地区	ご近所での一人生活の方や体の不自由な方々の声掛けですが…、家の中をみられるといやがる人、又は民生委員の仕事、口を出さない方が良いと聞きました。年を取ると他人様に迷惑を掛けたくない気持ちが強くなるのでつい家にこもってしまうのではと思います。気軽に寄りあえるとうれしいです。以前食事サービスに参加させて頂きましたが、お年寄りの方が待っていて下さって、伺う方も楽しみでした。
70 歳代 以上	幡羅地区	孤立している家庭。何らかの事で困窮している家庭。家族の中に「いじめ」「虐待」を受けている家庭への対策、解決には、法がどうだからとか、プライバシーがどうだから等、表向きな事ばかりで逃げずに、もっとその家庭に踏み込んで頂きたい。
70 歳代 以上	岡部地区	民生委員の方々自治体を通して公民館 or 自治会館に於いて現在活動報告や生の声を聞かせてください。
70 歳代 以上	明戸地区	民生委員の仕事は、何をしているかわかりません。細かな内容を伝えてほしいです。パンフレット又は回覧が来るだけでは、何の意味もわからない。細かい説明もほしいです。
70 歳代 以上	深谷地区	1.民生委員との連絡を取った方が良いと思います。2.市の方でも勉強していると思います。
70 歳代 以上	幡羅地区	”お父さんに暴力を受けています…どうにかできませんか”千葉で 10 才の子供が SOS を出しているにもかかわらず、幼い命が途絶えました。ニュースを見るたびにいたたまれず涙します。良識ある大勢の大人が何故助けてあげられなかったのか悔やまれます。転居の問題で共有のパイプが薄れ、児童相談所が多くの問題を一人何十件と抱え手が回らないと言い逃れする前に命を懸けてやって下さい。児相だけでは無く、学校、教育委員会、警察、自治体、民生委員、近所の人達が太いパイプで共有して他人任せにしないでください。児童虐待の事件は氷山の一角です。広島で前に同じ様な事件があり、今では官公民一体となり太いパイプを築き上げたというニュースは聞いています。深谷市内から絶対に出さない様な取り組みをし、全国に発信して下さい。私は協力は惜しみません。力の限り協力します。宜しくお願いします。

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	上柴地区	私の自治会は、「いきいきサロン」がりましたが、2011 年の地震を境に中止になりました。高齢者が集う場所が全然ありません。やはり自治会で立ち上げて下されば出来るだけ協力したいなあと思うのですが…。連日虐待について放送されています。心が痛みます。また、果たして自分の近くで同じ様な事件が起きた場合、個人としては何の対応も出来ないだろうと思いました。やはり公的な所に電話連絡しなければいけないと思います。やはり、適切な処理対応をしていただけるだろうか心配しています。大切な子供達をみんな一緒に守っていく事が大事だと思いました。
70 歳代 以上	川本地区	前日、毎日の様に報道されている子供の暴力には心がいたむ。この両親は親でもない。児童相談所、学校、教育委員会、“警察”を入れて対策に努めてもらいたい。

■支え合いの意識醸成

年代	居住地区	内容
40 歳代	上柴地区	理想は互助の精神が良いだろうが、戦後の教育が個人主義、個人の人権に主眼をおいてきすぎたキラキがあり、協調を広めるのは、もっと子供の教育の時からやっつけていかないと、なかなか根付かないと思う。戦前とまでは行かないまでも、人のためにとか、思いやり、人さまには迷惑を絶対にかけない等の事をもっと教育していかないと、わがままな人が増えるばかりである。権利を主張ばかりする社会では、互助は生まれれないと思う。
40 歳代	深谷地区	それぞれの地域によって、付き合い方がちがうので何とも言えませんが、密になりすぎてトラブルになるのかな？と不安に思います。1 人暮らしの高齢者の見守りはとても大切だと思いますので、何かしてあげられる事があるなら、してあげたいけど、情報が無いので全く分かりません。
50 歳代	豊里地区	以前、停電が起きた時に久しぶりに長く一時間程度電気がつくまで暗く大変でした。最近、電話が通じないのでスマートホンを持たない限り情報を得ることが出来ないの、一人暮らしの高齢者はこのようなときは不安感でいっぱいになってしまうだろうと感じた。何かこのような時に地域で助け合うことが出来るようになれば良いと思う。また、台風などの災害が予想されるような時も、地域で対策を呼びかけるようなことが必要なのではないかと思う。日頃から少しずつ助け合うような習慣作りも必要だと思う。自分のできる技術を提供するようなことが出来るようにする必要もあると思う。
50 歳代	深谷地区	小学校区に一つの地域支援センターの設置を行う(地域の災害弱者の把握、1 人在宅の家庭の把握、在宅ポットの活用、こども食堂)。地域活動日を企業に義務付け(年に 1 回、地域活動をする有給休暇を作る、社員全員が取得活動している企業には、補助金を与える)。
60 歳代	岡部地区	他人への思いやり。
60 歳代	明戸地区	大変お世話になります。地域によって支え合う事が違って来るのではないかと思います、一人ひとりの心の持ち方だと思います。今行っている行動が続けられる様に頑張りたいです。朝の児童見守り、朝散歩はとてもよいです。
60 歳代	藤沢地区	あいさつの出来ない人が多くなっている(特に年金の高い方)。道路を汚しても平気である人。色々あるがまずは地域の人々があいさつができ、ゴミ収集箱の所をきれいにする。ささいなことを皆ができるようにする事が大切だと思います。
60 歳代	岡部地区	今、個人の考えが個人主義で、自分が良ければという考えが増え他人に対する思いやりが薄らいでいる。ルールも守れない。例として、ゴミ収集場所を除いても色々規格外量をゴミ出しにする。そんな処でも、支え合う気持ち薄らいでいることにつながっている。地域としては、住民のふれあいの場所、何でも良いと思う。共同作業、(排水溝の清掃、グランドゴルフ等)スポーツを通じ他、などの積極的に団体行動を進めてみたい。費用が掛かれば市にお願いしたい。
60 歳代	岡部地区	年をとるとわがままな人が多くなる(両極になる)ので、みんなですべて難しい。いろいろな活動するに当り、リーダーの養成が必要。地域のリーダーは、オイ、コラタイプが多い。啓蒙活動が必要ですね。
60 歳代	深谷地区	皆で声を掛け合って助け合いをする。

年代	居住地区	内容
60 歳代	川本地区	アンケートに答えながら頭では共助の必要を強く思いながら個人的には自助だけにとどまっている自分の姿を感じました。どのように行動を起こしていくかが自分にとって大切な事だと思えます。
60 歳代	上柴地区	ひとつの意見。みんなで助け合い、支え合う地域をつくることについては異議はありません。特に高齢で住んでいる方々は、ご近所や自治会に頼る面も多々あると思えます。どのように支えあえる地域を作っていくかについては、いろいろ課題が多いのも事実です。まず、みんなで助け合い、支えあう地域であることのメリットとして一番大きく、目に見える形なのが、台風・地震などの災害発生時ですが、幸いにして深谷市の地域は災害はいつ降りかかってくるかは判らないので日頃の準備が必要と思えますが、やはり、私も深谷市に暮らして 20 数年経ちますが、災害というものにあっていませんので、防災ということでは意識が他の地域と比べ低いかもしれません。この地域に住んでいる方は全体的にどうでしょうか？どのように支えあえる繋がりを作っていくかは、意識レベルの向上が必要。手段として、自治会でのイベント等もありますが、参加を強制できることではないので、イベントなどの実施の目的・意義などをまず判ってもらうための、啓蒙活動がもっと必要なのではと思います。
70 歳代以上	深谷地区	その地域の円のネットワークを作り、共存することが良いと感じます。
70 歳代以上	幡羅地区	1.助け合い支え合う地域づくり。自治会単位の役員や民生委員だけが情報共有していても、いざという時に有効に活用できないと思う。いざという時は向こう三軒両隣が助け合うことが基本だと思う隣近所の助け合いができるよう、啓蒙し、醸成していくことが、肝要であり、ボトムアップで動けるようなネットワーク組織作りが必要と思う。2.防災組織について。防災マップ等配布されているが、避難について、誰の指揮の下に行動すればよいか、良く見えない。軍隊組織のように機動的な機能階層を明示した組織図を公表した方がいい。
70 歳代以上	深谷地区	住民(近所)中学生、人にあつたら「あいさつ」のできる人になってもらいたいと思います。こちらから中学生に「こんにちは」と言葉かけしても絶対といっていいくらいいしませんね。
70 歳代以上	花園地区	私の地域では自治会の下に班があります。班は 15～20 の軒位が 1 つの班になっています。冠婚葬祭には関わっていますので班内の家族数はほとんど分かっています。又花見や忘年会などイベントを行い、近所の絆を強めることで、いざという時には協力して助け合えると思えます。
70 歳代以上	上柴地区	1.気づいた事はできるだけ周囲の人に協力してもらって解決しましょう。2.たとえば、公園の落ち葉が一部集まってしまうこと。自分の家の前だけでなく、声掛けをして周囲を二三軒広げるだけでも、業者が大きな木を切ってやりっぱなしにしている事も多々あります。風が強くなると一部に集まってしまうのです。
70 歳代以上	岡部地区	自治会民生委員等の支援によって住み良い地域にしていきたい。それには住民に声をかける事が重要です。
70 歳代以上	岡部地区	政策福祉課で実施している 2 年に一回の「地域支え合い仕組づくり」を一年に一回でお願いしたい。なぜならば、自治会長が一年で変わるケースが多く、「仕組づくり」が進展していない。自治会、民生委員、老人会などの協力が不可欠である。本腰を入れてやるではありませんか。高齢者が益々増え、支えを必要とする人々が大量に居る。災害や地震などに対応するために。
70 歳代以上	川本地区	学校などで若い方々が地域の助け合い支えあいを教育の中で考え役立ててほしいです。

■防犯・防災

年代	居住地区	内容
40 歳代	川本地区	定期的に災害に対する避難訓練など何らかの地域全体で参加実態を把握。地域の繋がりを確認し個別に事情を分析する。

年代	居住地区	内容
40 歳代	八基地区	私達の住んでいる地域は災害があまりありませんが、いざという時どうして良いかわからないので、年一回でもそういう訓練は必要だと思う。
50 歳代	深谷地区	防犯、何とかしてほしい。放送はされるけど、犯人確保した情報は届いていない。そこらへんのごそどろ、自転車泥棒も捕まえられないから、弱者の市民呼び止めて尋問するくらいなら 24 時間きっちりパトロールして市民の役に立つようポリスに言いたい。本当税金ムダ使いしやがってよ。
50 歳代	南地区	子供達の安全、登校・下校時の見守り、歩道の整備、夜中のパトカーなどの見回りなど、危機管理の推進など生活上の安全対策。
60 歳代	川本地区	災害時における協同等のリーダー的な人材を育成するなど自治会とは別に準備する。
60 歳代	上柴地区	ひとつの意見。みんなで助け合い、支え合う地域をつくることについては異議はありません。特に高齢で住んでいる方々は、ご近所や自治会に頼る面も多々あると思います。どのように支えあえる地域を作っていくかについては、いろいろ課題が多いのも事実です。まず、みんなで助け合い、支えあう地域であることのメリットとして一番大きく、目に見える形なのが、台風・地震などの災害発生時ですが、幸いにして深谷市の地域は災害はいつ降りかかってくるかは判らないので日ごろの準備が必要だと思いますが、やはり、私も深谷市に暮らして 20 数年経ちますが、災害というものにあっていませんので、防災ということでは意識が他の地域と比べ低いかもしれません。この地域に住んでいる方は全体的にどうでしょうか？どのように支えあえる繋がりを作っていくかは、意識レベルの向上が必要。手段として、自治会でのイベント等もありますが、参加を強制できることではないので、イベントなどの実施の目的・意義などをまず判ってもらうための、啓蒙活動がもっと必要なのではと思います。
60 歳代	川本地区	小学校下校時の見守り隊の方には、日頃感謝をしています。時々見かけるなかで、ただ立っただけで、あまり注意が行き届いていないのではと思う場面を見かけます。あまり高齢の方をお願いするより、時間がある方にボランティアを募るのも良いのではと思います。
60 歳代	深谷地区	例えば、被災地でのテント村の在り方等、プロの指導で環境が全く違う様です。良い地域の指導者を参考にして、より良い深谷を目指して下さい。
70 歳代 以上	上柴地区	災害発生時、避難場所までの交通手段が無い。
70 歳代 以上	川本地区	29 年 11 月 26 日、自治会主催、防災ビデオ学習と炊き出し訓練、山形芋煮、カレーチキンライス。守る命、広める防災、風水害、台風、豪雨、竜巻等学ぶ。地震対策、大声を出し続けるのは大変。物をたたいて音で知らせる。家具類等ストッパーする。30 年 8 月 5 日、自治会主催いきいきサロン、納涼祭。手作り風流な竹細工で流しそうめん、カレー、かき氷、とうもろこし。目隠した子供達のスイカ割り、午後はカラオケ、輪投げ、話題豊富。30 年 11 月 25 日、環境美化の推進、駐在所の警察官より空き巣、架空請求詐欺等の注意を頂きました。自分の命は自分達で守る。
70 歳代 以上	花園地区	自治会ごとに防災訓練などして住民同士のコミュニケーション作り。問題を話し合い、困りごと話し合う場所作り。
70 歳代 以上	幡羅地区	1.助け合い支え合う地域づくり。自治会単位の役員や民生委員だけが情報共有していても、いざという時に有効に活用できないと思う。いざという時は向こう三軒両隣が助け合うことが基本だと思う隣近所の助け合いができるよう、啓蒙し、醸成していくことが、肝要であり、ボトムアップで動けるようなネットワーク組織作りが必要と思う。2.防災組織について。防災マップ等配布されているが、避難について、誰の指揮の下に行動すればよいか、良く見えない。軍隊組織のように機動的な機能階層を明示した組織図を公表した方がいい。
70 歳代 以上	幡羅地区	一昨年の 7 月、日中近所で火事があり、1 人の人がお亡くなりになり悲しい事でした。しかし近所の人、自分もその人が住んでいたのを知らなかったです。考えさせられる出来事でした。この様なことがない様、災害マップ等お願いしたいと思います。

■市役所や社会福祉協議会へのご意見

年代	居住地区	内容
60 歳代	岡部地区	60 才以上で退職し家で何もする事がなく遊んでいる人が沢山いて、手助けしたくてもできない状態の人がいます。こういう人達も協力依頼されるのを待っている気がします。私もその一人です。パートしながら空いた時間、市の為に何か役に立ちたい。町で統計をとり、民生委員の人達だけに頼らず自身にだれでも手助けできるようにできないものか。地域の交流をもっとしてほしい。隣組役員の人とかにお願いし(回覧板配る時)とかを利用し、ボランティア出来る人等を募り、それで出来る人達に集まって頂き、何が出来るかその人にあつたお手伝いをしてもらう。個人情報的なのは民生委員の人に頼み、ゴミ出し等だれでもできるお手伝いをしてあげたり…。
60 歳代	南地区	現在、少し体を動かしてもすぐに痛みが出る。家で掃除するのに数分間ほうきで掃いたり、掃除機をかけるだけでも腰に重い痛みが出る。なので、体を使うボランティアや地域活動参加は無理と思う。しかし、社会に貢献したい気持ちはあるので、ペットボトルのキャップを公民館へ持っていったり、古切手を集めたりして少しでも役に立ちたいと思っている。そういう消極的(?)な活動方法も周知するようにしてほしい。10 年以上前桜ヶ丘小学校で缶のプルタブを集める活動があつたような気がするが、現在はどうしているのか? 知りたい。その活動を知ってからプルタブを集めてあるのだが…。
60 歳代	南地区	私は今、高齢の母親の面倒を見ていて、ボランティアなど無理な状態ですが、いずれは他人のお子さんの面倒やリサイクル活動などが出来たら…と思っています。体力の維持につとめています。
60 歳代	八基地区	社会福祉協議会の存在は中途半端に過ぎる。立ち位置をはっきりさせて目に見える活動をすべきではないか。
70 歳代以上	幡羅地区	自分でできると思うこと。高齢者の方々の話し相手。家事、買い物等の代行。病院への付き添い。
70 歳代以上	幡羅地区	自治会の広報等で社会福祉協議会のメンバーを明確にすべきだ。
70 歳代以上	上柴地区	行政と地域住民との連携を望む。
70 歳代以上	深谷地区	役所はアンケートを見て、行動を起こして下さい。

■自分にできること

年代	居住地区	内容
60 歳代	深谷地区	私はややこしい病と闘っています。季節、日によって体調は変わりますが、調子よい時は何か役にたてたらいいなと思っています(自分のできることで誰かのためになれたらいいな)。地域の人たちが集い、世間話の中で、何か知りえることもあると思うので、そんな場所が身近にあつたらいいですね。近所にどんな人が住んでいるのかもわからないので、通院、買い物、デイサービス以外は出歩きません。家でテレビを見て過ごしています。不要になった使えるものを、ゴミとして出す前に必要としている貧困な人ゆずっていただけたらいいですね。
60 歳代	上柴地区	ご近所にも一人暮らしの高齢者が増えてきています。ゴミだし、雪かき、家の前の道路の掃除、買い物の手助けとか、あまり負担を感じないでお手伝いできそうですが、助けてもらう方も気兼ねしないで手伝いを頼めるような仕組みがあるといいのにと思います。
70 歳代以上	深谷地区	今は個人情報とかあるので、見たり聞いたりしてわかっていても手をさしのべたり、口をはさんだり、出来ない事情も有ります。今、2 人で元気なので、余り深く考えた事ないので、これからは自分でも迷惑かけない様に気を付けたいものです。
70 歳代以上	藤沢地区	家のまわりのゴミひろい位です。あとはゲートボールを週 3 日午前中楽しんでます。
70 歳代以上	岡部地区	アリオには毎日、先輩の方達が来ておりますので、センターコートに情報を伝える機会を設けられればと思います。

年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	岡部地区	我家は今の所直接、福祉や民生関係のお世話になっていないので仕事の内容等は理解しておりませんが将来に備えて、又、今現在困っている人達にささやかな協力はしていきたいと思う。
70 歳代 以上	藤沢地区	何事をするにも資金が必要になると思うので、無理の無い、苦にならない資金集めを考える。

■交流の場における参加者の減少・固定化

年代	居住地区	内容
30 歳代	幡羅地区	若年層は地域で何をやっているか、どんな活動団体があるのか等わかっていない人が多いと思います。市広報等を増やして今何をやっているか、どんなことが必要なのかの共有を図っていくことがまずやるべきことだと思慮します。自分の生活しか考えておらず、近所の人にもあいさつをしない、他のことに関心がないといった方が多いと感じます。アイデアではありませんが、そのことを解決していくことが必要だと感じます。
60 歳代	明戸地区	いきいきサロンが行われていますが、参加者が少ないので、もっと大勢の人が参加することを希望します。もっと住民同士の会話が進むと思います。
60 歳代	藤沢地区	今後も、健康でいられる様にしたいので(現在1人暮らし)活動の場を広げてほしい。料理教室・味噌作りなど、グループがすでにできているし、申し込む時3人1グループでの申し込みますと、謳っているので1人参加で行き、来てはまずかったかなと感じた時がありました。
70 歳代 以上	岡部地区	現在、70代2人住まいで感じる事、たとえば隣組のくばり物、神社の役員、農事の役員、若い時は普通に出来た事が難しくなってきます。そんな事が始まりで近所のつきあいでも孤立したりします。配り物も郵送にしたりとか、必要としない物は配らないとか、同じ物を配るのでしたら一式回覧板が良いと思います。紙料もごみですから、配り物での情報は限られて居ると思います。組合の役員さんが配らなければならない物はない方が良いと思います。配り物だけだからといって役員は無理だと思います。まずは目先の事から役員一つ役にもろもろ付いて来る仕事を考えて頂きたいです。最後に人の世話にならない様にしたいですね。身近な近所から協力出来る事もあると思いますので。
70 歳代 以上	豊里地区	今の社会は各自治会に新しく入会をしても自治会の事業、その他の行事にも協力をしてくれない人が多い。隣近所のふれあいが無い。自己主義である人が多い。
70 歳代 以上	花園地区	私の地域の事ですが、私もいろいろな役をさせて頂いております。最近では、皆様のボランティアへの意識がなくなり、無責任な人が多くなっておりまして。行政や専門機関等で積極的にボランティアへの参加を啓発して頂ければ幸いです。

■世代間の交流

年代	居住地区	内容
20 歳代	川本地区	子供が老人をサポートしてくれる団体、行政を作って欲しい。(経済面、生活面)で手助けして欲しい。
20 歳代	深谷地区	地域の行事、自治会に参加していますが、高齢者の方が先頭に立つてくれるのは助かります。ですが、出すぎて意見を言うと怒られ、若い人が参加できない、参加したくなくなる。
30 歳代	上柴地区	高齢者のお茶会や高齢者と子供達のふれあい等で、高齢者達が元気になっていけば自然と活気のある地域になって行く気もする。
70 歳代 以上	川本地区	各地域の人達が気軽にちよくちよく集まり楽しく話し合い、若い人達と年寄りがいっしょになって話し合いの時間を数多くつくり、親子関係等を楽しめるものにしていくような努力がほしい。昔と違って親子関係が非常に悪い家が非常に多くなっている。昔の方が良かったと言う老人が多い。

■少子化対策

年代	居住地区	内容
30 歳代	上柴地区	何をやるにしても結局資金がないとできないことなので、その資金はどこからどう集め、どう還元しているのか明確にする必要があるように思います。また、低所得者に対しての支援体制をどうするのかを考えないとこの先少子化はどんどん進んでいくことでしょう。もはや政府は当てにならない、県も当てにならないので、市町村単位で子育て支援をしていかなくてはならないように感じます。まあ、そうなると結局は資金が足りないという悪循環は起こりそうな気がします。ただ、市の職員の不正だけはしないようにしていただきたいと思います。
50 歳代	川本地区	税金の使い方、建物への投資でなく「人」への投資。子供に投資しないと将来が不安。子供への投資が少ない為親が苦勞しているのでは？
60 歳代	岡部地区	子供達を安心して育てられるように良い市になればと思います。
70 歳代 以上	川本地区	小学生、中学生が一人もいない(隣組内に)。施設に入居してる方(2軒)が、家で一人の生活の人が増えてきた。デイサービス週数回お世話になっている家もある(送迎あり)。家族葬が増えてきた。現在の状況です。自治会行政の担当の方(民生委員?)いろいろ見守って欲しいと思います。

■地域活動の担い手

年代	居住地区	内容
40 歳代	南地区	共働き世帯が多いこの時代、PTA 活動を負担に思っている人が多いと思います。もう少し内容を軽く、必要最低限か、地域ボランティアを募って協力してもらい、もしくは報酬を出すなどしたら良いと思います。深谷市の活気が年々なくなっているように思います。もっと若い人向けのイベントや若い人がやっている事業などを応援する取り組みに力を入れて欲しいです。市内に人はもちろん、市外、県外の人にも興味をもって来て、深谷市に来てくれるようなイベントがあると良いです(渋谷のハロウィン最低ですが、川崎市のハロウィンは統制がとれていて成功だと思えます。あと高崎市がやっている商店街活性の取り組みもとても興味深いので、調べてみたらいかがでしょうか)。
70 歳代 以上	花園地区	私はふれあいサロンを 11 年目に入り、ボランティアさん地域の皆様の協力のもとで行って来ています。ですが高齢者の方々がだんだん減り、若い人達が入って来てくれず大変困っている次第です。これをどう解決していくか、自治会長さん達に相談をしているのですが…、回覧板を回して参加を呼びかけていますが…、昔からの力のある方々がいなくなり、新興住宅が増え新しい人達に声をかけ合って多くの人達の参加を頼って努力をして、地域の皆さんと仲良く出来たら幸せに思います。これからも頑張っていきます。
70 歳代 以上	幡羅地区	現在病気で家族が通院している。特に感じる事は老々介護の多い事です。以前は院内介助はヘルパーさんも介護の中で可能でしたが、今は難しい。高齢な方が車椅子を押す姿は大変な事です。特に大きな深谷赤十字病院内などに院内介助のボランティアが居てくれれば有難いと思うのです。深谷市では高齢者の健康増進に力を入れています。その健康をボランティアにつなげる方策はありませんか。福祉従事者が足りない昨今、“使えない、使わない”ではなく、元気高齢者にでも出来る事が沢山あります。協同講座など、関心を広めてください。大きな力になりませんか。
70 歳代 以上	岡部地区	民生委員や社会福祉ボランティアを選任する際は、ある程度の教養(少なくとも、法律や規則等の解釈が出来る程度)を保持している人を任命しています。

■課題解決の仕組みづくり

年代	居住地区	内容
40 歳代	南地区	行政側と民間企業が協力して支え合うチーム活動を作ってもいいのではと思う。
50 歳代	岡部地区	旗を振る中立的な立場で、リーダー的な存在としての公人を育ててもらいたい。地域で取り組むとしても、十人十色でさまざまな考えを持つ人がいるのが現実なので、旗振り公平人や窓口は必要。

年代	居住地区	内容
50 歳代	深谷地区	インターネットとかで意見を募るとか。ボランティアの募集や催事の情報をホームページにのせる。だれでも気軽に出来る様に工夫する。年に 1 回でも自分のできることをできる様に。個人的にお手伝いする場合、セキュリティの問題もある。

■自治会のあり方・運営・存続

年代	居住地区	内容
60 歳代	上柴地区	自治会活動の見直し。私も次の班長が回って来る頃には 80 歳を超えています。皆不安に思っている。特に子供達が自立して家には居なく、次の班長をやることができない人たちも多いと思う。特に体育祭などは、若い人に任せられないか、何でも班長が先頭に立たなければいけないのか？自治会を見直す時期に来ているのではないかと、班長の定年制といったことも考えていいのではないかと？年寄りに優しい自治会活動にしてもらいたい。その為に、行政があるのではないかと、自治会費を納めて、苦しい班長業務をさせていいのか？今のやり方だと、今後、自治会に入会しない人が増えるだけだと思う。
60 歳代	明戸地区	自治会等、役員制のイノベーション。(寺社の管理等)費用対効果が役員に見えない。→行政直営へ変える(市+県+国)がやる。
70 歳代 以上	幡羅地区	自治会の各班の中でチームワークがバラバラでルール等が守られず、班内のコミュニケーションが不足と思われる所有り。自治会内に活性化を進める為に、支援者を選び問題解決して行く事も必要かと思う。

■農業振興

年代	居住地区	内容
50 歳代	豊里地区	答えとしてはズレてしまいますが…考えれば考える程、不安になります。この地域は何も無さすぎます。商業的な物は NG な地域だとしても、高齢者になり免許返納。近所の家でも子ども達は出ているのが多く、買い物とかはどうすれば…。市議の方って皆町中の住人ですか？この地域だけでなく大きな深谷には同じ様な所が在るとは思います。ネギ頭のふっかちゃんて本当においしい農作物をブランド化するとか、深谷の中でも地域によって、ネギだとしたら太くて甘いのが、棒のように少しかたいのとか…トウモロコシやブロッコリーが有名な地域、花、きゅうり…本当に良いものにふっかちゃんご協力ください。支離滅裂ですいません。
70 歳代 以上	大寄地区	1.全国的に農業者の人口減が危機的状況にある。大寄地区でも農業者の高齢化と未婚者等により、廃業と農地の荒廃は目前に迫っている。国政の無策、国民の無関心により、将来の食糧事情が悪化すると思われるので、農業後継者の確保を喫緊の課題として取り上げること。2.金をかけて農業施設の AI による栽培、農業機械の無人化等に根本的な対策を講じて立て直しを図ること。
-	-	空いている畑を活用したい。

■その他

年代	居住地区	内容
20 歳代	上柴地区	若者の景気が悪い！若い人達がお金を使う！
20 歳代	明戸地区	深谷の自慢できることをつくること。
30 歳代	深谷地区	出産し、子育てをするなかで毎日毎日本当に大変だなと思うことばかりです。仕事復帰を予定していますが、子育てしやすい環境が整っているといいなと思います、何が不満というのは特にまだありませんが、2 歳 3 歳からでも保育園に入れるか、兄弟ができて同じ園には入れるか…などの心配があります。ずっと深谷市で生活していますが、子供ができて、より子育てしやすい深谷市であってほしいなと願います。税金はみんなのために使ってください。

年代	居住地区	内容
30 歳代	川本地区	共働きの為、できることが少ない。支え合う地域は大切とは思いますが、共働きで時間が取れない人のことも考慮してもらいたい。
40 歳代	幡羅地区	今の日本は助け合いが必要だと思われるのが昔のように気を使って声をかけると、とても嫌がられる。なので個人のことについては、あまり干渉しない方が良いと思います。何かをしてあげたいと思っても、相手には有難迷惑になっていることが多く、自分もあまり干渉して欲しくない方である。何か助けてほしい事があるのであれば、個人で考えれば良い(相談窓口や友人等)と思う。その前に仕事が大変なので、何も考えたくありませんので今は仕事!
40 歳代	上柴地区	高齢の方の活躍の場づくり。
50 歳代	南地区	昨今問題となっている虐待やいじめ、高校教師の体罰、生徒のあり方など子供達のが取りざたされていて、心が痛みます。子供達が心豊かに明るく笑顔で暮らせる市を目指してほしいです。
50 歳代	川本地区	不公平感を無くす取組。
50 歳代	明戸地区	以前は学校支援のボランティアで、花壇の花植や草取りに参加していましたが、市外に住んでる両親が高齢になり、生活の手助けで通うことが多くなってからは、学校支援のお手伝いにも行けなくなりました。私が出来る事は…といろいろ考えましたが難しいです。
50 歳代	藤沢地区	散歩をしている時に不審者らしい人、見かけない自動車(ナンバー)には注意していつでも警察に電話できるよう心がけている。
50 歳代	深谷地区	テストでも社会でも買い物でもプライベートでも人をけおとしたい理由だ。心の中でいつも思っていて表には出ないだけさ。テレビ番組でアンケートしてるけど、私は一度も参加 0。よって政府のアンケートであり、あんなの信じた事 1 度もなし。役所が自分の都合のいいようにやってる。仕事はしないが金が入ってくる。今の日本がこんなに悪くなったのは人の事への無関心が第一。政治家が本音を言ったらクビになる。麻生がその見本(口がへの字野郎)。拉致であれ安倍には解決できない、する理由ないだろう(人事なんだから)。深谷には渋沢栄一翁という見本がいる。見本がいる政治家には期待しないけど良い事はマネしていいと思う。すると日本が変わる、世界も変わる。日本人は金は欲しいが人の為に力を入れるより自分の利益中心で、これから日本はもっと悪くなる。10%良くなるというのは偽装かくしている事がもっとあって国民は知らないだけで、晋三早く辞める。国の事を思うなら、金ではない、得する事しない、あらず事じゃない。いじめや自殺はなくなる、学校には犯人がいて家庭では良い子、自分の思う通りにならないと人のせいにする社会って所はそんな所。日本は良くなりません、欲がある限り。良くしたいなら晋三が首相を辞めてから後かわる、進次郎によって。深谷を良くしたいなら渋沢翁を見習うべき。市長にそれが出来るかな。今後 5、10 年で深谷が日本の見本となるような行政をするなら期待するが、人の為日本の為になる事、それには欲をすて深谷の声を多く聞くこと、無に近いけど。旧道を良くしたり駅周辺を良くしたり、深谷に行きたい、行こうよ、と思える町づくり。私にお金があったら全部出して老人たちが 1 日楽しく過ごせる家をつくり無料で。いじめられている人は図書館に行って勉強しろよと、働けるのに働けない人の生活保護は×。
60 歳代	明戸地区	人間のことだけでは無く、ノラネコが大変増えています。他の市町村ではボランティア活動でノラネコの去勢・避妊手術してノラネコを増やさないように地域で取り組んでいます。深谷市もノラネコのいたずらでこまっている市民の声を聞き殺処分が無い地域にして不幸なノラネコを無くして欲しいと思います。埼玉では上尾の堀動物病院がオスもメスも一匹 5,400 円で手術してくれます。深谷市で是非取り組んでもらいたいと願っています。
60 歳代	深谷地区	アンケートを無作為で選んでいます、私より日頃から積極的に発言している人達の方を対象者として抽出してください(特に近所の嫌われ者、自治会で文句しか言わず、全く提言しない輩を集中して選んでほしい)。
60 歳代	大寄地区	アンケートの結果を検討し安心して暮らせる地域になる様にお願い致します。
60 歳代	深谷地区	働いている時は良いのですが、仕事をリタイア後はどの様な事が行えるかが不明である。

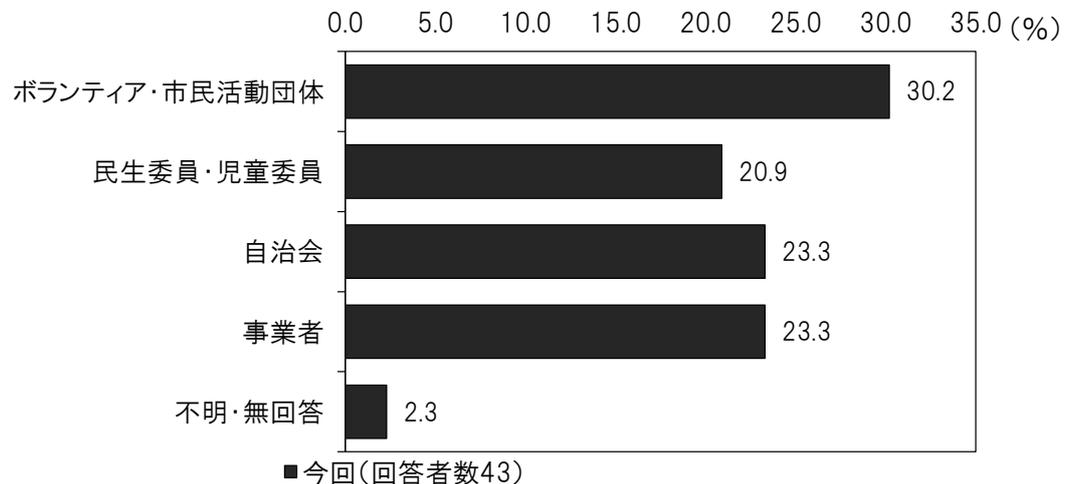
年代	居住地区	内容
70 歳代 以上	岡部地区	自分の子、孫にあいさつをする事。自分の同世代の人に比べ自主的にすることが少ない。交通手段に寄る事もあるが、車の中から、空き缶、紙コップ、その他の物を投げ捨てる何とも見苦しく嘆かわしい。自分の家等は綺麗にしたいが、その精神を心がけてもらいたい。是非とも(追伸、道路等)
70 歳代 以上	深谷地区	アンケート協力、91 歳男。
70 歳代 以上	深谷地区	よくわからないが、一所懸命やりました。
70 歳代 以上	深谷地区	目に見える活動をしてください。一部の有力者だけの物になっている。
70 歳代 以上	明戸地区	高齢者が多く(ひとり暮らし)空き家の問題が多くなる(後継ぎがない)今から方策に取り組まなければ…。
70 歳代 以上	藤沢地区	必要のなくなった使える家具や自転車をもったいない。テレビで見たことあるけど、ほしい人が使える取り組みは難しいかな？
-	-	いきいきサロンの活動をしたいと思います。まだなにか役に立てることがあればと思います。現在、深谷市福祉センターに仕事に行っています。今年いっぱいです。
-	-	認知症の為お答えできません。

IV 団体・事業者アンケート結果

1. 貴団体・事業者のことについて（問1）

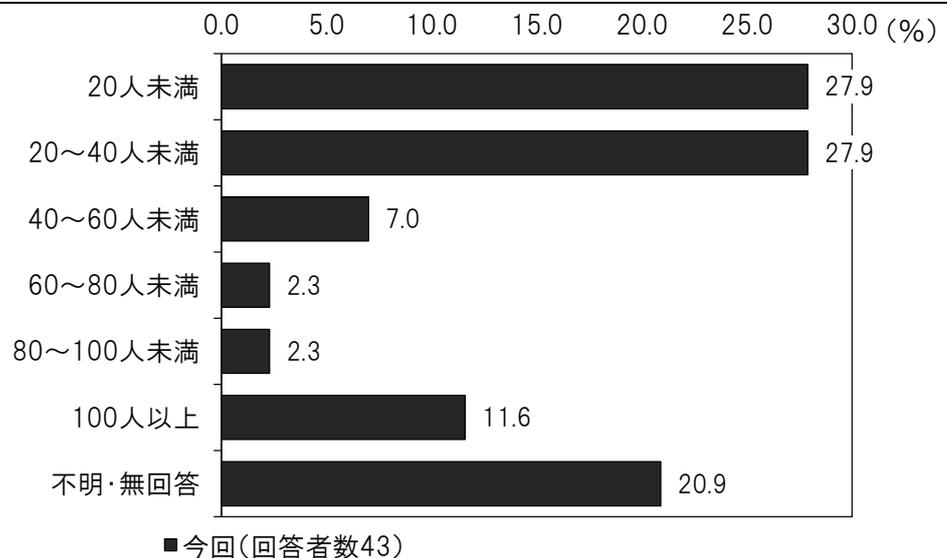
団体区分

団体区分については、「ボランティア・市民活動団体」が30.2%で最も高く、次いで「自治会」、「事業者」が23.3%、「民生委員・児童委員」が20.9%となっています。



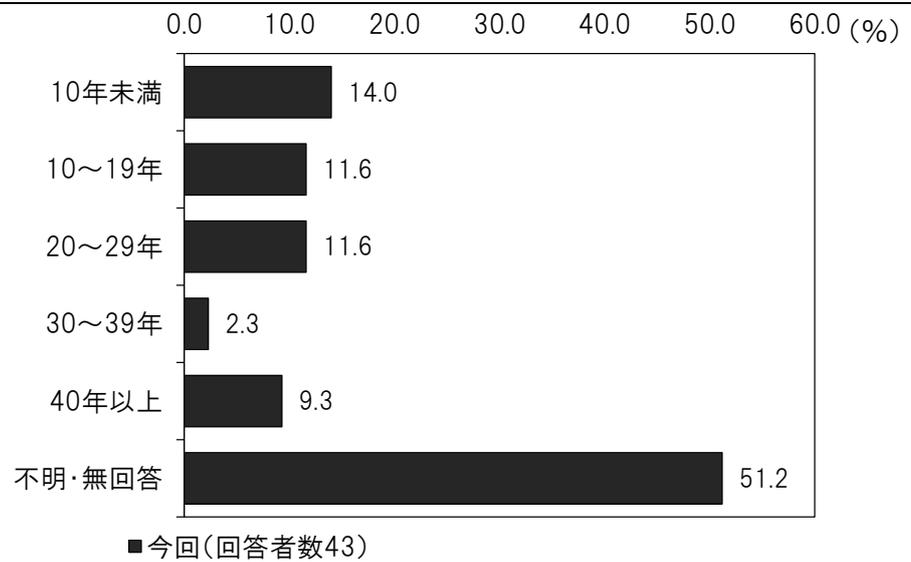
会員数

会員数については、「20人未満」、「20～40人未満」が27.9%で最も高く、次いで「100人以上」が11.6%となっています。



活動年数

活動年数については、「10年未満」が14.0%で最も高く、次いで「10～19年」、「20～29年」が11.6%となっています。



2. 貴団体・事業者の活動について

問2 貴団体・事業者の活動の中で、地域と一緒にいることや、地域に向けて行っていることはありますか。

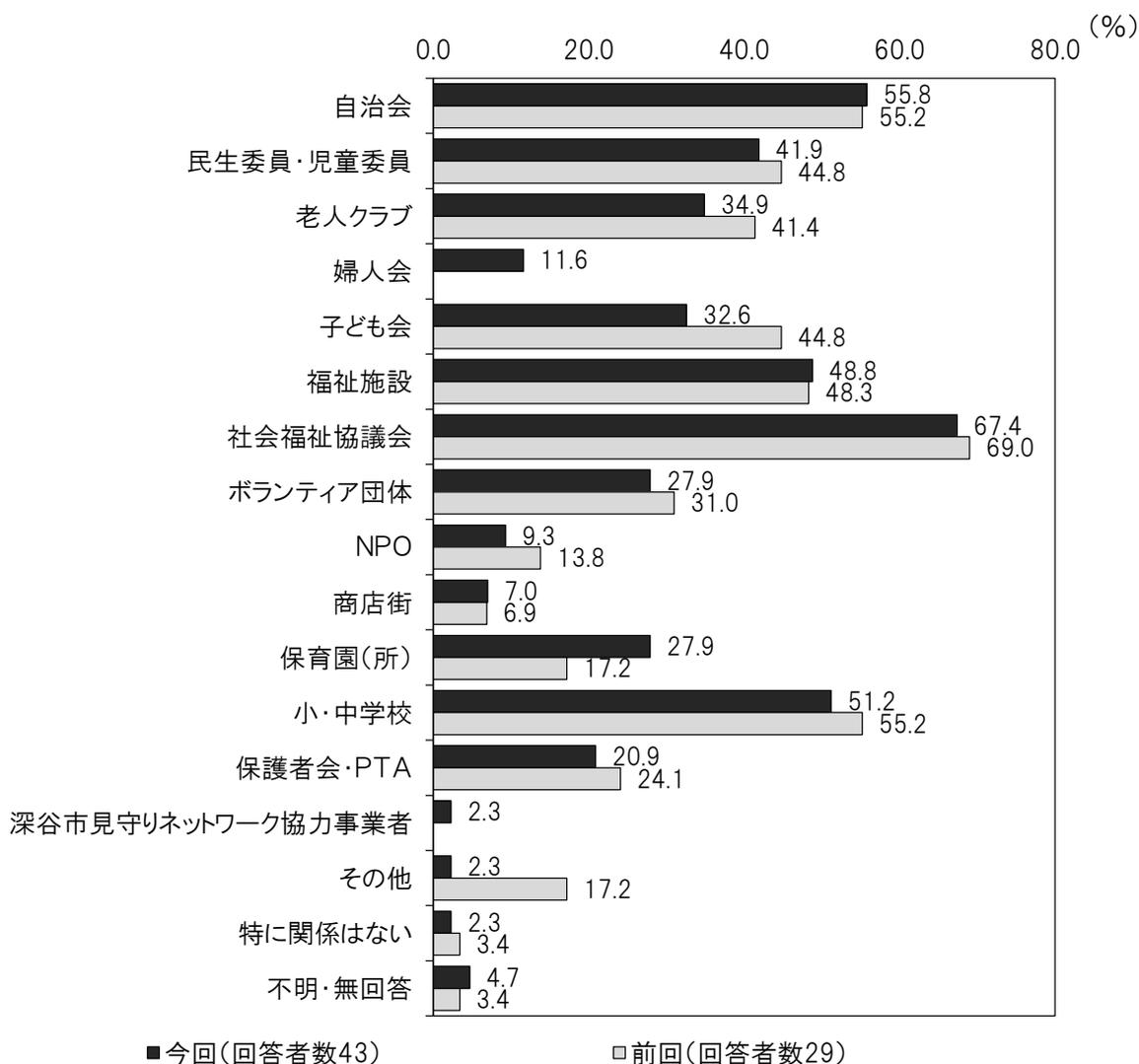
内容	区分
自治会内での趣味の愛好会等に会員メンバーを講師として参加支援、及びボランティア支援を行っている。	ボランティア・市民活動団体
深谷櫛挽ヶ原ラグビー場の無償開放。	ボランティア・市民活動団体
後見制度に対する、啓蒙、研修会。	ボランティア・市民活動団体
各施設での対面朗読。	ボランティア・市民活動団体
市、社会福祉協議会、聴覚障害者団体との活動はありますが、特定の地域と一緒に行う活動はありません。手話サークルは特化した聴覚障害者支援団体のため、単独での活動はありません。	ボランティア・市民活動団体
深谷市教育委員会主催の先生方のプログラミング教育準備のサポート、公民館活動(神川町、美里町)での科学やパズルの普及講座。	ボランティア・市民活動団体
食農教育(農業体験、子ども食堂への支援)。	ボランティア・市民活動団体
深谷駅南口花壇の植栽。セツ梅子ども食堂のお手伝い。	ボランティア・市民活動団体
交通手段のない人の送迎。	ボランティア・市民活動団体
地区の高齢者“いきいきサロン”に参加。神社のお祭りに参加。神社清掃(4・5歳児)。地区清掃(ゴミ置場清掃含む、保育士)。	事業者
清掃活動実施への協力依頼など。地域老人会との交流会を通じての交流。	事業者
年数回、木工教室を開き、地域の方々に施設や福祉の事に関して情報を発信している。	事業者
社会福祉法人所有車両による買物、交流ツアー、2月16日実施。	事業者
上郷地区のいきいきサロンへの参加。上郷地区の非常時の備蓄品の確保。	事業者
下記のとおりとなります。	事業者
特になし。	事業者
老人ホーム慰問(夏祭り、クリスマス会等)福祉まつり、コスモス祭参加。地域のお茶の間活動参加。	事業者
前ページの主な活動内容のとおり。	自治会
桜ヶ丘小学校、南中学校、正智高校と運営協議会を通じ、意見交換など、地域行事への参加(チアガール・ブラスバンド等)。	自治会
祭、子供、高齢者の見守り、公園清掃、資源回収、スポーツ行事、歩け歩け、子供会との協働活動、世代間交流各種大会、防災訓練、交通安全活動、その他。	自治会
主たる事業はお祭り、体育祭、公民館行事。カーブミラーや街路灯の設置等住民の要望に応じて。	自治会
ふるさと上柴まつり、地区体育祭、ソフトボール、グランドゴルフ、バレーボールのスポーツ、ふれあいいきいきサロン。	自治会
地域づくり座談会の開催。敬老会の実施。いきいきサロンに協力。	自治会
趣味の作品展。	自治会
川本地区市民体育祭。ウォーキング大会。グラウンドゴルフ大会。春秋のゴミ0運動。排水路清掃。綱引き大会。	自治会
<防犯パトロール>青パトにより地域内のパトロールを実施し、安全・安心な地域にする。計画準備中。4月より実施。	自治会

内容	区分
公民館行事への参加、協力や学校行事への参加。	民生委員・児童委員
ふれあいいいききサロン、深谷ふっかつ体操、深谷地区市民運動会、深谷市八坂夏まつり、深谷まつり、生物研究学習事業(サケの卵の配布、稚魚放流)、深谷公民館まつり、深谷地区敬老会、赤い羽根募金、福祉健康まつり。	民生委員・児童委員
子供達の防犯パトロール、朝の交通安全指導。体育祭、敬老会、菊花展支援、健全育成会への協力。	民生委員・児童委員
高齢者の見守活動及び自治会とのサロン活動支援、小学校・中学校のひとり暮らし高齢者に花鉢配布活動に対する手助けと、登校支援見守活動。	民生委員・児童委員
会としてひとり暮らし高齢者の安否確認と児童の見守りを実施。一部の地区では自治会・老人クラブと一緒に安否確認している。これを総ての地区で実施したいものだ。小中学校への応援団として交通安全見守りしている。	民生委員・児童委員
子供達の登下校見守り、学校との連携活動(行事・その他)。地域においては高齢者にとどまらず、広い範囲に目を向けての活動。公民館活動においても協力。	民生委員・児童委員
ひとり暮らし高齢者の安否確認、月1回の定期的訪問、気になる時の見守り、ふれあいいいききサロンの運営。	民生委員・児童委員
要援護者の見守りや確認を自治会と共に実施。要支援対象者の見守り活動。子供の見守り活動。サロン活動の参画や支援。	民生委員・児童委員
高齢者を対象とした「いきいきサロン」を開催している。夏祭りを開催し、住民ふれあいの場としている。	無回答

問3 貴団体・事業者では、地域活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係があるかについては、「社会福祉協議会」が67.4%で最も高く、次いで「自治会」が55.8%、「小・中学校」が51.2%となっています。

前回調査と比較すると、「子ども会」が12.2ポイント、「老人クラブ」が6.5ポイント減少し、「保育園(所)」が10.7ポイント増加しています。



* 前回には選択肢「婦人会」「深谷市見守りネットワーク協力事業者」がない。

具体的な活動内容

内容	区分
団体活動→各施設でのイベント活動。自治会→会員メンバーの特技等の披露講師活動。	ボランティア・市民活動団体
民生委員・児童委員協議会。年1回グランドゴルフに開放。	ボランティア・市民活動団体
福祉健康まつり等への参加を通じ、広く住民に伝える。	ボランティア・市民活動団体
社協にて、福祉車両の利用者を募り、毎月末に運転ボランティア会員による定例会を開催し、次月の運行配車日程を決めています。月々の利用者の収集は社協担当者が実施しています。	ボランティア・市民活動団体
絵本、小説などの対面朗読、手遊び、歌など。	ボランティア・市民活動団体
ふれあいスポーツ大会、福祉健康まつりへの参加。ひとみ園祭鑑賞、ひとみ園日帰り旅行参加。赤い羽根共同募金協力。	ボランティア・市民活動団体
手話通訳派遣事業、手話講習会講師。幼・小・中学校等での手話指導。福祉健康まつり、ふれあいスポーツ会の参加・協力。	ボランティア・市民活動団体
社協との連携、子ども食堂への支援(農産物)。	ボランティア・市民活動団体
深谷ロータリークラブ様と年2回、植栽をしています。災害があった時だけですが、日本赤十字の方と駅前募金活動も行いました。セツ梅子ども食堂で、調理補助と催し物の手伝いをしました。	ボランティア・市民活動団体
社協と連携して送迎を行っている。	ボランティア・市民活動団体
“いきいきサロン”に5歳児が参加し、高齢者とふれあい遊びや歌を歌って過ごす。中学2年生の社会体験チャレンジの受入れ。3年生の家庭科で学生が来園し一緒に過ごす。2年生志高式に参加。大寄体育祭に5歳児が参加し、和太鼓・遊戯等披露する。	事業者
自治会での夏祭り(お神輿)での休憩所の提供。法人主催の行事(お祭り・交流会)等の実施。施設内設備を充実させ、地域の方々へ広く開放・利用を推進する。	事業者
公民館まつり、福祉健康まつり等への参加や利用者と地域の団体の方々をお呼びして、演奏会、観賞会の実施。	事業者
自治会→上郷地区のいきいきサロンへの参加。上郷地区の非常時の備蓄品の確保。福祉施設→他福祉施設との交流会の実施。	事業者
災害協定締結している。	事業者
【福祉施設】老人福祉施設へ、保育園児が訪問している。【社会福祉協議会】地域の敬老会に、保育園児が歌やダンスを披露している。【社会福祉協議会】県社協を通して、生活困窮世帯へ衣類の提供をしている。【ボランティア団体】深谷ライオンズクラブ主催の献血活動に協力している。	事業者
水道メーター検針等で地域の見守りを実施し、孤立死亡の予防。現場移動時に公道漏水を発見した場合には、担当課へ報告し早期修繕していただくようお願いしている。	事業者
コスモス祭り、老人ホーム「花ぞの」夏祭り、4,5才児が鳴子踊り・チアダンス・和太鼓を披露。ビッグベン国済寺では園が主となりクリスマス会(歌・手遊び・鳴子踊り・チアダンス等)を開く。	事業者
自治会における子供みこし。自治会における秋祭り。いきいきふれあいサロン。水害避難場所の草刈り(ボランティア活動)。婦人会による公民館事業への参加。青淵公園の清掃活動(ボランティア活動)。	自治会
書ききれないほどあり。	自治会

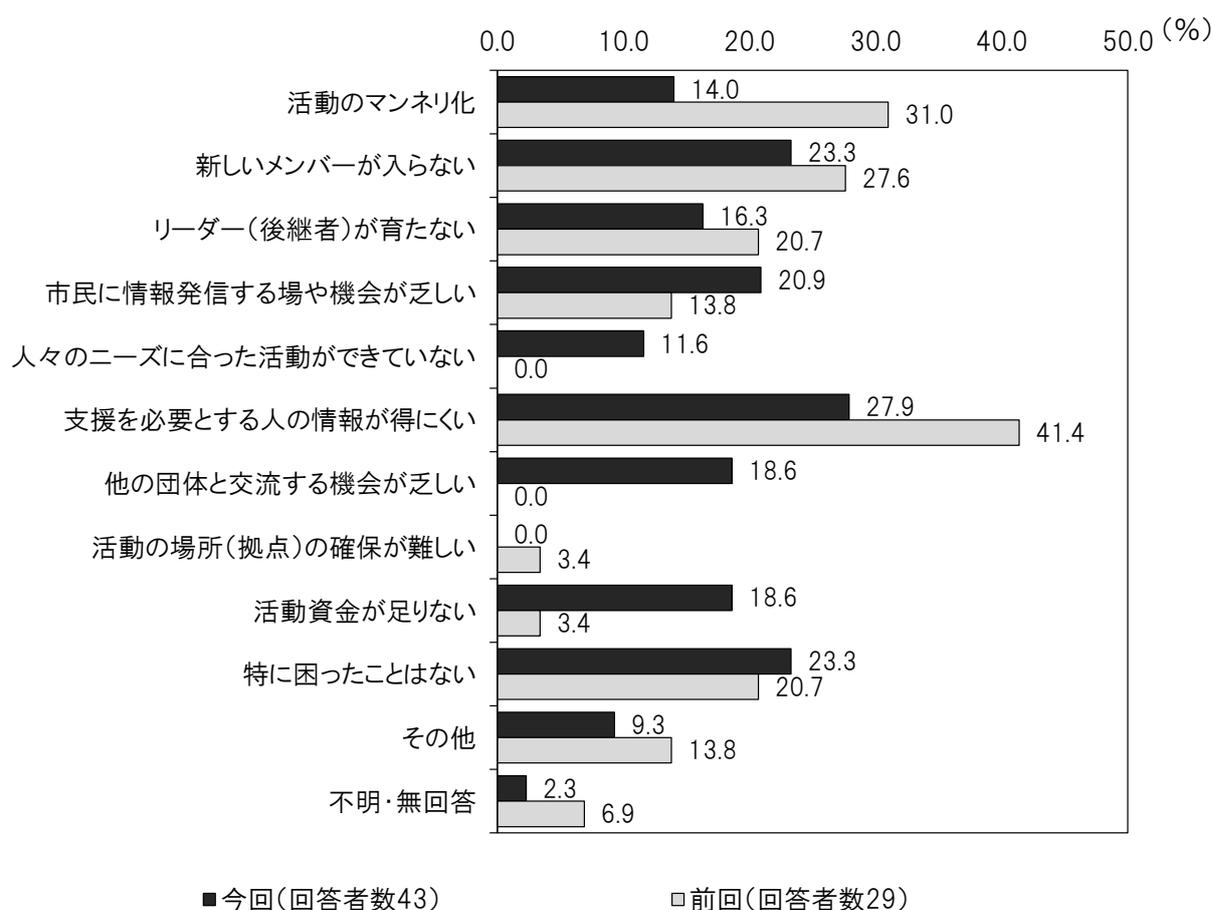
内容	区分
高齢者の見守りについては、民生委員と連絡をとりながら特に問題がある場合は対処する用意はありますが、個人情報保護で具体的には自治会はかかわり方が限られる。独居の方へ広報は手渡しをお願いし、異常があれば会長へと連絡している。	自治会
(民生・児童委員)独居老人見守り。(小・中学校)(保護者・PTA)小・中学校運営委員会、学校応援団。(子供会)七夕飾りコンクール、子供みこし、クリスマス会、登下校の見守り。(上柴あねとすホーム)運営協議会。(社会福祉協議会)ふれあいきいきサロン。各種募金。	自治会
ふれあい祭り、体育祭。	自治会
子ども会→魚つり大会。	自治会
資源回収への協力(小中・PTA・子供会)。小・中学校広報誌の配布・回覧。いきいきサロンの開催。	自治会
ふれあいきいきサロンは行っていない自治会もあるが、主に高齢者と一緒に楽しい時間が持てるよう、また楽しいおしゃべりの時間が持てるよう、種々企画し実施している。	民生委員・児童委員
高齢者一人暮らしの方の安否確認に努める。介護施設見学を毎年実施し、理解、研鑽に努める。ふれあいきいきサロン、ふっかつ体操は自治会地域の老人会と協力して実施。児童の下校時における安全見守り活動に、自治会、老人会と協力して実施。夏まつりは、積極的に自治会に協力参加をしている。	民生委員・児童委員
お祭の手伝い、自治会事業参加、健全育成、社協総会参加、いきいきサロン支援、小中幼の卒業・入学式の参加、運動会、小学校のまごころ訪問等。	民生委員・児童委員
一部の地域では、自治会、老人クラブと一緒に高齢弱者の安否確認をそれぞれの視点で行っている。老人クラブはグランドゴルフや定例会で見かけた、自治会班長は配布物の際、対象者には直接手渡しをする。データは民生委員担当者へ集まることになっており、管理している。	民生委員・児童委員
年間を通して季節の行事に参加。(公民館、社協、自治会)	民生委員・児童委員
自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会の皆さんが参加するいきいきサロンの運営、小中学校・保育園との交流会、施設訪問、福祉施設の見学・交流会。	民生委員・児童委員
自治会内の見守り。サロンへの参画老人会、子ども会。社協依頼の見守り活動。福祉施設の活動への参加とスポーツ大会。保、小、中の行事への参加、安全パトロール実施。	民生委員・児童委員
民生委員が開催する「いきいきサロン」への協力。子ども会への活動費の援助。	無回答

問4 貴団体・事業者が地域活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

地域活動を行う上で困っていることについては、「支援を必要とする人の情報が得にくい」が27.9%で最も高く、次いで「新しいメンバーが入らない」、「特に困ったことはない」が23.3%となっています。

前回調査と比較すると、「他の団体と交流する機会が乏しい」が18.6ポイント、「活動資金が足りない」が15.2ポイント、「人々のニーズに合った活動ができていない」が11.6ポイント増加し、「活動のマンネリ化」が17.0ポイント、「支援を必要とする人の情報が得にくい」が13.5ポイント減少しています。



【団体区分別】

団体区分別にみると、ボランティア・市民活動団体で「新しいメンバーが入らない」と「活動資金が足りない」が、民生委員・児童委員で「支援を必要とする人の情報が得にくい」が、自治会で「新しいメンバーが入らない」が、それぞれ最も高くなっています。

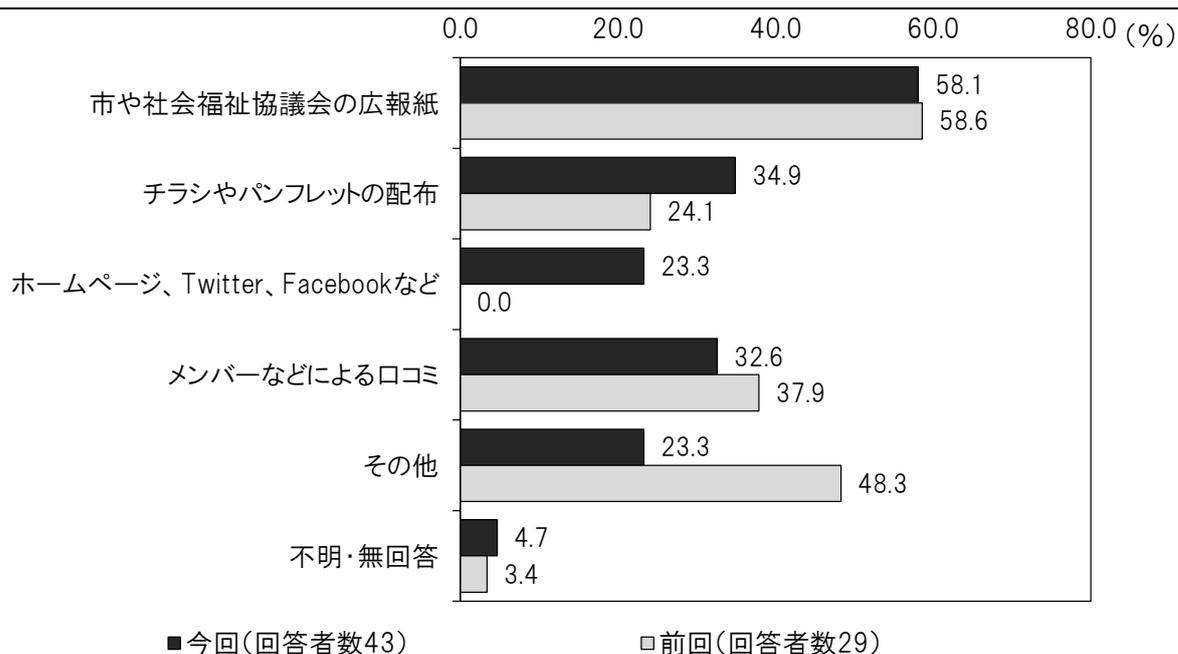
(単位：%)	活動のマンネリ化	新しいメンバーが入らない	リーダー（後継者）が育たない	市民に情報発信する場や機会が乏しい	人々のニーズに合った活動ができていない	支援を必要とする人の情報が得にくい	他の団体と交流する機会が乏しい	活動の場所（拠点）の確保が難しい	活動資金が足りない	特に困ったことはない	その他	不明・無回答
ボランティア・市民活動団体 (回答者数13)	7.7	38.5	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	38.5	23.1	7.7	7.7
民生委員・児童委員(回答者数9)	22.2	0.0	11.1	22.2	11.1	77.8	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
自治会(回答者数10)	30.0	40.0	30.0	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	30.0	20.0	0.0
事業者(回答者数10)	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	30.0	30.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0

問5 貴団体・事業者では、地域活動情報をどのように発信していますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域活動情報をどのように発信しているかについては、「市や社会福祉協議会の広報紙」が58.1%で最も高く、次いで「チラシやパンフレットの配布」が34.9%、「メンバーなどによる口コミ」が32.6%となっています。

前回調査と比較すると、「ホームページ、Twitter、Facebook など」が23.3ポイント、「チラシやパンフレットの配布」が10.8ポイント増加し、「メンバーなどによる口コミ」が5.3ポイント減少しています。



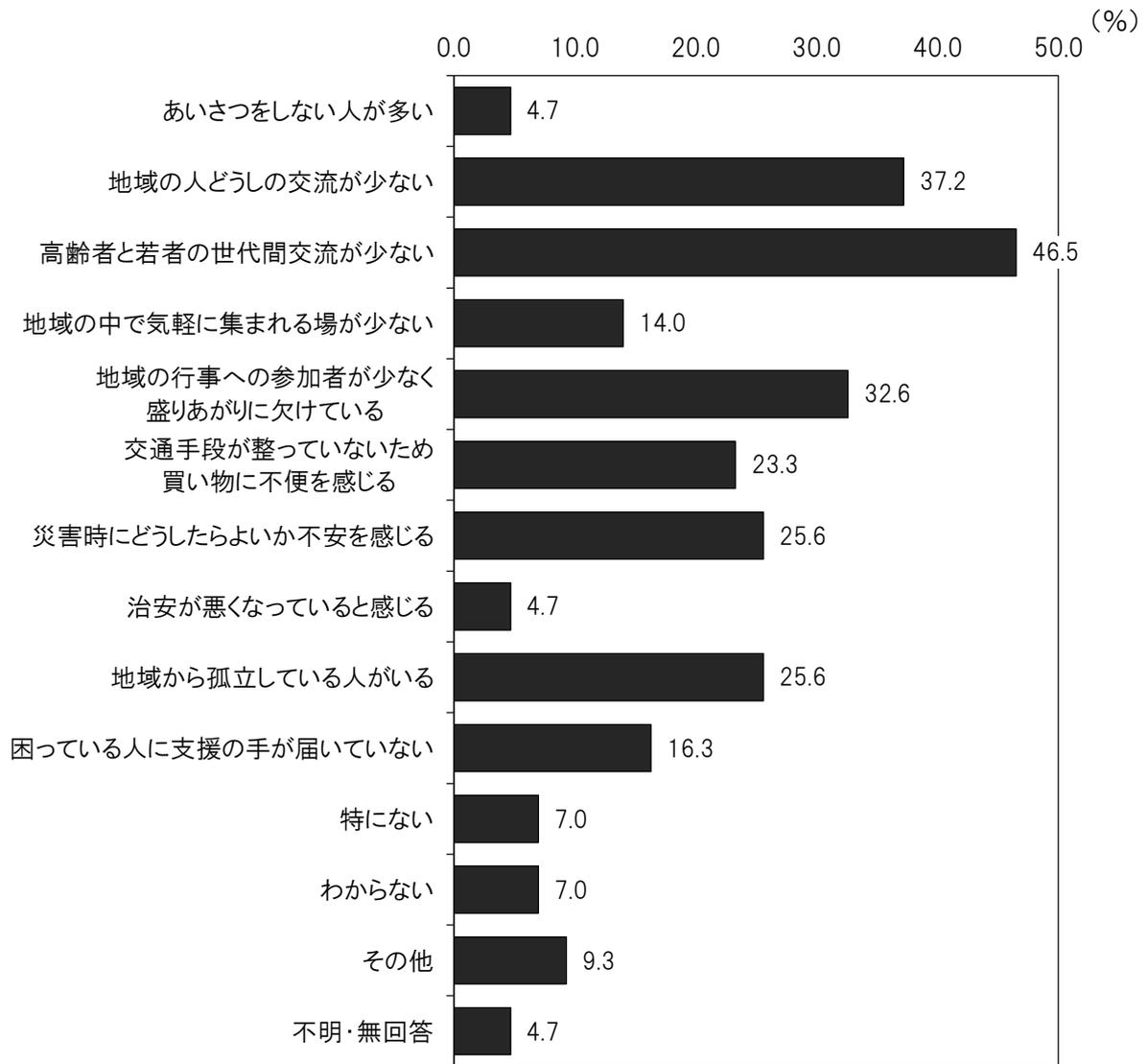
* 前回は「ホームページ、Twitter、Facebook など」が「市のホームページ」という選択肢になっている。

3. 活動を通して見える地域の状況について

問6 活動を通じて、地域の中で課題に感じることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

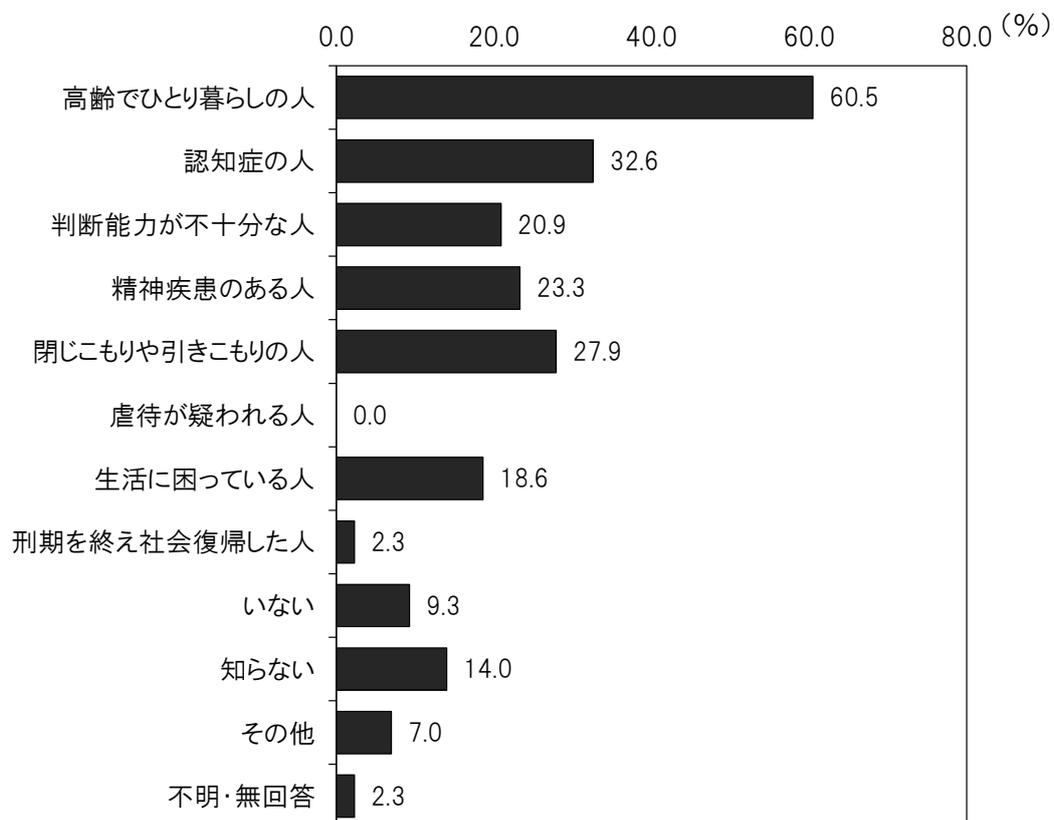
活動を通じて、地域の中で課題に感じることについては、「高齢者と若者の世代間交流が少ない」が46.5%で最も高く、次いで「地域の人どうしの交流が少ない」が37.2%、「地域の行事への参加者が少なく盛りあがりに欠けている」が32.6%となっています。



■ 今回(回答者数43)

問7 活動を通じて、地域の中に次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(あてはまるものすべてに○)

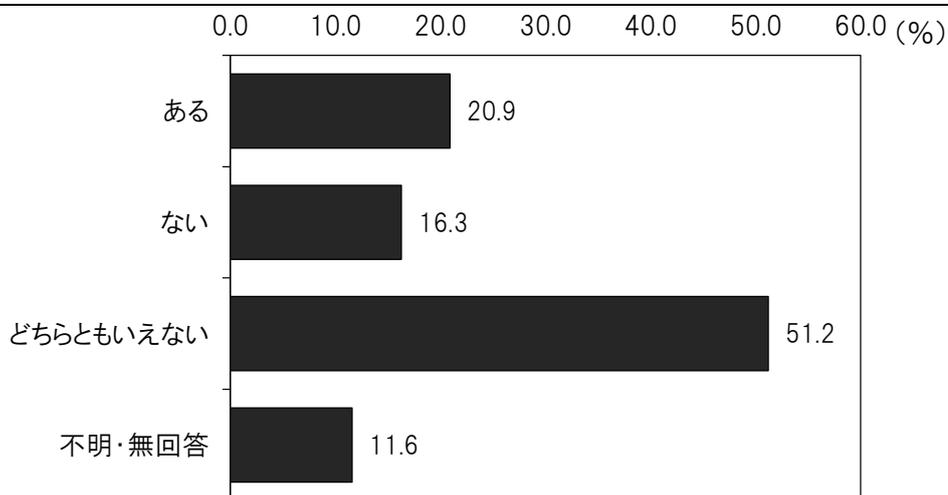
活動を通じて、地域の中に見守り等支援が必要な人や、気にかかる人がいるかについては、「高齢でひとり暮らしの人」が60.5%で最も高く、次いで「認知症の人」が32.6%、「閉じこもりや引きこもりの人」が27.9%となっています。



■今回(回答者数43)

問8 既存の公的な福祉サービス(児童福祉サービス、障害福祉サービス、介護保険サービスなど)では解決できず困っている問題があると感じますか。(ひとつだけ○)

既存の公的な福祉サービスでは解決できず困っている問題があると感じるかについては、「どちらともいえない」が51.2%で最も高く、次いで「ある」が20.9%、「ない」が16.3%となっています。



■今回(回答者数43)

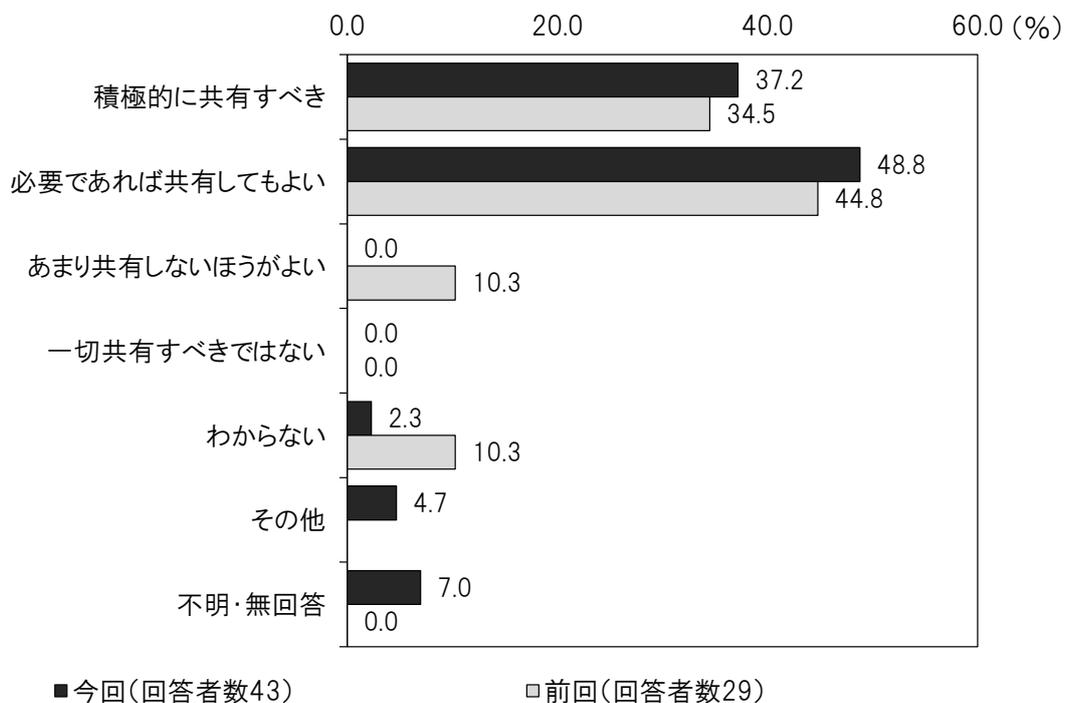
具体的な内容

内容	区分
1.各サービスの PR 不足。2.サービスの申請手続き等面倒で、申請をしない方もいる。3.受側の家庭内容、実情の把握が困難。	ボランティア・市民活動団体
手話通訳派遣事業はあるが、手話言語条例が制定されず、手話の普及や理解がなかなか広がらない。近隣他市町のほとんどが手話言語条例を制定している。	ボランティア・市民活動団体
職員の給与等。	事業者
子どもの発達障害に対する親を含めた大人の理解が不足している。	事業者
介護施設の利用料が高額で高齢者の年金では支払いきれずに、利用したくても利用をあきらめている人がいるように思う。	自治会
民生児童委員の不足。	自治会
ご近所と仲良くできない人。ゴミ屋敷。犬の鳴き声で近所トラブル。	自治会
AED の設置場所が少なく不安な地区がある。地区内公民館には設置してあるが、夜などは閉まっているので緊急の時に使えない。	無回答

問9 貴団体・事業者では、地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止等のために、自治会役員や民生委員等の支援者が、支援に必要な個人情報(氏名・住所・年齢・世帯構成・要介護度など)を共有することについてどのように思いますか。(ひとつだけ○)

個人情報の共有については、「必要であれば共有してもよい」が48.8%で最も高く、次いで「積極的に共有すべき」が37.2%、「わからない」が2.3%となっています。

前回調査と比較すると、「あまり共有しないほうがよい」が10.3ポイント減少しています。



* 前回には選択肢「その他」がない。

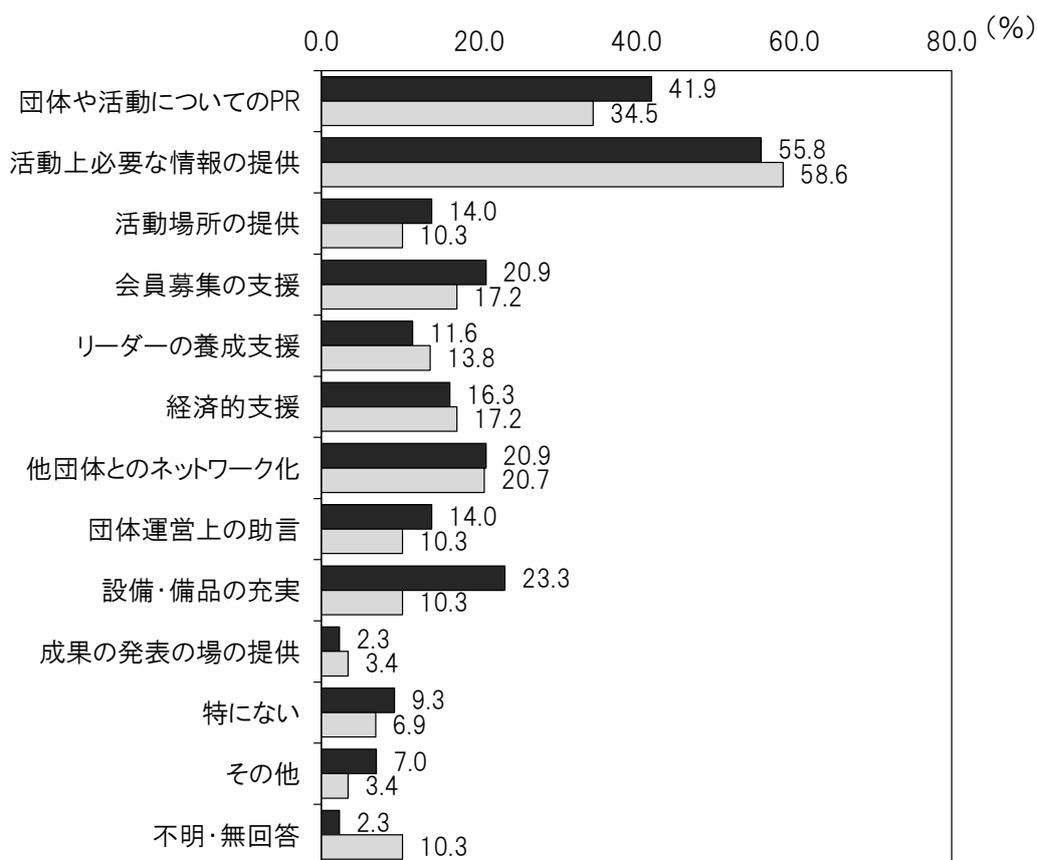
4. 今後の活動について

問10 貴団体・事業者が活動をしていく上で市や社協に望むことはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

活動をしていく上で市や社協に望むことについては、「活動上必要な情報の提供」が55.8%で最も高く、次いで「団体や活動についてのPR」が41.9%、「設備・備品の充実」が23.3%となっています。

前回調査と比較すると、「設備・備品の充実」が13.0ポイント、「団体や活動についてのPR」が7.4ポイント増加しています。



■今回(回答者数43)

□前回(回答者数29)

問11 今後、貴団体・事業者として市や社協との協働でどのようなことに取り組めると思われますか。

内容	区分
ボランティア連絡会あるいは深谷市市民活動サポートセンターの所属団体として、これまでどおりこれら組織の活動には積極的に参加するつもりです。また、社協の活動にもできる範囲で団体として、あるいは有志として協力したいと考えております。	ボランティア・市民活動団体
深谷市櫛挽ヶ原ラグビー場の芝生を生かした健康教室等。平日及び夜間(照明有)に可能である。	ボランティア・市民活動団体
活動内容は朗読を基本としているので、この範囲での協力は出来る。	ボランティア・市民活動団体
現在の活動を安定して継続し充実させていくこと。	ボランティア・市民活動団体
手話言語条例を制定していただければ、深谷市聴覚障害福祉協会と共に手話の普及や理解を広める活動を市や社協との協働で取り組みたいと思います。聴覚障害者が安心して暮らせるまちの実現に向けた取り組みができると思います。	ボランティア・市民活動団体
プロジェクトチームを作って取り組む。	ボランティア・市民活動団体
福祉農園などの開設(社協が中心となって希望する農家と協力していく)。	ボランティア・市民活動団体
高校生としてできることを考えて実行していただきたい。子ども食堂のお手伝いは楽しんで続けていきたいと考えています。児童養護施設で学習のお手伝いなどもできればいいなと思います。	ボランティア・市民活動団体
地区には高齢者の方も多く、また、園児が高齢者とふれあう機会が少ないため、空いている保育室等を提供し、気軽に園に来ていただけると嬉しいです。	事業者
公民館の使用を障害者の使用に関して以前のように無料にしてほしい。くるりんバスを「しくね育成園前」を復活させて欲しい。	事業者
子供から高齢者まで問題点の発掘。	事業者
保育園児が地域をお散歩する際に、「孤独なお年寄」等、民生委員の方が訪問する様な人のところに訪問する事で、元気な気持ちになってもらうことが出来るのではないかと思います。	事業者
災害時における応援給水協力。給水車を所有しておりますので、災害発生時の緊急給水活動が取り組みます。	事業者
逆に社協が保育所に対してどのような地域活動を求めているかを知りたいです。	事業者
このようなアンケートもはじめてで、地域や自治会に対して取り組みをアナウンスして欲しい。特に高齢化が一層進行するので各地域における助け合い活動は必要になってくる。その仕組みづくりを机上だけにせず、具現化して下さい。	自治会
現状活動を地道に継続する事が大事であり、現状活動を充実させること。	自治会
自治会では未加入高齢者は把握できない。その辺は民生委員さんに頼るしかない。会費免除で労力を提供という町会もあるが、諸会の負担金が増えるので、自治会の会計上問題になる。自治会が高齢社会にどう取り組むか手さぐり中。	自治会
防災訓練(たき出し訓練、避難誘導)。	自治会
集金の手伝い。	自治会
子供、老人の見守りが大切。少なくとも事故が起きないように地域での各種団体等との連携が大切である。	自治会

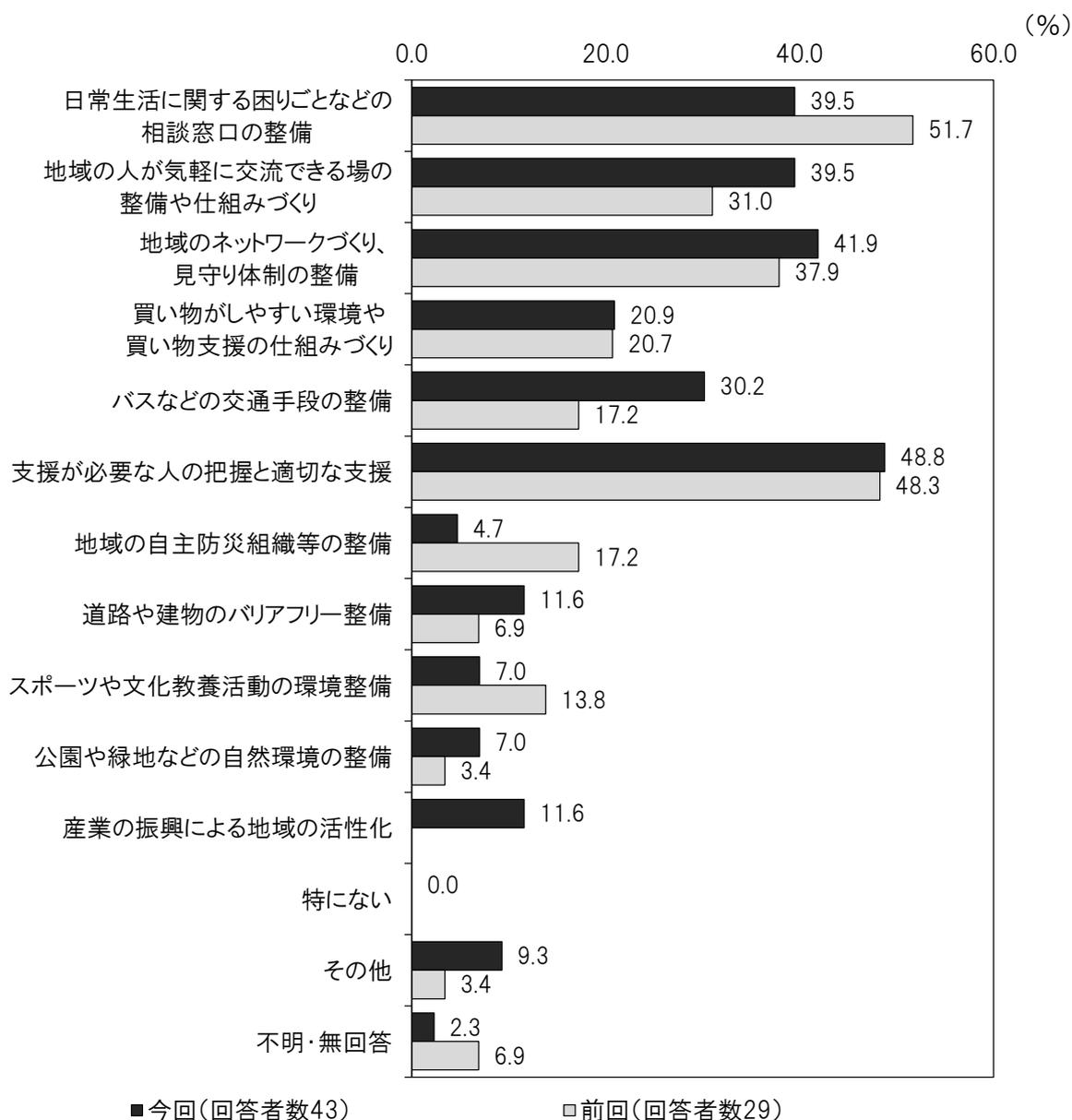
内容	区分
きめ細かな見守りネットワークの構築。	民生委員・児童委員
現状での取り組みをさらに活発に実施していく。	民生委員・児童委員
困っている人の情報をもっともっと下に流し、協力しあえればいいかな。	民生委員・児童委員
サロン活動において。高齢者が健康に生活できる体力維持の為に体操や認知症予防に効果のあるゲームの指導者の派遣。	民生委員・児童委員
社協で進めている「いきいきサロン」を岡部地区、もう少しで全地区で登録できる。社協と連絡をとり、進めて行いたい。個人的には深谷市全体のサロンも拡大したい。	民生委員・児童委員
大きな行事での要請があった時、協力しているのが現状。例、秋の福祉健康まつり、敬老会など。	民生委員・児童委員
従来通りの取り組みを実施。	民生委員・児童委員
情報の共有(交換)、要援護者の確認と把握。	無回答

問12 地域での暮らしをより豊かにするためには、どのようなことが必要だと考えますか。

(〇は3つまで)

地域での暮らしをより豊かにするために必要だと思うことについては、「支援が必要な人の把握と適切な支援」が48.8%で最も高く、次いで「地域のネットワークづくり、見守り体制の整備」が41.9%、「日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備」、「地域の人気軽に交流できる場の整備や仕組みづくり」が39.5%となっています。

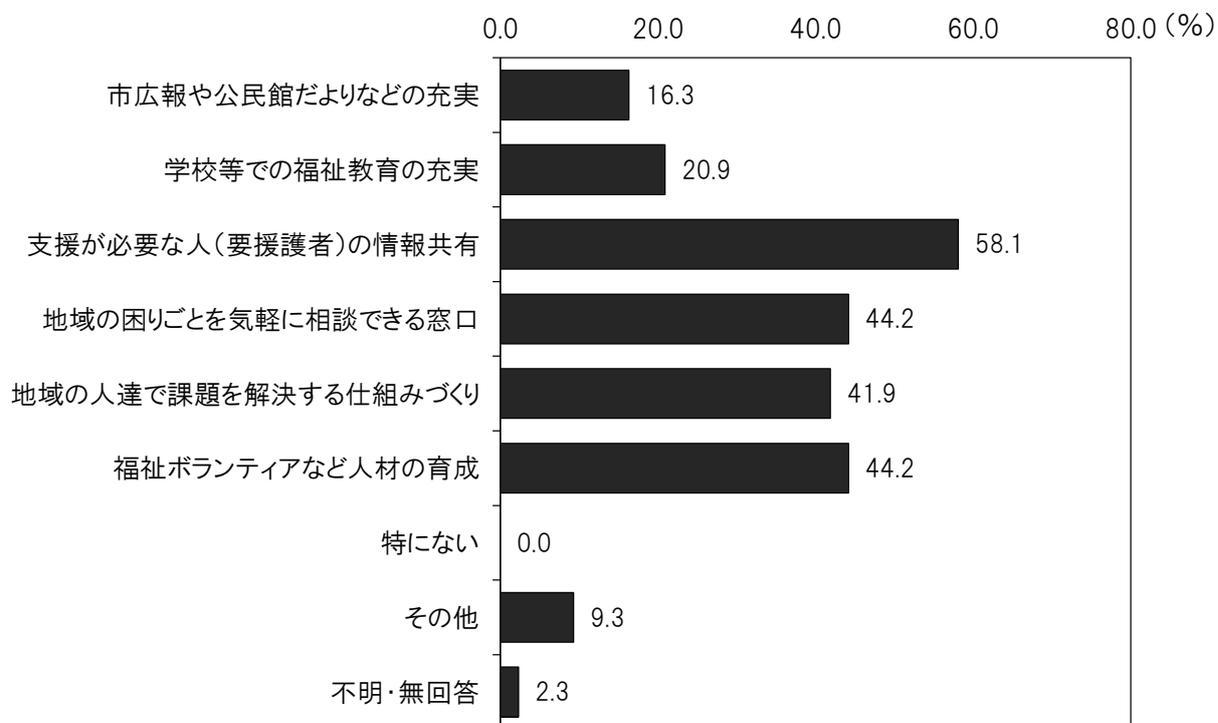
前回調査と比較すると、「バスなどの交通手段の整備」が13.0ポイント、「地域の人気軽に交流できる場の整備や仕組みづくり」が8.5ポイント増加し、「地域の自主防災組織等の整備」が12.5ポイント、「日常生活に関する困りごとなどの相談窓口の整備」が12.2ポイント、「スポーツや文化教養活動の環境整備」が6.8ポイント減少しています。



* 前回には選択肢「産業の振興による地域の活性化」「特にない」がない。

問13 地域における助け合いを活発化するため、市や社協の取り組みとしてどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

地域における助け合いを活発化するため、市や社協の取り組みとして重要だと思うことについては、「支援が必要な人(要援護者)の情報共有」が58.1%で最も高く、次いで「地域の困りごとを気軽に相談できる窓口」、「福祉ボランティアなど人材の育成」が44.2%となっています。



■今回(回答者数43)

問14 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

内容	区分
今後、2040年をピークに高齢化が進み、問6～問9の問題解決が必要となってきます。特に地域での見守り、自治会、民生委員役員等支援者不足対策を行う必要となります。	ボランティア・市民活動団体
市民、自治会等「自助、共助、公助」の意識改革の推進を図る。	ボランティア・市民活動団体
報告書をつくるためだけの計画策定とならないよう、その後の実施につながる実情に沿った福祉計画、福祉活動計画の推進を期待します。	ボランティア・市民活動団体
私たちが制定を望む手話言語条例は、市(行政)の支援を求める(何かをしてもらう)条例ではなく、手話の普及や理解を広めるために深谷市聴覚障害者福祉協会と共に深谷手話サークルねぎの会が積極的に活動できる環境をつくるための条例と考えています。埼玉県としては、県をはじめ現在26の市町が制定しており、近位では熊谷市や本庄市、行田市、鴻巣市、加須市、北本市、神川町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、秩父市、桶川市などが制定されています。手話言語条例を策定いただいた後の活動としては、市内の幼・小・中学校での手話の活動を、市・社協と共にやりたいと思います。	ボランティア・市民活動団体
科学を希求する人々も感性の豊かさを希求する人々も自由に集まれる場所を作ることへの物心両面での協力をお願いしたい。	ボランティア・市民活動団体
可能な限り、現場を見て下さい。建物の中には理解できないと考えます。	ボランティア・市民活動団体
いつもお世話になっています。思うように活発な活動ができておらず、はがゆいのですが、学校行事とのバランスを考えながら継続したいと考えております。今後ともよろしく願います。	ボランティア・市民活動団体
同一市内であっても、都市部と農村部とでは、全く違う課題であるので、取り組みは効果のあるものとしてほしいです。	事業者
老人施設慰問の時に市のバスを使わせて頂ければもっと回数を増やしたり、地域貢献活動の範囲が広がると思います。	事業者
自治会にとって未加入の問題の一方、年々高齢化で役員ができないから退会したい、という例も出てきています。班で一軒二軒なら役員だけ免除もできますが、何とか広報配布だけでお願いしている所もあり、今後ますますどうなっていくか心配です。	自治会
地域住民の高齢化に伴い、自治会活動として、若い世代と高齢者との交流する場づくりを考えていきたい。	自治会
自分(家族を含む)さえ良ければと言う人達が増えているように思える。隣近所との交流が希薄になってきているが、独居老人の見守り等は近所の人々の協力が不可欠である。小さなコミュニティからその輪を拡げていく努力を一人ひとりが行うような啓発が必要です。	民生委員・児童委員
地域で活動する中で、何度もお一人暮らしのご自宅にうかがっても応答が無い時、大変心配をします。何度もたずね、ご近所等聞いて心配の解消に努めています。入院あるいは施設に入所した等、ご存知であったらお知らせいただくと大変ありがたいと思います。	民生委員・児童委員
これからの時代、高齢者がどんどん増えてくる中で、それに対応できる様な職員増と、ボランティアの協力を…。	民生委員・児童委員
介護認定のスピード化。	民生委員・児童委員
2025年団塊世代が全員75才以上となる現実を踏まえると、これからますますひとり暮らし高齢者が増加することが予想されます。現状、民生委員、児童委員による月1回の安否確認訪問では孤独死の早期発見や健康状態把握等、不十分と思われます。しかし、今以上に民生委員、児童委員に負担増加させる事は困難と思います。解決策として、自治会と連携(具体的には班単位で見守り責任者を決めて週1回程度訪問する)や、ITを使った確認方法を導入する等、新たな対応が求められます。緊急対策として、7～8月熱中症、1～2月ヒートショック突然死の時期は、見守り強化月間として安否確認の回数を増やすべきではないか。	民生委員・児童委員

内容	区分
福祉政策課で実施している、2年に1回の「地区支え合い仕組づくり」を一年に一回とお願いしたい。なぜならば、自治会長が1年で変わるケースが多く「仕組づくり」が進展していない。本腰を入れてやろうではありませんか。	民生委員・児童委員
当職は守秘義務があるのでもっと個人情報を教えて欲しい。	民生委員・児童委員

平成 31 年 3 月

「第 3 次深谷市地域福祉計画・地域福祉活動計画」
策定のためのアンケート調査報告書

【地域福祉計画担当】深谷市役所 福祉健康部 福祉政策課

〒366-8501 埼玉県深谷市仲町 11 番 1 号

TEL:048-568-5041 (直通) FAX:048-574-6667

【地域福祉活動計画担当】深谷市社会福祉協議会

〒366-0823 埼玉県深谷市本住町 12 番 8 号

TEL:048-573-6563 FAX:048-573-0806